

科目名	【新カリ】キャリアデザイン	授業形態	講義	
英語科目名	【新カリ】キャリアデザイン	対象学年	2年	
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位	
代表教員	水野 基樹	ナンバリング	BAS2201	
担当教員	水野 基樹、青木 和浩、渡邊 貴裕、町田 修一、長登 健、山崎 一彦、スポーツ健康科学部教員共通			
授業概要				
全体内容	<p>【授業全体の内容】</p> <p>大学卒業後、いかに職業生活に適応して、円滑なトランジション（役割移行）を経て社会で活躍できるかを求めるために、3年次から始まるコース選択・ゼミナール（卒業研究）選択の重要性を説き、また大学院進学を含めて、教員、企業、公務員希望に必要な思考や行動力等々について理解する。適宜招聘する様々な分野のゲスト講師から知的刺激を受け、上級生や大学院生も含めた集団討議での相互フィードバックによってセルフアウェアネス（自己認識）を向上させるプログラムである。</p> <p>□</p> <p>（水野基樹／4回） 「キャリア」とは何かについての理解を深める。そして、スポーツ健康科学部（体育系学部）の大学生から社会人へのキャリア移行について考える。そのため、自己理解（対自己力）と他者理解（対他者力）を獲得・深化するための講義およびワークを実施する。また、現在の早期退職・転職が起こる社会的メカニズムについて、RJP（Realistic Job Preview）の観点からその重要性を理解する。</p> <p>（渡邊貴裕／2回） 子供から超高齢者まで全てのライフステージにおいて、人々の健康を支えるための専門知識について解説する。</p> <p>（山崎一彦／2回） 競技力向上のプロセス、およびアスリートとしてのキャリアアップの知識について解説する。</p> <p>（青木和浩／2回） コーチング学の体系化を理解し、スポーツ指導に関する専門知識と情報分析能力と何かについて解説する。多様な指導者や研究者など、我が国の実践事例から職業としてのコーチングを考える。</p> <p>（町田修一／2回） スポーツを主に自然科学的観点から理解し、競技力向上や体力・健康増進に応用できるスポーツ医学的専門知識を生かして社会で活躍できる仕事や職業について考える。</p> <p>（長登 健／2回） 次代を切り拓く実践的指導力を有した教員として、また様々な分野でスポーツ健康科学を基盤に指導的立場で活躍するための専門知識と技能について解説する。</p>			
到達目標	<p>【授業の到達目標】</p> <p>これまでの大学生活を振り返りながら、自分自身の将来のキャリアをイメージし、大学卒業後の豊かな働き方を模索することを目的とします。そのため、①自己理解を深める（今現在の自分を正直に受け入れる）、②社会における立ち位置を確認する（自分の経験や能力を整理する）。そして、時代の変化に柔軟に対応できるキャリア観の形成と戦略的にキャリアをデザインする能力の習得が到達目標である。</p>			
授業の位置づけ	この科目は、分野科目群・分野共通科目の必修科目である。また、JSP0公認スポーツ指導者養成講習会免除適応コース（共通科目Ⅲ）の必修科目である。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	本科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養、及びそれらの活用能力」と「協働による課題解決のためのコミュニケーション能力」の習得を養う科目として位置づけられる。			
履修上の注意、履修要件	【履修要件】 特になし。			
成績評価の方法				
評価方法	<p>【成績評価の方法】</p> <p>出席：50%、授業態度・取り組む姿勢：10%、課題レポート40%にて評価する。 ※授業態度・取り組む姿勢が授業進行上、悪いと判断した場合には、減点の対象となるので注意すること。</p>			
評価基準	<p>【成績評価の基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. キャリアに関する講演の内容を適切にまとめることができること（講義レポート評価）</li> <li>2. 自分自身のキャリアアンカーに対して意味づけができること（キャリアアンカーシートとレポート評価）</li> <li>3. 卒業後のアクションプランを明確にイメージして作成できること（アクションプランとレポート評価）</li> <li>4. アクションプランのプレゼンテーションやグループワークを適切に行うことができること</li> <li>5. 卒業後のキャリア（進路）を合理的にデザインすることができること</li> </ol>			
試験・課題に対するフィードバック方法				
<p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】</p> <p>講義内で返却し、模範解答や評価のポイントを提示のうえ、詳細に解説します。</p>				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
				特にテキストは使用しません。必要な資料（ツールなど）は、講義内で適宜配布します。
参考文献				
授業中に提示します。				
その他				

連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】 担当：水野基樹 mtimizuno[at]juntendo.ac.jp ([at]を@に変更してください)</p> <p>【オフィスアワー】 日時：月曜日 10時～12時、火曜日 15時～16時 場所：1号館3階1320室 ※上記の時間帯は予約が無くても対応しますが、予約があった学生を優先します。 できる限り、前日までにE-Mailで予約するように心掛けてください。</p>			
担当教員の実務経験				
備考	<p>【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>【その他】 この授業科目は、以下の資格取得の要件となっています。 JSPQ（日本スポーツ協会）公認スポーツ指導者養成共通科目（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ） ※新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>			
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	水野	<p>【授業内容】 授業のガイダンスを実施し、授業全体の内容と授業の進め方などを説明する。また、「キャリア」とは何かについての理解を深める。</p>	<p>【授業方法】講義 キャリアデザインの対象領域を説明することで本科目の全体像を講義（座学）形式を中心に俯瞰する。</p>	<p>（予習：3時間） 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布し、事後理解を深めるとともに、課題レポート等を課し提出させる。講義の開始時に解説する。 （復習：1時間） 次のテーマに関する参考資料を配布し、テキストの該当箇所と合わせてリーディング・アサインメントを課す。</p>
2	水野	<p>【授業内容】 スポーツ健康科学部（体育系学部）の大学生から社会人へのキャリア移行について考える。そのため、自己理解を深めるための自己分析を行い、対自己力を獲得する。また、現在の早期退職・転職が起こる社会的メカニズムについて解説する。RJP（Realistic Job Preview）の重要性を理解する。</p>	<p>【授業方法】講義 キャリアの発展過程についての解説と具体的事例（VTR）を紹介する。</p>	<p>（予習：3時間） 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布し、事後理解を深めるとともに、課題レポート等を課し提出させる。講義の開始時に解説する。 （復習：1時間） 次のテーマに関する参考資料を配布し、テキストの該当箇所と合わせてリーディング・アサインメントを課す。</p>
3	水野	<p>【授業内容】 職場や地域社会で多様な人材と仕事をするうえで必要な能力である社会人基礎力（アクション、シンキング、チームワーク）について解説する。また、他者理解を深めて対他者力を磨く。そして、自分自身の職業適性を考え、将来の豊かなキャリアをデザインすることの意義について考える。</p>	<p>【授業方法】講義・グループワーク キャリアの種類や内容を詳細に説明し、ゲストスピーカーによる経験談も交えながら議論する。</p>	<p>（予習：3時間） 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布し、事後理解を深めるとともに、課題レポート等を課し提出させる。講義の開始時に解説する。 （復習：1時間） 次のテーマに関する参考資料を配布し、テキストの該当箇所と合わせてリーディング・アサインメントを課す。</p>
4	渡邊	<p>【授業内容】 教員という職業のキャリア（働き方）についての理解を深める。また、学校種ごとの仕事内容の違いや、教員採用試験に向けた学習計画の立て方および手続きについても解説する。適宜外部講師を招聘して、採用試験へのモチベーションを高めることも行う。</p>	<p>【授業方法】講義 教員という職業でのキャリアの発展過程についての解説と具体的事例（VTR）を紹介する。</p>	<p>（予習：3時間） 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布し、事後理解を深めるとともに、課題レポート等を課し提出させる。講義の開始時に解説する。 （復習：1時間） 次のテーマに関する参考資料を配布し、テキストの該当箇所と合わせてリーディング・アサインメントを課す。</p>
5	渡邊	<p>【授業内容】 地方公務員や国家公務員の違いや、警察や消防など、様々な種類がある公務員の仕事について解説し、公務員としての働き方を吟味する。企業における働き方との比較を通して、自分自身の公務員としての職業適性を考える。</p>	<p>【授業方法】講義 公務員という職業でのキャリアの発展過程についての解説と具体的事例（VTR）を紹介する。</p>	<p>（予習：3時間） 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布し、事後理解を深めるとともに、課題レポート等を課し提出させる。講義の開始時に解説する。 （復習：1時間） 次のテーマに関する参考資料を配布し、テキストの該当箇所と合わせてリーディング・アサインメントを課す。</p>
6	山崎	<p>【授業内容】 トップアスリートが輝く時間は、一生の中でわずかであるといえる。いつかはクローゼットを迎えるアスリート・キャリアであるが、その先に待っている人生において、いかに有意義でチャレンジな時間を送ることができるかが重要である。そのためには、スポーツキャリアおよび指導者としてのコーチに求められる知識とスキルを高めることと並行して、異なるキャリアのスキルを得るための学びや準備を進めることの必要性について解説する。</p>	<p>【授業方法】講義 アスリートやアスリートを巻き取るサポートスタッフも含め、活躍が見込めるキャリア形成について、事例を通して学んでいく。</p>	<p>（予習：3時間） 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布し、事後理解を深めるとともに、課題レポート等を課し提出させる。講義の開始時に解説する。 （復習：1時間） 次のテーマに関する参考資料を配布し、テキストの該当箇所と合わせてリーディング・アサインメントを課す。</p>

7	山崎	<p>【授業内容】 アスリートにおける競技力向上のプロセスからアスリートの持つライフスキルを認識し、アスリートとしてのキャリアアップ、キャリアアトランジョンに結びつけることを考える。</p>	<p>【授業方法】講義 基本的には座学を中心としながらアスリートのキャリアアップやキャリアアトランジョンの事例的に学ぶ。</p>	<p>(予習:3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布し、事後理解を深めるとともに、課題レポート等を課し提出させる。講義の開始時に解説する。 (復習:1時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テキストの該当箇所と合わせてリーディング・アサインメントを課す。</p>
8	青木	<p>【授業内容】 コーチング学に関する体系化を理解し、スポーツ指導における体系化に応じた専門知識とスポーツ指導現場における情報分析能力と何かについて解説する。</p>	<p>【授業方法】講義 基本的には座学を中心としながら、専門知識を学び、多様な運動の実践者や研究者について、紹介する。</p>	<p>(予習:3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布し、事後理解を深めるとともに、課題レポート等を課し提出させる。講義の開始時に解説する。 (復習:1時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テキストの該当箇所と合わせてリーディング・アサインメントを課す。</p>
9	青木	<p>【授業内容】 我が国におけるコーチングに関する職業の在り方や実践例を紹介する。また、スポーツを取り巻く、様々な諸問題についても解説する。</p>	<p>【授業方法】講義・ディスカッション 基本的には座学を中心としながら事例的に学ぶ。事例を基にディスカッションをしながら、実践事例を考える。</p>	<p>(予習:3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布し、事後理解を深めるとともに、課題レポート等を課し提出させる。講義の開始時に解説する。 (復習:1時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テキストの該当箇所と合わせてリーディング・アサインメントを課す。</p>
10	町田	<p>【授業内容】 研究職という職業についての理解を深める。大学の教員や公的研究機関での研究員、そして企業等での研究職との違いについて紹介する。</p>	<p>【授業方法】講義 基本的には座学を中心としながら事例的に学ぶ。研究職という職業でのキャリアアップの可能性と応用について具体的事例を紹介する。</p>	<p>(予習:3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布し、事後理解を深めるとともに、課題レポート等を課し提出させる。講義の開始時に解説する。 (復習:1時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テキストの該当箇所と合わせてリーディング・アサインメントを課す。</p>
11	町田	<p>【授業内容】 職場や地域社会でスポーツ医科学的専門知識を生かした仕事や職業について解説する。また、社会で求められる「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」を高めるための自然科学的思考について紹介する</p>	<p>【授業方法】講義 基本的には座学を中心としながら事例的に学ぶ。スポーツ医科学的専門知識を生かした職業でのキャリアアップの可能性と応用について具体的事例を紹介する。</p>	<p>(予習:3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布し、事後理解を深めるとともに、課題レポート等を課し提出させる。講義の開始時に解説する。 (復習:1時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テキストの該当箇所と合わせてリーディング・アサインメントを課す。</p>
12	長登	<p>【授業内容】 次代を切り拓く実践的指導力を有した教員として身に付けるべき、また様々な分野で指導的立場で活躍するために必要な専門知識と技能について解説する。</p>	<p>【授業方法】講義・ディスカッション 基本的には座学を中心としながら事例的に学ぶ。事例をもとにディスカッションを通じてスポーツ健康科学を教養として考える。</p>	<p>(予習:3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布し、事後理解を深めるとともに、課題レポート等を課し提出させる。講義の開始時に解説する。 (復習:1時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テキストの該当箇所と合わせてリーディング・アサインメントを課す。</p>
13	長登	<p>【授業内容】 学校だけでなく、広く公務員やスポーツ団体等でスポーツ健康科学を基盤に指導的立場で活躍するために必要な準備等について解説するとともに、キャリアデザイン事例を紹介する。</p>	<p>【授業方法】講義・ディスカッション 基本的には座学を中心としながら事例的に学ぶ。事例をもとにディスカッションを通じてキャリアの基盤となるスポーツ健康科学について考える。</p>	<p>(予習:3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布し、事後理解を深めるとともに、課題レポート等を課し提出させる。講義の開始時に解説する。 (復習:1時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テキストの該当箇所と合わせてリーディング・アサインメントを課す。</p>



科目名	【新カリ】スポーツ心理学 [前半]	授業形態	講義		
英語科目名	【新カリ】スポーツ心理学 [前半]	対象学年	2年		
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位		
代表教員	川田 裕次郎	ナンバリング	PSY2202		
担当教員	川田 裕次郎、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	<p>[授業全体の概要]</p> <p>スポーツのコーチ、体育教師などの指導者は、スポーツ選手や学習者の心理的諸問題（例えば、不安への対処、モチベーションの維持や向上、ストレスマネジメントなど）に対して、学術的な根拠に裏付けられた対応を行うことが求められている。</p> <p>この授業では、スポーツ心理学の理論を理解し、心理テスト、グループディスカッション、事例検討を通して、上記のような心理的諸問題に現場で対応できる力を養っていく。授業時間外の学修では、授業内のディスカッションで発表するために自分の意見を事前にまとめることが求められる。</p>				
到達目標	<p>[授業の到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. スポーツ心理学の成り立ち、役割、意義、基礎的な理論を説明できる。</li> <li>2. スポーツ心理学の心理的サポートについて自分の言葉で説明できる。</li> <li>3. スポーツ心理学の知見をコーチング、体育授業、運動の指導に応用できる。</li> </ol>				
授業の位置づけ	この科目は、分野科目群・分野共通科目の必修科目である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての選択必修科目、JSP0公認スポーツ指導者養成講習会免除適応コース（AT）、（ジュニアスポーツ指導員）、JPSUスポーツトレーナーの必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>[授業の位置付け（学位授与方針に定められた知識・能力等との関連）]</p> <p>この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養、及びそれらの活用能力」を身に付ける。</p>				
履修上の注意、履修要件	<p>[履修条件]</p> <p>特になし</p> <p>[履修上の注意（科目独自のルール）]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 1回の授業に対して3分の2以上の出席時間がない場合は、その回の授業を欠席扱いとする。</li> <li>2. 授業への遅刻を2回した場合には欠席1回分として扱う。</li> <li>3. レポートを期限に遅れて提出した場合には、レポートの評価は50%に減点する（提出しない場合には0点とする）。</li> </ol>				
成績評価の方法					
評価方法	<p>[成績評価の方法]</p> <p>下記の項目を総合して評価する</p> <p>①定期試験（40%）、②レポート（40%）、③小テスト（20%）</p>				
評価基準	<p>[成績評価の評価基準]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. スポーツ心理学の成り立ち、役割、意義、基礎的な理論を説明できる（定期試験、小テスト）。</li> <li>2. スポーツ心理学の心理的サポートとメンタルトレーニングについて自分の言葉で説明できる（小テスト）。</li> <li>3. スポーツ心理学の知見をコーチング、体育授業、運動の指導に応用できる（レポート）。</li> </ol>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
<p>[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]</p> <p>小テストとレポートのフィードバックは授業中に返却して解説を行う。定期試験のフィードバックは試験終了後にJuntendo Passportを用いてポイントを解説する。</p>					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
<p>[テキスト・参考書]</p> <p>この科目では必ず用意しなければならないテキストはありません。必要な資料は授業中に適宜配布します。ただし、下記の3点の書籍はレポートの作成や準備学習での参考書として薦めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 最新スポーツ心理学-その軌跡と展望、日本スポーツ心理学会（編）（大修館書店）</li> <li>2. スポーツメンタルトレーニング教本 三訂版、日本スポーツ心理学会（編）（大修館書店）</li> <li>3. スポーツ心理学事典、日本スポーツ心理学会（編）（大修館書店）</li> </ol>					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>[連絡先]</p> <p>担当：川田裕次郎</p> <p>E-mail: yuukawa[at]juntendo.ac.jp （上記 E-mail アドレス内の[at]を@に修正してください）</p> <p>[オフィスアワー]</p> <p>オフィス：スポーツ心理学研究室（1号館2階1215号室）</p> <p>前期：水曜日 昼休み（12:00～12:50）、木曜日4限目（14:40～16:20）</p> <p>後期：水曜日 昼休み（12:00～12:50）、木曜日4限目（14:40～16:20）</p> <p>※ 上記以外の時間を希望する場合には、事前にE-mailでアポイントを取ってください。</p>				
担当教員の実務経歴	公認心理師とスポーツメンタルトレーニング指導士の資格を取得しており、プロフェッショナルアスリート、国民体育大会出場選手、大学生アスリートのメンタルパフォーマンスコーチの実務経験のある教員が授業を担当する。				

備考				
<p>[学習時間] この授業は、講義形式の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学習を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>[実務経験のある教員による授業] スポーツメンタルトレーニング指導士資格を有してメンタルトレーニングを行っている教員がアスリートの心理サポートの理論と方法について解説する。</p> <p>[その他] この授業科目は、下記の資格と免許に関わる科目として位置付けられている。 免許：中・高保健体育1種免許の取得に必要な科目のうち、「教育の基礎的理解に関する科目」における選択必修科目 資格：日本スポーツ協会アスレチックトレーナーの取得に必要な科目 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合がある。</p>				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	川田	<p>[授業内容] テーマ：スポーツ心理学とは 授業内容と授業の進め方などを理解する。スポーツ心理学の定義、歴史、研究内容、現状と課題、期待されていることなどを理解する。</p> <p>[授業方法] スライドとプリントを用いて講義を進める。小テストを通して、授業内容の理解度を把握し、小テストの解説を行う。</p>	講義	<p>(予習：2時間) 授業のシラバスを丁寧に読んでくる。スポーツ心理学の定義について事前に調べてくる。授業で学びたいと考えている内容を3つ考えてくる。</p> <p>(復習：2時間) 授業のオリエンテーションの内容について理解を深めるために授業資料を読み返す。スポーツ心理学がどのような学問であるのかについて復習する。復習時に疑問に思ったことについて調べ、わからなければ質問をできる準備をしておく。</p>
2	川田	<p>[授業内容] テーマ：心の測定方法 類型論、特性論、投影法、質問紙法などを理解する。</p> <p>[授業方法] スライドとプリントを用いて講義を進める。グループでのディスカッションを通して、最適な緊張感をどのように生み出すかについて学ぶ。小テストを通して、授業内容の理解度を把握し、小テストの解説を行う。</p>	講義	<p>(予習：2時間) 資料の該当部分を丁寧に読んでくる。心の測定方法について事前に調べてくる。</p> <p>(復習：2時間) 授業資料を読み返す。ディスカッションで出された意見についてまとめる。復習時に疑問に思ったことについて調べ、わからなければ質問をできる準備をしておく。</p>
3	川田	<p>[授業内容] テーマ：スポーツにおける動機づけ 期待-価値理論、統制感、原因帰属理論などを理解する</p> <p>[授業方法] スライドとプリントを用いて講義を進める。グループでのディスカッションを通して、動機づけを高める指導方法について考える。小テストを通して、授業内容の理解度を把握し、小テストの解説を行う。</p>	講義	<p>(予習：2時間) 資料の該当部分を丁寧に読んでくる。スポーツにおける動機づけについて事前に調べてくる。</p> <p>(復習：2時間) 授業資料を読み返す。ディスカッションで出された意見についてまとめる。復習時に疑問に思ったことについて調べ、わからなければ質問をできる準備をしておく。</p>
4	川田	<p>[授業内容] テーマ：コーチングに生かす心理学 個人差を考慮したコーチング、選手との人間関係の構築、戦術・戦略などを理解する</p> <p>[授業方法] スライドとプリント、映像を用いて講義を進める。グループでのディスカッションを通して、心理学を活かした指導方法について考える。小テストを通して、授業内容の理解度を把握し、小テストの解説を行う。</p>	講義	<p>(予習：2時間) 資料の該当部分を丁寧に読んでくる。コーチングと心理学の関連について事前に調べてくる。</p> <p>(復習：2時間) 授業資料を読み返す。ディスカッションで出された意見についてまとめる。復習時に疑問に思ったことについて調べ、わからなければ質問をできる準備をしておく。</p>
5	川田	<p>[授業内容] テーマ：スポーツにおけるストレスとストレス対処行動 ストレス、ストレス対処行動、ストレス反応などを理解する。</p> <p>[授業方法] スライドとプリントを用いて講義を進める。グループでのディスカッションを通して、ストレスへの対処方法について考える。小テストを通して、授業内容の理解度を把握し、小テストの解説を行う。</p>	講義	<p>(予習：2時間) 資料の該当部分を丁寧に読んでくる。スポーツにおけるストレスとストレス対処行動について事前に調べてくる。</p> <p>(復習：2時間) 授業資料を読み返す。ディスカッションで出された意見についてまとめる。復習時に疑問に思ったことについて調べ、わからなければ質問をできる準備をしておく。</p>
6	川田	<p>[授業内容] テーマ：スポーツにおける心理的準備 心理的準備、感情調整、レジリエンスなどを理解する。</p> <p>[授業方法] スライドとプリントを用いて講義を進める。実際に個人の目標設定を行う。グループ内で自分の設定した目標について発表し、適切な心理的準備についてディスカッションする。小テストを通して、授業内容の理解度を把握し、小テストの解説を行う。</p>	講義	<p>(予習：2時間) 資料の該当部分を丁寧に読んでくる。心理的準備について事前に調べてくる。</p> <p>(復習：2時間) 授業資料を読み返す。ディスカッションで出された意見についてまとめる。復習時に疑問に思ったことについて調べ、わからなければ質問をできる準備をしておく。</p>

7	川田	<p>[授業内容]          テーマ：スポーツ選手のバーンアウトの理解と予防          学習性無力感、ドロップアウト、バーンアウトなどを理解する。</p> <p>[授業方法]          スライドとプリントを用いて講義を進める。グループでのディスカッションを通して、バーンアウトの予防方法について考える。小テストを通して、授業内容の理解度を把握、小テストの解説を行う。</p>	講義	<p>(予習：2時間)          資料の該当部分を丁寧に読んでくる。スポーツ選手のバーンアウトの理解と予防について事前に調べてくる。</p> <p>(復習：2時間)          授業資料を読み返す。ディスカッションで出された意見についてまとめる。復習時に疑問に思ったことについて調べ、わからなければ質問をできる準備をしておく。</p>
8	川田	<p>[授業内容]          テーマ：チームワークを高めるチームづくり          組織の構造、集団凝集性、集団のモラルなどを理解する。</p> <p>[授業方法]          スライドとプリントを用いて講義を進める。グループでのディスカッションを通して、集団凝集性を高める方法について考える。小テストを通して、授業内容の理解度を把握し、小テストの解説を行う。</p>	講義	<p>(予習：2時間)          資料の該当部分を丁寧に読んでくる。チームワークを高めるチームづくりについて事前に調べてくる。</p> <p>(復習：2時間)          授業資料を読み返す。ディスカッションで出された意見についてまとめる。復習時に疑問に思ったことについて調べ、わからなければ質問をできる準備をしておく。</p>
9	川田	<p>[授業内容]          テーマ：スポーツでの心理サポートとメンタルトレーニング          心理サポートとメンタルトレーニングの理論と基本的な考え方、進め方、不安、緊張、逆U字曲線、最適な緊張感、スランプ、プラトーなどを理解する。</p> <p>[授業方法]          スライドとプリントを用いて講義を進める。グループでのロールプレイを通して、指導者と選手の適切な関係性について考える。小テストを通して、授業内容の理解度を把握する。</p>	講義	<p>(予習：2時間)          資料の該当部分を丁寧に読んでくる。心理サポートとメンタルトレーニングについて事前に調べてくる。</p> <p>(復習：2時間)          授業資料を読み返す。ディスカッションで出された意見についてまとめる。復習時に疑問に思ったことについて調べ、わからなければ質問をできる準備をしておく。</p>
10	川田	<p>[授業内容]          テーマ：スポーツにおける目標設定          目標設定理論、長期-中期-短期目標、結果目標とパフォーマンス目標などを理解する。</p> <p>[授業方法]          スライドとプリントを用いて講義を進める。実際に個人の目標設定を行う。グループ内で自分の設定した目標について発表し、適切な目標設定についてディスカッションする。小テストを通して、授業内容の理解度を把握し、小テストの解説を行う。</p>	講義	<p>(予習：2時間)          資料の該当部分を丁寧に読んでくる。スポーツにおける目標設定について事前に調べてくる。</p> <p>(復習：2時間)          授業資料を読み返す。ディスカッションで出された意見についてまとめる。復習時に疑問に思ったことについて調べ、わからなければ質問をできる準備をしておく。</p>
11	川田	<p>[授業内容]          テーマ：スポーツと心理的発達          パーソナリティの発達、社会性の発達、検査方法などを理解する。</p> <p>[授業方法]          スライドとプリントを用いて講義を進める。グループでのディスカッションを通して、スポーツがどのように心理的発達に役立つのかについて考える。小テストを通して、授業内容の理解度を把握し、小テストの解説を行う。</p>	講義	<p>(予習：2時間)          資料の該当部分を丁寧に読んでくる。スポーツと心理的発達について事前に調べてくる。</p> <p>(復習：2時間)          授業資料を読み返す。ディスカッションで出された意見についてまとめる。復習時に疑問に思ったことについて調べ、わからなければ質問をできる準備をしておく。</p>
12	川田	<p>[授業内容]          テーマ：リーダーシップとフォロワーシップ          リーダーシップ、フォロワーシップなどを理解する。</p> <p>[授業方法]          スライドとプリントを用いて講義を進める。質問紙法を通してリーダーシップを測定する。グループでのディスカッションを通して、適切なリーダーシップとフォロワーシップについて考える。小テストを通して、授業内容の理解度を把握し、小テストの解説を行う。</p>	講義	<p>(予習：2時間)          資料の該当部分を丁寧に読んでくる。スポーツにおけるハラスメントと体罰について事前に調べてくる。</p> <p>(復習：2時間)          授業資料を読み返す。ディスカッションで出された意見についてまとめる。復習時に疑問に思ったことについて調べ、わからなければ質問をできる準備をしておく。</p>
13	川田	<p>[授業内容]          テーマ：スポーツにおけるハラスメントと体罰の理解と予防          パワーハラスメント、セクシャルハラスメント、体罰などを理解する。</p> <p>[授業方法]          スライドとプリントを用いて講義を進める。グループでのディスカッションを通して、スポーツでのハラスメントの防止方法について考える。小テストを通して、授業内容の理解度を把握し、小テストの解説を行う。</p>	講義	<p>(予習：2時間)          資料の該当部分を丁寧に読んでくる。スポーツにおけるハラスメントと体罰について事前に調べてくる。</p> <p>(復習：2時間)          授業資料を読み返す。ディスカッションで出された意見についてまとめる。復習時に疑問に思ったことについて調べ、わからなければ質問をできる準備をしておく。</p>
14	川田	<p>[授業内容]          1回～14回の授業内容の復習をしっかりと行う。レポート課題の解説とスポーツ心理学の授業のまとめを行う。</p> <p>[授業方法]          レポート課題について解答のポイントを解説する。スポーツ心理学の授業内容についてまとめを行う。</p>	講義	<p>(予習：2時間)          レポート課題（スポーツ心理学をコーチング、体育指導、運動指導に応用する方法の提案）を実施して提出する。</p> <p>(復習：6時間)          授業内容のまとめで理解しきれなかった箇所について、再度復習する。</p>
		定期試験		





科目名	【新カリ】スポーツ心理学 [後半]			授業形態	講義
英語科目名	【新カリ】スポーツ心理学 [後半]			対象学年	2年
開講学期	2022年度前期			単位数	2単位
代表教員	川田 裕次郎			ナンバリング	PSY2202
担当教員	川田 裕次郎、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	<p>[授業全体の概要]</p> <p>スポーツのコーチ、体育教師などの指導者は、スポーツ選手や学習者の心理的諸問題（例えば、不安への対処、モチベーションの維持や向上、ストレスマネジメントなど）に対して、学術的な根拠に裏付けられた対応を行うことが求められている。</p> <p>この授業では、スポーツ心理学の理論を理解し、心理テスト、グループディスカッション、事例検討を通して、上記のような心理的諸問題に現場で対応できる力を養っていく。授業時間外の学修では、授業内のディスカッションで発表するために自分の意見を事前にまとめることが求められる。</p>				
到達目標	<p>[授業の到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. スポーツ心理学の成り立ち、役割、意義、基礎的な理論を説明できる。</li> <li>2. スポーツ心理学の心理的サポートについて自分の言葉で説明できる。</li> <li>3. スポーツ心理学の知見をコーチング、体育授業、運動の指導に応用できる。</li> </ol>				
授業の位置づけ	この科目は、分野科目群・分野共通科目の必修科目である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての選択必修科目、JSP0公認スポーツ指導者養成講習会免除適応コース（AT）、（ジュニアスポーツ指導員）、JPSUスポーツトレーナーの必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>[授業の位置付け（学位授与方針に定められた知識・能力等との関連）]</p> <p>この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養、及びそれらの活用能力」を身に付ける。</p>				
履修上の注意、履修要件	<p>[履修条件]</p> <p>特になし</p> <p>[履修上の注意（科目独自のルール）]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 1回の授業に対して3分の2以上の出席時間がない場合は、その回の授業を欠席扱いとする。</li> <li>2. 授業への遅刻を2回した場合には欠席1回分として扱う。</li> <li>3. レポートを期限に遅れて提出した場合には、レポートの評価は50%に減点する（提出しない場合には0点とする）。</li> </ol>				
成績評価の方法					
評価方法	<p>[成績評価の方法]</p> <p>下記の項目を総合して評価する</p> <p>①定期試験（40%）、②レポート（40%）、③小テスト（20%）</p>				
評価基準	<p>[成績評価の評価基準]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. スポーツ心理学の成り立ち、役割、意義、基礎的な理論を説明できる（定期試験、小テスト）。</li> <li>2. スポーツ心理学の心理的サポートとメンタルトレーニングについて自分の言葉で説明できる（小テスト）。</li> <li>3. スポーツ心理学の知見をコーチング、体育授業、運動の指導に応用できる（レポート）。</li> </ol>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
<p>[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]</p> <p>小テストとレポートのフィードバックは授業中に返却して解説を行う。定期試験のフィードバックは試験終了後にJuntendo Passportを用いてポイントを解説する。</p>					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
<p>[テキスト・参考書]</p> <p>この科目では必ず用意しなければならないテキストはありません。必要な資料は授業中に適宜配布します。ただし、下記の3点の書籍はレポートの作成や準備学習での参考書として薦めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 最新スポーツ心理学-その軌跡と展望、日本スポーツ心理学会（編）（大修館書店）</li> <li>2. スポーツメンタルトレーニング教本 三訂版、日本スポーツ心理学会（編）（大修館書店）</li> <li>3. スポーツ心理学事典、日本スポーツ心理学会（編）（大修館書店）</li> </ol>					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>[連絡先]</p> <p>担当：川田裕次郎</p> <p>E-mail: yuukawa[at]juntendo.ac.jp （上記 E-mail アドレス内の[at]を@に修正してください）</p> <p>[オフィスアワー]</p> <p>オフィス：スポーツ心理学研究室（1号館2階1215号室）</p> <p>前期：水曜日 昼休み（12:00～12:50）、木曜日4限目（14:40～16:20）</p> <p>後期：水曜日 昼休み（12:00～12:50）、木曜日4限目（14:40～16:20）</p> <p>※ 上記以外時間を希望する場合には、事前にE-mailでアポイントを取ってください。</p>				
担当教員の実務経歴	公認心理師とスポーツメンタルトレーニング指導士の資格を取得しており、プロフェッショナルアスリート、国民体育大会出場選手、大学生アスリートのメンタルパフォーマンスコーチの実務経験のある教員が授業を担当する。				

備考				
<p>[学習時間] この授業は、講義形式の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学習を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>[実務経験のある教員による授業] スポーツメンタルトレーニング指導士資格を有してメンタルトレーニングを行っている教員がアスリートの心理サポートの理論と方法について解説する。</p> <p>[その他] この授業科目は、下記の資格と免許に関わる科目として位置付けられている。 免許：中・高保健体育1種免許の取得に必要な科目のうち、「教育の基礎的理解に関する科目」における選択必修科目 資格：日本スポーツ協会アスレチックトレーナーの取得に必要な科目 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合がある。</p>				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	川田	<p>[授業内容] テーマ：スポーツ心理学とは 授業内容と授業の進め方などを理解する。スポーツ心理学の定義、歴史、研究内容、現状と課題、期待されていることなどを理解する。</p> <p>[授業方法] スライドとプリントを用いて講義を進める。小テストを通して、授業内容の理解度を把握し、小テストの解説を行う。</p>	講義	<p>(予習：2時間) 授業のシラバスを丁寧に読んでくる。スポーツ心理学の定義について事前に調べてくる。授業で学びたいと考えている内容を3つ考えてくる。</p> <p>(復習：2時間) 授業のオリエンテーションの内容について理解を深めるために授業資料を読み返す。スポーツ心理学がどのような学問であるのかについて復習する。復習時に疑問に思ったことについて調べ、わからなければ質問をできる準備をしておく。</p>
2	川田	<p>[授業内容] テーマ：心の測定方法 類型論、特性論、投影法、質問紙法などを理解する。</p> <p>[授業方法] スライドとプリントを用いて講義を進める。グループでのディスカッションを通して、最適な緊張感をどのように生み出すかについて学ぶ。小テストを通して、授業内容の理解度を把握し、小テストの解説を行う。</p>	講義	<p>(予習：2時間) 資料の該当部分を丁寧に読んでくる。心の測定方法について事前に調べてくる。</p> <p>(復習：2時間) 授業資料を読み返す。ディスカッションで出された意見についてまとめる。復習時に疑問に思ったことについて調べ、わからなければ質問をできる準備をしておく。</p>
3	川田	<p>[授業内容] テーマ：スポーツにおける動機づけ 期待-価値理論、統制感、原因帰属理論などを理解する</p> <p>[授業方法] スライドとプリントを用いて講義を進める。グループでのディスカッションを通して、動機づけを高める指導方法について考える。小テストを通して、授業内容の理解度を把握し、小テストの解説を行う。</p>	講義	<p>(予習：2時間) 資料の該当部分を丁寧に読んでくる。スポーツにおける動機づけについて事前に調べてくる。</p> <p>(復習：2時間) 授業資料を読み返す。ディスカッションで出された意見についてまとめる。復習時に疑問に思ったことについて調べ、わからなければ質問をできる準備をしておく。</p>
4	川田	<p>[授業内容] テーマ：コーチングに生かす心理学 個人差を考慮したコーチング、選手との人間関係の構築、戦術・戦略などを理解する</p> <p>[授業方法] スライドとプリント、映像を用いて講義を進める。グループでのディスカッションを通して、心理学を活かした指導方法について考える。小テストを通して、授業内容の理解度を把握し、小テストの解説を行う。</p>	講義	<p>(予習：2時間) 資料の該当部分を丁寧に読んでくる。コーチングと心理学の関連について事前に調べてくる。</p> <p>(復習：2時間) 授業資料を読み返す。ディスカッションで出された意見についてまとめる。復習時に疑問に思ったことについて調べ、わからなければ質問をできる準備をしておく。</p>
5	川田	<p>[授業内容] テーマ：スポーツにおけるストレスとストレス対処行動 ストレス、ストレス対処行動、ストレス反応などを理解する。</p> <p>[授業方法] スライドとプリントを用いて講義を進める。グループでのディスカッションを通して、ストレスへの対処方法について考える。小テストを通して、授業内容の理解度を把握し、小テストの解説を行う。</p>	講義	<p>(予習：2時間) 資料の該当部分を丁寧に読んでくる。スポーツにおけるストレスとストレス対処行動について事前に調べてくる。</p> <p>(復習：2時間) 授業資料を読み返す。ディスカッションで出された意見についてまとめる。復習時に疑問に思ったことについて調べ、わからなければ質問をできる準備をしておく。</p>
6	川田	<p>[授業内容] テーマ：スポーツにおける心理的準備 心理的準備、感情調整、レジリエンスなどを理解する。</p> <p>[授業方法] スライドとプリントを用いて講義を進める。実際に個人の目標設定を行う。グループ内で自分の設定した目標について発表し、適切な心理的準備についてディスカッションする。小テストを通して、授業内容の理解度を把握し、小テストの解説を行う。</p>	講義	<p>(予習：2時間) 資料の該当部分を丁寧に読んでくる。心理的準備について事前に調べてくる。</p> <p>(復習：2時間) 授業資料を読み返す。ディスカッションで出された意見についてまとめる。復習時に疑問に思ったことについて調べ、わからなければ質問をできる準備をしておく。</p>

7	川田	<p>[授業内容]          テーマ：スポーツ選手のバーンアウトの理解と予防          学習性無力感、ドロップアウト、バーンアウトなどを理解する。</p> <p>[授業方法]          スライドとプリントを用いて講義を進める。グループでのディスカッションを通して、バーンアウトの予防方法について考える。小テストを通して、授業内容の理解度を把握、小テストの解説を行う。</p>	講義	<p>(予習：2時間)          資料の該当部分を丁寧に読んでくる。スポーツ選手のバーンアウトの理解と予防について事前に調べてくる。</p> <p>(復習：2時間)          授業資料を読み返す。ディスカッションで出された意見についてまとめる。復習時に疑問に思ったことについて調べ、わからなければ質問をできる準備をしておく。</p>
8	川田	<p>[授業内容]          テーマ：チームワークを高めるチームづくり          組織の構造、集団凝集性、集団のモラールなどを理解する。</p> <p>[授業方法]          スライドとプリントを用いて講義を進める。グループでのディスカッションを通して、集団凝集性を高める方法について考える。小テストを通して、授業内容の理解度を把握し、小テストの解説を行う。</p>	講義	<p>(予習：2時間)          資料の該当部分を丁寧に読んでくる。チームワークを高めるチームづくりについて事前に調べてくる。</p> <p>(復習：2時間)          授業資料を読み返す。ディスカッションで出された意見についてまとめる。復習時に疑問に思ったことについて調べ、わからなければ質問をできる準備をしておく。</p>
9	川田	<p>[授業内容]          テーマ：スポーツでの心理サポートとメンタルトレーニング          心理サポートとメンタルトレーニングの理論と基本的な考え方、進め方、不安、緊張、逆U字曲線、最適な緊張感、スランプ、プラトーなどを理解する。</p> <p>[授業方法]          スライドとプリントを用いて講義を進める。グループでのロールプレイを通して、指導者と選手の適切な関係性について考える。小テストを通して、授業内容の理解度を把握する。</p>	講義	<p>(予習：2時間)          資料の該当部分を丁寧に読んでくる。心理サポートとメンタルトレーニングについて事前に調べてくる。</p> <p>(復習：2時間)          授業資料を読み返す。ディスカッションで出された意見についてまとめる。復習時に疑問に思ったことについて調べ、わからなければ質問をできる準備をしておく。</p>
10	川田	<p>[授業内容]          テーマ：スポーツにおける目標設定          目標設定理論、長期-中期-短期目標、結果目標とパフォーマンス目標などを理解する。</p> <p>[授業方法]          スライドとプリントを用いて講義を進める。実際に個人の目標設定を行う。グループ内で自分の設定した目標について発表し、適切な目標設定についてディスカッションする。小テストを通して、授業内容の理解度を把握し、小テストの解説を行う。</p>	講義	<p>(予習：2時間)          資料の該当部分を丁寧に読んでくる。スポーツにおける目標設定について事前に調べてくる。</p> <p>(復習：2時間)          授業資料を読み返す。ディスカッションで出された意見についてまとめる。復習時に疑問に思ったことについて調べ、わからなければ質問をできる準備をしておく。</p>
11	川田	<p>[授業内容]          テーマ：スポーツと心理的発達          パーソナリティの発達、社会性の発達、検査方法などを理解する。</p> <p>[授業方法]          スライドとプリントを用いて講義を進める。グループでのディスカッションを通して、スポーツがどのように心理的発達に役立つのかについて考える。小テストを通して、授業内容の理解度を把握し、小テストの解説を行う。</p>	講義	<p>(予習：2時間)          資料の該当部分を丁寧に読んでくる。スポーツと心理的発達について事前に調べてくる。</p> <p>(復習：2時間)          授業資料を読み返す。ディスカッションで出された意見についてまとめる。復習時に疑問に思ったことについて調べ、わからなければ質問をできる準備をしておく。</p>
12	川田	<p>[授業内容]          テーマ：リーダーシップとフォロワーシップ          リーダーシップ、フォロワーシップなどを理解する。</p> <p>[授業方法]          スライドとプリントを用いて講義を進める。質問紙法を通してリーダーシップを測定する。グループでのディスカッションを通して、適切なリーダーシップとフォロワーシップについて考える。小テストを通して、授業内容の理解度を把握し、小テストの解説を行う。</p>	講義	<p>(予習：2時間)          資料の該当部分を丁寧に読んでくる。スポーツにおけるハラスメントと体罰について事前に調べてくる。</p> <p>(復習：2時間)          授業資料を読み返す。ディスカッションで出された意見についてまとめる。復習時に疑問に思ったことについて調べ、わからなければ質問をできる準備をしておく。</p>
13	川田	<p>[授業内容]          テーマ：スポーツにおけるハラスメントと体罰の理解と予防          パワーハラスメント、セクシャルハラスメント、体罰などを理解する。</p> <p>[授業方法]          スライドとプリントを用いて講義を進める。グループでのディスカッションを通して、スポーツでのハラスメントの防止方法について考える。小テストを通して、授業内容の理解度を把握し、小テストの解説を行う。</p>	講義	<p>(予習：2時間)          資料の該当部分を丁寧に読んでくる。スポーツにおけるハラスメントと体罰について事前に調べてくる。</p> <p>(復習：2時間)          授業資料を読み返す。ディスカッションで出された意見についてまとめる。復習時に疑問に思ったことについて調べ、わからなければ質問をできる準備をしておく。</p>
14	川田	<p>[授業内容]          1回～14回の授業内容の復習をしっかりと行う。レポート課題の解説とスポーツ心理学の授業のまとめを行う。</p> <p>[授業方法]          レポート課題について解答のポイントを解説する。スポーツ心理学の授業内容についてまとめを行う。</p>	講義	<p>(予習：2時間)          レポート課題（スポーツ心理学をコーチング、体育指導、運動指導に応用する方法の提案）を実施して提出する。</p> <p>(復習：6時間)          授業内容のまとめで理解しきれなかった箇所について、再度復習する。</p>
		定期試験		



科目名	【新カリ】スポーツコーチング論Ⅰ〔前半〕			授業形態	講義
英語科目名	【新カリ】スポーツコーチング論Ⅰ〔前半〕			対象学年	2年
開講学期	2022年度前期			単位数	2単位
代表教員	原田 睦巳			ナンバリング	COA2204
担当教員	原田 睦巳、廣瀬 伸良、山崎 一彦、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	本授業では、スポーツコーチング指導者に必要とされる基本的な思考や態度・行動に関する内容を中心に学修を進める。スポーツコーチングの目的やコーチの役割、人間力について学修し、スポーツ史の観点からスポーツの在り方やスポーツを行う意義について思考する。さらに、指導者（観察者）や実践者の思考や観察を通じて構築されるスポーツ運動学に基づいた運動の質的分析方法についても理解を深める。これらの学修により科学的なアプローチによって構築されたコーチング理論を学ぶための基礎を身に付ける。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. スポーツにおける文化的、社会的背景のもと、その歴史の変遷を理解し、スポーツの在り方や意義について理解する。</li> <li>2. 質的運動分析方法の一つであるスポーツ運動学における概念を学び、運動質を把握する8つのカテゴリーや自己観察、他者観察における運動学的な理論を理解できる。</li> <li>3. コーチングの目的やコーチに求められる役割について正しく説明できる。</li> <li>4. ハイパフォーマンススポーツの社会的意義、競技レベルや年齢や性別に応じたトレーニング、選手の育成パスウェイについて正しく理解できる。</li> </ol>				
授業の位置づけ	この科目は、分野科目群・分野共通科目の選択必修科目（スポーツ科学分野は必修）である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	本科目は、コーチングの目的やコーチの役割、人間力について、その知識を深めるための理解力及び観察力を身に付ける。授業においては、スポーツの歴史から多様な文化的価値を学び、スポーツの在り方やスポーツを行う意義について考える。また、スポーツコーチングにおいて必要とされるスポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養及びそれらの活用能力としての指導者（観察者）や実践者の思考、観察を通じて構築される運動の質的分析方法（スポーツ運動学）についても理解を深める。これらの学修により、コーチング科学を中心としたスポーツ健康科学についての知識と技能という学位授与方針の達成に寄与する。				
履修上の注意、履修要件	<p>【履修要件】 実際にスポーツ活動を実践している学生が望ましい。将来的に、スポーツ活動を指導する立場につく人が望ましい。</p> <p>【履修上の注意（科目独自のルール）】 著しく授業態度に問題がある場合（遅刻・途中退出等）には、単位認定を認めないこととする。また、授業内レポートの提出がない場合には、出席の代返とみなし、同じく単位認定を認めない。</p>				
成績評価の方法					
評価方法	授業内発言、ディスカッション時の等取り組む姿勢や発言等10%、提出課題（レポート等）20%、定期試験（筆記）70% 授業態度が授業進行上においてふさわしくないと判断した場合は、減点の対象とします。また、遅刻に対しては厳正に対処します。				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. スポーツ指導者の資格制度、コーチの果たすべき役割や事故予防策、問題発生時の対処方法を理解する。（定期試験）</li> <li>2. コーチングの留意点、トレーニングの至適年齢や、遺伝の影響について学修し、ハイパフォーマンススポーツについて、その位置付けや、社会的意義、コーチの役割、情報戦略や選手育成パスウェイについて理解できる。（定期試験）</li> <li>3. 現代や近未来におけるスポーツの在り方や役割に関して、スポーツの歴史的諸相からの考察や史実について理解できる。（定期試験）</li> <li>4. スポーツ運動学における定義や概念を理解する。（定期試験）</li> <li>5. 運動感覚について、スポーツ運動学の見地からみた概念や定義を理解する。（定期試験）</li> <li>6. 学習意欲や態度、ディスカッションの積極性を発言やレポート等で評価する。（平常点）</li> </ol>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
【試験・レポート等の課題に対するフィードバックの方法】 授業時に返却し、その内容の解説や評価のポイントを明示する。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
<p>日本スポーツ協会 公認スポーツ指導者養成講習会共通科目「Reference Book」      日本コーチング学会：コーチング学への招待、大修館書店（2017）      近代スポーツの誕生（講談社）      オリンピック物語（中公新書）      K. マイネル（金子明友訳）：スポーツ運動学、大修館書店（1979）      谷 徹：これが現象学だ、講談社現代新書（2002）      金子明友：わざの伝承、明和出版（2002）      金子明友：身体知の形成（上・下）、明和出版（2005）      金子明友：スポーツ運動学、明和出版（2009）      金子一秀：スポーツ運動学入門、明和出版（2015）</p>					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】          担当：原田 睦巳          （1号館5階1511 体操競技研究室）          mtharada[at]juntendo.ac.jp</p> <p>【オフィスアワー】          火曜日 10：40～12：00          木曜日 10：00～12：00          金曜日 10：00～12：00</p>				

担当教員の実務経験				
備考		<p>【学修時間】 この授業は、講義及びグループディスカッション・オムニバスの授業形態による2単位の科目であり、授業時間30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】 中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校 保健体育） 施行規則に定める科目区分又は事項等：教科に関する専門的事項 「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学（運動方法学を含む。） JSPQ（日本スポーツ協会）公認スポーツ指導者 共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ</p> <p>【その他】 新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画等の変更をお願いする可能性がある</p>		
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	廣瀬伸良	【授業内容】 古代・中世ヨーロッパのスポーツ変遷、近代スポーツの誕生と社会的背景について理解する。	【授業方法】 古代・中世ヨーロッパにおけるスポーツ諸相とその特徴、近代スポーツの誕生と社会的関係性について解説する。	（予習：2時間） 古代・中世ヨーロッパで行われていたスポーツとイギリスとアメリカ発祥のスポーツの特徴について理解しておく。 （復習：2時間） 授業内で取り上げた内容について、参考文献やなどを熟読し、事後理解を深める。
2	廣瀬伸良	【授業内容】 日本における近代スポーツの需要と変容について理解する。	【授業方法】 近代スポーツの日本的受容と変容の特徴について日本社会との関係性に着目して解説する。	（予習：2時間） 近代スポーツの日本への導入課程について調べ理解を深めておく。 （復習：2時間） 授業内で取り上げた内容について、参考文献やなどを熟読し、事後理解を深める。
3	廣瀬伸良	【授業内容】 近代スポーツと戦争についての理解を深める。	【授業方法】 近代スポーツと戦争について政治状況や時代背景に着目しながら解説する。	（予習：2時間） 近代スポーツが海外や日本でのスポーツに果たした役割と影響について調べ、理解を深めておく。 （復習：2時間） 授業内で取り上げた内容について、参考文献やなどを熟読し、事後理解を深める。
4	廣瀬伸良	【授業内容】 近代オリンピックの誕生と発展、日本とオリンピックの関係について理解を深める。	【授業方法】 近代オリンピックの誕生とその後の発展史よりオリンピックの理念、政治状況について解説する。また、日本とオリンピックの関係史について東京3大会（1940・1964・2020）に着目して解説する。	（予習：2時間） 近代オリンピックの誕生や発展に関わった人物および日本で開催する社会的意義と時代背景について調べ、理解を深めておく。 （復習：2時間） 授業内で取り上げた内容について、参考文献やなどを熟読し、事後理解を深める。
5	廣瀬伸良	【授業内容】 日本におけるスポーツ教育の展開「運動部活動・大学スポーツの変遷、在り方」について理解を深める。	【授業方法】 日本の運動部活動（中学・高校）および大学スポーツについて、日本スポーツ教育の特殊性の視点より解説する。	（予習：2時間） 日本の学校における運動部活動の諸問題や大学スポーツ協会（UNIVAS）の設立経緯について調べ、理解を深めておく。 （復習：2時間） 授業内で取り上げた内容について、参考文献やなどを熟読し、事後理解を深める。
6	廣瀬伸良	【授業内容】 歴史的諸相よりスポーツ産業の発展、現代社会とスポーツの在り方について理解を深める。	【授業方法】 現代社会とスポーツ産業の関係、現代社会におけるスポーツの在り方についてこれまでの授業を踏まえながら解説する。	（予習：2時間） 日本のスポーツ産業の発展史と現代のスポーツをめぐる問題点について調べ、理解を深めておく。 （復習：2時間） 授業内で取り上げた内容について、参考文献やなどを熟読し、事後理解を深める。
7	原田睦巳	【授業内容】 人間科学的な質的運動分析方法の一つであるスポーツ運動学の目的と役割、そしてその概念についての基礎を学習し、理解を深める。	【授業方法】 科学的とは何か、自然科学と人間科学の違いについて説明し、質的運動分析方法の一つであるスポーツ運動学の概念について説明する。	（予習：3時間） スポーツにおける科学研究方法や分析方法について、その具体的な方法を調査する。 （復習：2時間） スポーツ運動学の概念やその目的と役割について、復習する。







科目名	【新カリ】スポーツコーチング論Ⅰ〔後半〕			授業形態	講義
英語科目名	【新カリ】スポーツコーチング論Ⅰ〔後半〕			対象学年	2年
開講学期	2022年度前期			単位数	2単位
代表教員	原田 睦巳			ナンバリング	COA2204
担当教員	原田 睦巳、廣瀬 伸良、山崎 一彦、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	本授業では、スポーツコーチング指導者に必要とされる基本的な思考や態度・行動に関する内容を中心に学修を進める。スポーツコーチングの目的やコーチの役割、人間力について学修し、スポーツ史の観点からスポーツの在り方やスポーツを行う意義について思考する。さらに、指導者（観察者）や実践者の思考や観察を通じて構築されるスポーツ運動学に基づいた運動の質的分析方法についても理解を深める。これらの学修により科学的なアプローチによって構築されたコーチング理論を学ぶための基礎を身に付ける。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. スポーツにおける文化的、社会的背景のもと、その歴史の変遷を理解し、スポーツの在り方や意義について理解する。</li> <li>2. 質的運動分析方法の一つであるスポーツ運動学における概念を学び、運動質を把握する8つのカテゴリーや自己観察、他者観察における運動学的な理論を理解できる。</li> <li>3. コーチングの目的やコーチに求められる役割について正しく説明できる。</li> <li>4. ハイパフォーマンススポーツの社会的意義、競技レベルや年齢や性別に応じたトレーニング、選手の育成パスウェイについて正しく理解できる。</li> </ol>				
授業の位置づけ	この科目は、分野科目群・分野共通科目の選択必修科目（スポーツ科学分野は必修）である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	本科目は、コーチングの目的やコーチの役割、人間力について、その知識を深めるための理解力及び観察力を身に付ける。授業においては、スポーツの歴史から多様な文化的価値を学び、スポーツの在り方やスポーツを行う意義について考える。また、スポーツコーチングにおいて必要とされるスポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養及びそれらの活用能力としての指導者（観察者）や実践者の思考、観察を通じて構築される運動の質的分析方法（スポーツ運動学）についても理解を深める。これらの学修により、コーチング科学を中心としたスポーツ健康科学についての知識と技能という学位授与方針の達成に寄与する。				
履修上の注意、履修要件	<p>【履修要件】 実際にスポーツ活動を実践している学生が望ましい。将来的に、スポーツ活動を指導する立場につく人が望ましい。</p> <p>【履修上の注意（科目独自のルール）】 著しく授業態度に問題がある場合（遅刻・途中退出等）には、単位認定を認めないこととする。また、授業内レポートの提出がない場合には、出席の代返とみなし、同じく単位認定を認めない。</p>				
成績評価の方法					
評価方法	授業内発言、ディスカッション時の等取り組む姿勢や発言等10%、提出課題（レポート等）20%、定期試験（筆記）70% 授業態度が授業進行上においてふさわしくないと判断した場合は、減点の対象とします。また、遅刻に対しては厳正に対処します。				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. スポーツ指導者の資格制度、コーチの果たすべき役割や事故予防策、問題発生時の対処方法を理解する。（定期試験）</li> <li>2. コーチングの留意点、トレーニングの至適年齢や、遺伝の影響について学修し、ハイパフォーマンススポーツについて、その位置付けや、社会的意義、コーチの役割、情報戦略や選手育成パスウェイについて理解できる。（定期試験）</li> <li>3. 現代や近未来におけるスポーツの在り方や役割に関して、スポーツの歴史的諸相からの考察や史実について理解できる。（定期試験）</li> <li>4. スポーツ運動学における定義や概念を理解する。（定期試験）</li> <li>5. 運動感覚について、スポーツ運動学の見地からみた概念や定義を理解する。（定期試験）</li> <li>6. 学習意欲や態度、ディスカッションの積極性を発言やレポート等で評価する。（平常点）</li> </ol>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
【試験・レポート等の課題に対するフィードバックの方法】 授業時に返却し、その内容の解説や評価のポイントを明示する。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
<p>日本スポーツ協会 公認スポーツ指導者養成講習会共通科目「Reference Book」      日本コーチング学会：コーチング学への招待、大修館書店（2017）      近代スポーツの誕生（講談社）      オリンピック物語（中公新書）      K. マイネル（金子明友訳）：スポーツ運動学、大修館書店（1979）      谷 徹：これが現象学だ、講談社現代新書（2002）      金子明友：わざの伝承、明和出版（2002）      金子明友：身体知の形成（上・下）、明和出版（2005）      金子明友：スポーツ運動学、明和出版（2009）      金子一秀：スポーツ運動学入門、明和出版（2015）</p>					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】          担当：原田 睦巳          （1号館5階1511 体操競技研究室）          mtharada[at]juntendo.ac.jp</p> <p>【オフィスアワー】          火曜日 10：40～12：00          木曜日 10：00～12：00          金曜日 10：00～12：00</p>				

担当教員の実務経験				
備考		<p>【学修時間】 この授業は、講義及びグループディスカッション・オムニバスの授業形態による2単位の科目であり、授業時間30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】 中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校 保健体育） 施行規則に定める科目区分又は事項等：教科に関する専門的事項 「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学（運動方法学を含む。） JSPQ（日本スポーツ協会）公認スポーツ指導者 共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ</p> <p>【その他】 新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画等の変更をお願いする可能性がある</p>		
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	廣瀬伸良	【授業内容】 古代・中世ヨーロッパのスポーツ変遷、近代スポーツの誕生と社会的背景について理解する。	【授業方法】 古代・中世ヨーロッパにおけるスポーツ諸相とその特徴、近代スポーツの誕生と社会的関係性について解説する。	（予習：2時間） 古代・中世ヨーロッパで行われていたスポーツとイギリスとアメリカ発祥のスポーツの特徴について理解しておく。 （復習：2時間） 授業内で取り上げた内容について、参考文献やなどを熟読し、事後理解を深める。
2	廣瀬伸良	【授業内容】 日本における近代スポーツの需要と変容について理解する。	【授業方法】 近代スポーツの日本的受容と変容の特徴について日本社会との関係性に着目して解説する。	（予習：2時間） 近代スポーツの日本への導入課程について調べ理解を深めておく。 （復習：2時間） 授業内で取り上げた内容について、参考文献やなどを熟読し、事後理解を深める。
3	廣瀬伸良	【授業内容】 近代スポーツと戦争についての理解を深める。	【授業方法】 近代スポーツと戦争について政治状況や時代背景に着目しながら解説する。	（予習：2時間） 近代スポーツが海外や日本でのスポーツに果たした役割と影響について調べ、理解を深めておく。 （復習：2時間） 授業内で取り上げた内容について、参考文献やなどを熟読し、事後理解を深める。
4	廣瀬伸良	【授業内容】 近代オリンピックの誕生と発展、日本とオリンピックの関係について理解を深める。	【授業方法】 近代オリンピックの誕生とその後の発展史よりオリンピックの理念、政治状況について解説する。また、日本とオリンピックの関係史について東京3大会（1940・1964・2020）に着目して解説する。	（予習：2時間） 近代オリンピックの誕生や発展に関わった人物および日本で開催する社会的意義と時代背景について調べ、理解を深めておく。 （復習：2時間） 授業内で取り上げた内容について、参考文献やなどを熟読し、事後理解を深める。
5	廣瀬伸良	【授業内容】 日本におけるスポーツ教育の展開「運動部活動・大学スポーツの変遷、在り方」について理解を深める。	【授業方法】 日本の運動部活動（中学・高校）および大学スポーツについて、日本スポーツ教育の特殊性の視点より解説する。	（予習：2時間） 日本の学校における運動部活動の諸問題や大学スポーツ協会（UNIVAS）の設立経緯について調べ、理解を深めておく。 （復習：2時間） 授業内で取り上げた内容について、参考文献やなどを熟読し、事後理解を深める。
6	廣瀬伸良	【授業内容】 歴史的諸相よりスポーツ産業の発展、現代社会とスポーツの在り方について理解を深める。	【授業方法】 現代社会とスポーツ産業の関係、現代社会におけるスポーツの在り方についてこれまでの授業を踏まえながら解説する。	（予習：2時間） 日本のスポーツ産業の発展史と現代のスポーツをめぐる問題点について調べ、理解を深めておく。 （復習：2時間） 授業内で取り上げた内容について、参考文献やなどを熟読し、事後理解を深める。
7	原田睦巳	【授業内容】 人間科学的な質的運動分析方法の一つであるスポーツ運動学の目的と役割、そしてその概念についての基礎を学習し、理解を深める。	【授業方法】 科学的とは何か、自然科学と人間科学の違いについて説明し、質的運動分析方法の一つであるスポーツ運動学の概念について説明する。	（予習：3時間） スポーツにおける科学研究方法や分析方法について、その具体的な方法を調査する。 （復習：2時間） スポーツ運動学の概念やその目的と役割について、復習する。





科目名	【新カリ】 衛生・公衆衛生学総論 [前半]	授業形態	講義		
英語科目名	【新カリ】 衛生・公衆衛生学総論 [前半]	対象学年	2年		
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位		
代表教員	佐々木 啓	ナンバリング	PUH2205		
担当教員	佐々木 啓、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	<p>【授業全体の内容】 近年、国内ではがん、生活習慣病や感染症などを原因とする疾患が死亡原因の上位に位置している。衛生・公衆衛生学総論では、これら公衆衛生学上重要な疾病の成り立ちや、その治療や予防について学ぶ。また、衛生学として環境における水質や大気などの汚染と健康被害、さらにはそれらを規制するための環境基準について学ぶ。</p> <p>この授業では、基礎医学、予防医学ならびに環境科学の広範囲な基礎知識を修得し、環境と健康について理解を深め、疾病を予防したり、健康を維持増進したりするための技術や知識について学ぶ。</p> <p>【授業の位置づけ（学位授与方針に定められた知識・能力等との関連）】 この科目は、「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養、及びそれらの活用能力」、「健康を創造・支援するために必要な身体的・精神的・社会的健康についての知識と技能」ならびに「健康に関する専門性を活かし、人づくり、社会づくりに貢献できる能力」という学位授与方針の達成に寄与する。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 四大疾病の発症メカニズムと国内動向を説明できる。</li> <li>2. 重要な感染症の病原体について説明できる。</li> <li>3. 主要な生活習慣病発症までの過程を説明できる。</li> <li>4. 重要な環境汚染とその健康被害について説明できる。</li> </ol>				
授業の位置づけ	この科目は、分野科目群・分野共通科目の選択必修科目（スポーツ健康・教育分野は必修）である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は、「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養、及びそれらの活用能力」、「健康を創造・支援するために必要な身体的・精神的・社会的健康についての知識と技能」ならびに「健康に関する専門性を活かし、人づくり、社会づくりに貢献できる能力」という学位授与方針の達成に寄与する。				
履修上の注意、履修要件	<p>【履修要件】 生物系、化学系の基礎科目を受講していることが望ましい。</p> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】 課題レポートは翌週の授業で返却し、解説を行う。定期試験後には、要望があれば個別に解説や指導を行う。</p> <p>【テキスト・参考書等】 1. 鈴木庄亮（監）、小山洋、辻一郎（編）シンプル衛生・公衆衛生学2017（南江堂） 2. 東京大学医学部健康総合科学科（編）社会を変える健康のサイエンス（東京大学出版会） ともに参考書であり、授業中は、適宜参考資料を配付する。</p>				
成績評価の方法					
評価方法	<p>【成績評価の基準】 1. 四大疾病や生活習慣病の発症メカニズムを述べることができる。（定期試験） 2. 感染症について、原因病原体とその病名を理解している。（定期試験、レポート） 3. 主要な公害と健康被害について説明できる。（定期試験） 4. 授業回数の3分の2以上の出席者のみを評価対象として、受講態度によって評価する。（平常点）</p> <p>【成績評価の方法】 平常点（10%）、課題レポート（20%）ならびに定期試験（70%）を総合して評価する。</p>				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 四大疾病や生活習慣病の発症メカニズムを述べることができる（定期試験）。</li> <li>2. 感染症について、原因病原体とその病名を理解している（定期試験、レポート）。</li> <li>3. 主要な公害と健康被害について説明できる（定期試験）。</li> <li>4. 授業回数の3分の2以上の出席者のみを評価対象として、受講態度によって評価する（平常点）。</li> </ol>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
課題レポートは翌週の授業で返却し、解説を行う。定期試験後には、要望があれば個別に解説や指導を行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 鈴木庄亮（監）、小山洋、辻一郎（編）シンプル衛生・公衆衛生学2017（南江堂）</li> <li>2. 東京大学医学部健康総合科学科（編）社会を変える健康のサイエンス（東京大学出版会）</li> </ol> <p>ともに参考書であり、授業中は、適宜参考資料を配付します。</p>					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】 担当：佐々木 啓 E-mail: hirakus@juntendo.ac.jp</p> <p>【オフィスアワー】 日時：前期の木曜日 14時から15時 場所：1号館 4F 1410室 前日までE-mailで予約すること。</p>				
担当教員の実務経験					

備考	<p>【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】 中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校 保健体育） 施行規則に定める科目区分又は事項等：教科に関する専門的事項 衛生学・公衆衛生学</p> <p>受講人数が300人を超える場合には、授業方法を変更することがあります。 この授業科目は、以下の資格取得の要件となっています。 第一種衛生管理者</p>			
	授業計画			
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	佐々木	<p>【授業内容】 ガイダンス、衛生学、公衆衛生学とは？ 衛生学と公衆衛生学の学際を解説し、衛生学の偉人リスターについて紹介する。 【授業方法】 プリントとスライドを用いて講義を進める。</p>	プリントとスライドを用いて講義を進める。	<p>(予習3時間) 消毒と滅菌の違いについて説明できるように調べておくこと。 (復習1時間) 配布プリントをよく読んでおくこと。</p>
2	佐々木	<p>【授業内容】 衛生学と公衆衛生学の歴史 19世紀に活躍したスノウやゼンメルワイスなどの功績とその後の発展を紹介する。 【授業方法】 プリントとスライドを用いて講義を進める。</p>	プリントとスライドを用いて講義を進める。	<p>(予習2時間) 新興・再興感染症について具体的に調べておくこと。 (復習2時間) 配布プリントをよく読んでおくこと。</p>
3	佐々木	<p>【授業内容】 人口統計と各種統計 死亡率や各種疾病の有病率、罹患率などの保健統計と人口統計について解説する。 【授業方法】 プリントとスライドを用いて講義を進める。</p>	プリントとスライドを用いて講義を進める。	<p>(予習2時間) 保健統計にはどのようなものがあるか各自調べること。 (復習2時間) 講義終了時にレポート課題を出すので取り組むこと。</p>
4	佐々木	<p>【授業内容】 疫学の基礎とその応用 疫学のルーツを説明し、疫学用語について解説する。疫学調査で明らかになったこと、疫学調査の失敗例について紹介し、どのようなバイアスを学生に考えて貰う。 【授業方法】 プリントとスライドを用いて講義を進める。</p>	プリントとスライドを用いて講義を進める。	<p>(予習2時間) 疫学の具体例を調べておくこと。 (復習2時間) 配布プリントを読んでおくこと。</p>
5	佐々木	<p>【授業内容】 疾病予防と健康管理-がん 腫瘍化の機序、喫煙や食生活との関係、治療法について解説する。最新の研究動向についても紹介する。 【授業方法】 プリントとスライドを用いて講義を進める。</p>	プリントとスライドを用いて講義を進める。	<p>(予習2時間) 悪性腫瘍と良性腫瘍の違いを説明できるようにしておくこと。 (復習2時間) 配布プリントを読んでおくこと。</p>
6	佐々木	<p>【授業内容】 疾病予防と健康管理-感染症概論 代表的な感染症について、病原体と発症メカニズム、臨床症状について解説し、近年の国内動向を紹介する。 【授業方法】 プリントとスライドを用いて講義を進める。</p>	プリントとスライドを用いて講義を進める。	<p>(予習2時間) 自ら罹った感染症名とその病原体名を調べておくこと。 (復習2時間) 配布プリントを読んでおくこと。</p>
7	佐々木	<p>【授業内容】 疾病予防と健康管理-ワクチン ワクチンの歴史、ワクチンの種類、現在の定期接種と任意接種の違いなどを解説する。最新のワクチン研究動向も紹介する。 【授業方法】 プリントとスライドを用いて講義を進める。</p>	プリントとスライドを用いて講義を進める。	<p>(予習2時間) 自分がこれまで接種されたワクチンを調べておくこと。 (復習2時間) 配布プリントを読んでおくこと。</p>
8	佐々木	<p>【授業内容】 疾病予防と健康管理-生活習慣病 糖尿病や高血圧、脂質異常症などの生活習慣を原因とする疾病の発病機序について解説する。 【授業方法】 プリントとスライドを用いて講義を進める。</p>	プリントとスライドを用いて講義を進める。	<p>(予習2時間) 基礎的な栄養素とその役割について調べておくこと。 (復習2時間) 配布プリントを読んでおくこと。</p>
9	佐々木	<p>【授業内容】 職業と健康 じん肺やいわゆる「職業癌」などの職業病の発病メカニズムを解説する。 【授業方法】 プリントとスライドを用いて講義を進める。</p>	プリントとスライドを用いて講義を進める。	<p>(予習2時間) 労働災害の具体例について調べておくこと。 (復習2時間) 配布プリントを読んでおくこと。</p>
10	佐々木	<p>【授業内容】 環境と健康-水と健康 河川から取水し水道水になるまでの浄化過程を解説する。あわせて水系感染症についても説明する。 【授業方法】 プリントとスライドを用いて講義を進める。</p>	プリントとスライドを用いて講義を進める。	<p>(予習2時間) 水系によって起こる感染症や水質汚染とその健康被害の具体例について調べておくこと。 (復習2時間) 配布プリントを読んでおくこと。</p>




\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）



科目名	【新カリ】衛生・公衆衛生学総論 [後半]	授業形態	講義		
英語科目名	【新カリ】衛生・公衆衛生学総論 [後半]	対象学年	2年		
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位		
代表教員	佐々木 啓	ナンバリング	PUH2205		
担当教員	佐々木 啓、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	<p>【授業全体の内容】 近年、国内ではがん、生活習慣病や感染症などを原因とする疾患が死亡原因の上位に位置している。衛生・公衆衛生学総論では、これら公衆衛生学上重要な疾病の成り立ちや、その治療や予防について学ぶ。また、衛生学として環境における水質や大気などの汚染と健康被害、さらにはそれらを規制するための環境基準について学ぶ。 この授業では、基礎医学、予防医学ならびに環境科学の広範囲な基礎知識を修得し、環境と健康について理解を深め、疾病を予防したり、健康を維持増進したりするための技術や知識について学ぶ。 【授業の位置づけ（学位授与方針に定められた知識・能力等との関連）】 この科目は、「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養、及びそれらの活用能力」、「健康を創造・支援するために必要な身体的・精神的・社会的健康についての知識と技能」ならびに「健康に関する専門性を活かし、人づくり、社会づくりに貢献できる能力」という学位授与方針の達成に寄与する。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 四大疾病の発症メカニズムと国内動向を説明できる。</li> <li>2. 重要な感染症の病原体について説明できる。</li> <li>3. 主要な生活習慣病発症までの過程を説明できる。</li> <li>4. 重要な環境汚染とその健康被害について説明できる。</li> </ol>				
授業の位置づけ	この科目は、分野科目群・分野共通科目の選択必修科目（スポーツ健康・教育分野は必修）である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は、「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養、及びそれらの活用能力」、「健康を創造・支援するために必要な身体的・精神的・社会的健康についての知識と技能」ならびに「健康に関する専門性を活かし、人づくり、社会づくりに貢献できる能力」という学位授与方針の達成に寄与する。				
履修上の注意、履修要件	<p>【履修要件】 生物系、化学系の基礎科目を受講していることが望ましい。 【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】 課題レポートは翌週の授業で返却し、解説を行う。定期試験後には、要望があれば個別に解説や指導を行う。 【テキスト・参考書等】 1. 鈴木庄亮（監）、小山洋、辻一郎（編）シンプル衛生・公衆衛生学2017（南江堂） 2. 東京大学医学部健康総合科学科（編）社会を変える健康のサイエンス（東京大学出版会） ともに参考書であり、授業中は、適宜参考資料を配付する。</p>				
成績評価の方法					
評価方法	<p>【成績評価の基準】 1. 四大疾病や生活習慣病の発症メカニズムを述べることができる。（定期試験） 2. 感染症について、原因病原体とその病名を理解している。（定期試験、レポート） 3. 主要な公害と健康被害について説明できる。（定期試験） 4. 授業回数の3分の2以上の出席者のみを評価対象として、受講態度によって評価する。（平常点） 【成績評価の方法】 平常点（10%）、課題レポート（20%）ならびに定期試験（70%）を総合して評価する。</p>				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 四大疾病や生活習慣病の発症メカニズムを述べることができる（定期試験）。</li> <li>2. 感染症について、原因病原体とその病名を理解している（定期試験、レポート）。</li> <li>3. 主要な公害と健康被害について説明できる（定期試験）。</li> <li>4. 授業回数の3分の2以上の出席者のみを評価対象として、受講態度によって評価する（平常点）。</li> </ol>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
課題レポートは翌週の授業で返却し、解説を行う。定期試験後には、要望があれば個別に解説や指導を行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 鈴木庄亮（監）、小山洋、辻一郎（編）シンプル衛生・公衆衛生学2017（南江堂）</li> <li>2. 東京大学医学部健康総合科学科（編）社会を変える健康のサイエンス（東京大学出版会）</li> </ol> ともに参考書であり、授業中は、適宜参考資料を配付します。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】 担当：佐々木 啓 E-mail: hirakus@juntendo.ac.jp 【オフィスアワー】 日時：前期の木曜日 14時から15時 場所：1号館 4F 1410室 前日までE-mailで予約すること。</p>				
担当教員の実務経験					

備考	<p>【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】 中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校 保健体育） 施行規則に定める科目区分又は事項等：教科に関する専門的事項 衛生学・公衆衛生学</p> <p>受講人数が300人を超える場合には、授業方法を変更することがあります。 この授業科目は、以下の資格取得の要件となっています。 第一種衛生管理者</p>			
	授業計画			
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	佐々木	<p>【授業内容】 ガイダンス、衛生学、公衆衛生学とは？ 衛生学と公衆衛生学の学際を解説し、衛生学の偉人リスターについて紹介する。 【授業方法】 プリントとスライドを用いて講義を進める。</p>	プリントとスライドを用いて講義を進める。	<p>(予習3時間) 消毒と滅菌の違いについて説明できるように調べておくこと。 (復習1時間) 配布プリントをよく読んでおくこと。</p>
2	佐々木	<p>【授業内容】 衛生学と公衆衛生学の歴史 19世紀に活躍したスノウやゼンメルワイスなどの功績とその後の発展を紹介する。 【授業方法】 プリントとスライドを用いて講義を進める。</p>	プリントとスライドを用いて講義を進める。	<p>(予習2時間) 新興・再興感染症について具体的に調べておくこと。 (復習2時間) 配布プリントをよく読んでおくこと。</p>
3	佐々木	<p>【授業内容】 人口統計と各種統計 死亡率や各種疾病の有病率、罹患率などの保健統計と人口統計について解説する。 【授業方法】 プリントとスライドを用いて講義を進める。</p>	プリントとスライドを用いて講義を進める。	<p>(予習2時間) 保健統計にはどのようなものがあるか各自調べること。 (復習2時間) 講義終了時にレポート課題を出すので取り組むこと。</p>
4	佐々木	<p>【授業内容】 疫学の基礎とその応用 疫学のルーツを説明し、疫学用語について解説する。疫学調査で明らかになったこと、疫学調査の失敗例について紹介し、どのようなバイアスを学生に考えて貰う。 【授業方法】 プリントとスライドを用いて講義を進める。</p>	プリントとスライドを用いて講義を進める。	<p>(予習2時間) 疫学の具体例を調べておくこと。 (復習2時間) 配布プリントを読んでおくこと。</p>
5	佐々木	<p>【授業内容】 疾病予防と健康管理-がん 腫瘍化の機序、喫煙や食生活との関係、治療法について解説する。最新の研究動向についても紹介する。 【授業方法】 プリントとスライドを用いて講義を進める。</p>	プリントとスライドを用いて講義を進める。	<p>(予習2時間) 悪性腫瘍と良性腫瘍の違いを説明できるようにしておくこと。 (復習2時間) 配布プリントを読んでおくこと。</p>
6	佐々木	<p>【授業内容】 疾病予防と健康管理-感染症概論 代表的な感染症について、病原体と発症メカニズム、臨床症状について解説し、近年の国内動向を紹介する。 【授業方法】 プリントとスライドを用いて講義を進める。</p>	プリントとスライドを用いて講義を進める。	<p>(予習2時間) 自ら罹った感染症名とその病原体名を調べておくこと。 (復習2時間) 配布プリントを読んでおくこと。</p>
7	佐々木	<p>【授業内容】 疾病予防と健康管理-ワクチン ワクチンの歴史、ワクチンの種類、現在の定期接種と任意接種の違いなどを解説する。最新のワクチン研究動向も紹介する。 【授業方法】 プリントとスライドを用いて講義を進める。</p>	プリントとスライドを用いて講義を進める。	<p>(予習2時間) 自分がこれまで接種されたワクチンを調べておくこと。 (復習2時間) 配布プリントを読んでおくこと。</p>
8	佐々木	<p>【授業内容】 疾病予防と健康管理-生活習慣病 糖尿病や高血圧、脂質異常症などの生活習慣を原因とする疾病の発病機序について解説する。 【授業方法】 プリントとスライドを用いて講義を進める。</p>	プリントとスライドを用いて講義を進める。	<p>(予習2時間) 基礎的な栄養素とその役割について調べておくこと。 (復習2時間) 配布プリントを読んでおくこと。</p>
9	佐々木	<p>【授業内容】 職業と健康 じん肺やいわゆる「職業癌」などの職業病の発病メカニズムを解説する。 【授業方法】 プリントとスライドを用いて講義を進める。</p>	プリントとスライドを用いて講義を進める。	<p>(予習2時間) 労働災害の具体例について調べておくこと。 (復習2時間) 配布プリントを読んでおくこと。</p>
10	佐々木	<p>【授業内容】 環境と健康-水と健康 河川から取水し水道水になるまでの浄化過程を解説する。あわせて水系感染症についても説明する。 【授業方法】 プリントとスライドを用いて講義を進める。</p>	プリントとスライドを用いて講義を進める。	<p>(予習2時間) 水系によって起こる感染症や水質汚染とその健康被害の具体例について調べておくこと。 (復習2時間) 配布プリントを読んでおくこと。</p>




\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	【新カリ】運動生理学			授業形態	講義
英語科目名	【新カリ】運動生理学			対象学年	2年
開講学期	2022年度後期			単位数	2単位
代表教員	内藤 久士			ナンバリング	PSL2203
担当教員	内藤 久士、吉原 利典、町田 修一、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	運動やトレーニングによって構造や機能に生ずる応答や適応現象とその仕組みについて体系的に講義を行う。前半は、運動における筋・神経系の仕組みと働きについて、後半は、運動における呼吸循環系、内分泌系および血液系の役割と働きについて重点的に扱う。また、運動と環境についても適宜、説明を加える。スポーツ健康科学の幅広い知識と教養を身に付けさせることを目標とする。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 体の構造や機能、特に筋・神経系、呼吸循環系、内分泌系および血液系等の役割と働きの仕組みを理解できる。</li> <li>2. 運動やトレーニングによって生じる筋・神経系、呼吸循環系、内分泌系および血液系等の構造や機能の応答や適応現象を通して、運動を生理学的に理解できる。</li> <li>3. 運動と環境とのかかわりを理解できる。</li> <li>4. これらの運動生理学知識が健康・体力づくりや競技力向上に必要かつ重要であることを理解できる。</li> </ol>				
授業の位置づけ	この科目は、分野科目群・分野共通科目の必修科目である。また、中・高保健体育1種免許取得、JSPQ公認スポーツ指導者養成講習会免除適応コース（AT）、第一種衛生管理者資格取得、健康運動指導士認定試験受験資格取得、JPSUスポーツトレーナー資格取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養、及びそれらの活用能力」を身に付ける。				
履修上の注意、履修要件	講義の単位取得は、教室内での時間の2倍の時間が予習と復習に当てられ、かつ試験に合格することが前提となっている。事前に配付されている資料に基づきキーワードとなる専門用語についての予習、また、毎回の講義内容を次回の授業開始時に小テストとして問うので、必ず復習をしておくこと。				
成績評価の方法					
評価方法	小テスト（30%）、課題レポート2題（10%）、定期試験（60%）を総合して評価する。				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 筋・神経系、呼吸循環系、内分泌系および血液系等の役割と働きに関する専門用語や数値などを用いて、その仕組みを正しく説明できるか。（定期試験、小テスト）</li> <li>2. 運動やトレーニングによって筋・神経系、呼吸循環系、内分泌系および血液系等の構造や機能に生ずる応答や適応現象を説明できるか。また、運動を生理学的に正しく理解しているか。（定期試験、小テスト）</li> <li>3. 運動と環境とのかかわりを正しく説明できるか。（定期試験、小テスト）</li> <li>4. 講義で扱った運動生理学的な知識が健康・体力づくりや競技力向上に必要かつ重要であることを理解しているか。（課題レポート）</li> </ol>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
小テストの解答やレポート課題の模範解答については、講義形式で解説を行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	スポーツ指導者に必要な生理学と運動生理学の知識	村岡編集	市村出版	4902109301	2022年9月に改訂版が出版される予定
参考文献					
参考図書として、運動生理学(石河・杉浦編集・建帛社・1989年)、健康・体力のための運動生理学(石河著・2000年・杏林書院)ほか、適宜指示する。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>担当：内藤久士  <b>【連絡先】</b>  1号館 1階 運動生理学研究室 (1117号室)  E-mail: hnaitou [at] juntendo. ac. jp  ※ [at] を@に変更してください。  <b>【オフィスアワー】</b>  月曜日10時30分から12時30分（事前にメールなどで予約をすることを推奨します）</p> <p>担当：町田修一  <b>【連絡先】</b>  1号館 1階 運動生理学研究室 (1118号室)  E-mail: machidas [at] juntendo. ac. jp  ※ [at] を@に変更してください。  <b>【オフィスアワー】</b>  月曜日10時から12時（事前にメールなどで予約をすることを推奨します）</p>				
担当教員の実務経験					

備考				
<p>【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画等の変更をお願いする可能性がある。</li> <li>・中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目</li> <li>科目：教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校 保健体育）</li> <li>施行規則に定める科目区分又は事項等：教科に関する専門的事項 生理学（運動生理学を含む。）</li> <li>・この授業科目は、以下の資格取得の要件となっています。 JSPQ（日本スポーツ協会）AT（アスレチックトレーナー） 健康・体力づくり財団 健康運動指導士 JPSU（全国体育スポーツ系大学協議会）スポーツトレーナー 第一種衛生管理者</li> </ul>				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	内藤町田	ガイダンス：単位取得上の諸注意、授業展開の概要を述べるとともに、運動生理学に関する知識を深めることがスポーツ科学の学習と実践においてどのような意義を有しているか理解させ、今後の講義に対する動機付けを行う。	スライドと配付資料を用いて講義（ガイダンス）を行う。	（復習：4時間） 配布資料を熟読しておく。履修登録が確実に行われているか再確認しておく。
2	内藤町田	筋運動のエネルギー：筋運動のための無酸素系（ATP-CP系と乳酸系）および有酸素系（酸素系）エネルギー発生機構について説明する。また、それぞれのエネルギー供給系の指標となる酸素負債量（非乳酸酸性負債と乳酸酸性負債）および酸素摂取量について、その定義、運動時最大値、鍛練度による違い、測定方法などをあげ説明する。	スライドと配付資料を用いて講義を行う。	（予習：2時間） 指定された使用テキストの範囲を読んでおき、出てくる専門用語等をよく調べ理解し、説明できるようにしておく。 （復習：2時間） 配付資料に基づいて、左記の授業内容部分に出てくる専門用語等をテキストや参考書でよく調べ理解し、説明できるようにしておく。小テストのための準備をしておく。
3	内藤町田	筋運動のエネルギー：運動のエネルギー源としての糖、脂肪およびタンパク質について説明するし、グリコーゲン（炭水化物）ローディングの運動における意義と方法、および問題点について説明する。また、機械的効率の表し方、および種々の運動の機械的効率について述べる。さらに、骨格筋の基本的構造、筋線維タイプの生理的・代謝的特性とトレーニングの影響、筋線維組成と競技能力、などについて説明し運動と筋線維との 関わりについて理解させる。	スライドと配付資料を用いて講義を行う。	（予習：2時間） 指定された使用テキストの範囲を読んでおき、出てくる専門用語等をよく調べ理解し、説明できるようにしておく。 （復習：2時間） 配付資料に基づいて、左記の授業内容部分に出てくる専門用語等をテキストや参考書でよく調べ理解し、説明できるようにしておく。小テストのための準備をしておく。
4	内藤町田	運動と骨格筋：筋の収縮様式と筋力、筋力の種類、関節角度と筋力、単関節および多関節運動におけるカー速度関係、カー速度関係からみた最大パワー出現条件、筋線維組成とカー速度関係について解説する。さらに、筋の収縮様式と筋力、筋力の種類、関節角度と筋力、単関節および多関節運動におけるカー速度関係、カー速度関係からみた最大パワー出現条件、筋線維組成とカー速度関係について解説する。	スライドと配付資料を用いて講義を行う。	（予習：2時間） 指定された使用テキストの範囲を読んでおき、出てくる専門用語等をよく調べ理解し、説明できるようにしておく。 （復習：2時間） 配付資料に基づいて、左記の授業内容部分に出てくる専門用語等をテキストや参考書でよく調べ理解し、説明できるようにしておく。小テストのための準備をしておく。
5	内藤町田	運動と神経系：運動単位、運動単位と筋力のgrading、サイズの原理、運動の受容器、動作のコントロールに関わりの深い反射について説明する。また、中枢系による動作のコントロールとしての錐体路系、錐体外路系、および小脳系の関与について説明する。また、中枢系による動作のコントロール経路としての錐体路系、錐体外路系、および小脳系の関与について説明する。	スライドと配付資料を用いて講義を行う。	（予習：2時間） 指定された使用テキストの範囲を読んでおき、出てくる専門用語等をよく調べ理解し、説明できるようにしておく。 （復習：2時間） 配付資料に基づいて、左記の授業内容部分に出てくる専門用語等をテキストや参考書でよく調べ理解し、説明できるようにしておく。小テストのための準備をしておく。
6	内藤町田	運動と神経系：α形とγ系による筋収縮コントロールについて説明する。また、未熟練および熟練した随意動作の神経機構について説明し、運動の習熟に関与する神経機構について理解させる。また、神経系の発育と発達を形態および機能的変化から説明する。また、素早い神経系および筋系の反応性の指標としての全身反応時間を説明し、一般人と一流選手との比較を通して、スポーツにおけるその意義を考えさせる。	スライドと配付資料を用いて講義を行う。	（予習：2時間） 指定された使用テキストの範囲を読んでおき、出てくる専門用語等をよく調べ理解し、説明できるようにしておく。 （復習：2時間） 配付資料に基づいて、左記の授業内容部分に出てくる専門用語等をテキストや参考書でよく調べ理解し、説明できるようにしておく。小テストのための準備をしておく。
7	内藤町田	骨格筋のトレーニング：筋力トレーニングの生理学的原則、各種筋力トレーニング方法の生理学的特徴・根拠について理解させる。また、筋力トレーニングの生理学的効果とそのメカニズムおよび筋パワーに対するトレーニング効果の負荷条件による違い、トレーニングによる筋パワー増大の生理学的背景について説明する。また、筋持久力増加のためのトレーニング条件（強度および時間）の生理的基礎およびトレーニングによる筋持久力増加の生理学的背景について述べる。	スライドと配付資料を用いて講義を行う。	（予習：2時間） 指定された使用テキストの範囲を読んでおき、出てくる専門用語等をよく調べ理解し、説明できるようにしておく。 （復習：2時間） 配付資料に基づいて、左記の授業内容部分に出てくる専門用語等をテキストや参考書でよく調べ理解し、説明できるようにしておく。小テストのための準備をしておく。







科目名	【新カリ】生涯スポーツ論 [前半]	授業形態	講義	
英語科目名	【新カリ】生涯スポーツ論 [前半]	対象学年	2年	
開講学期	2022年度後期	単位数	2単位	
代表教員	高橋 季絵	ナンバリング	HSS2206	
担当教員	高橋 季絵、スポーツ健康科学部教員共通			
授業概要				
全体内容	<p>【授業全体の内容】          本科目は、講義の授業形態で行われる。生涯スポーツとは、だれもが生涯の各時期において、それぞれの体力や年齢、目的や興味に応じて、いつでも、どこでも、主体的にスポーツに親しむことであり、生涯スポーツ社会の実現は、我が国を始め多くの国で重要な政策課題となっている。そこで本講義では、生涯スポーツの発展を支えるために、1) するスポーツ、2) みるスポーツ、3) ささえるスポーツ、4) スポーツ施設、5) スポーツイベント、6) スポーツクラブ、7) 財源、8) スポーツ事業、9) ネットワークマネジメントなど、スポーツマネジメント学の視座から分析する。また、諸外国と日本の生涯スポーツ政策を比較し、これからの生涯スポーツ社会のあり方について考えていく。</p> <p>【授業の位置づけ（学位授与方針に定められた知識・能力等との関連）】          この科目は、スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養に基づき、経営学や社会学を応用したスポーツマネジメント学についての知識を身につけ、スポーツを「ヒト・モノ・カネ・情報」という経営資源の側面からマネジメントできる能力の養成を目指す、という学位授与方針の達成に寄与する。</p> <p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生涯スポーツ、するスポーツ、みるスポーツ、ささえるスポーツの概念が理解できる。</li> <li>2. 我が国のスポーツを取り巻く現状を把握・分析し、問題の解決策を案出できる基本的知識を備えている。</li> <li>3. 生涯スポーツの実践に必要な初級レベルの知識を備えている。</li> <li>4. ライフスタイルやライフステージに応じ、継続してスポーツを楽しむことができる総合型地域スポーツクラブやスポーツNPOの役割について説明することができる。</li> <li>5. 諸外国と日本の生涯スポーツ政策を比較し、これからの生涯スポーツ社会のあり方について、自分なりの考えを持ち、その根拠を説明することができる。</li> </ol>			
到達目標				
授業の位置づけ	この科目は、分野科目群・分野共通科目の選択必修科目（マネジメント科学分野は必修）である。また、JSP0公認スポーツ指導者養成講習会免除適応コース（共通科目Ⅲ）（ジュニアスポーツ指導員）の必修科目である。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連				
履修上の注意、履修要件	<p>【履修要件】          1回の授業について、3分の2以上の出席時間がない場合は、その回の授業を欠席扱いとする。また、遅刻及び早退3回で、1回分の欠席としてカウントする。講義ノートを3回忘れた場合は、1回分の欠席として扱う。</p> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】          授業毎のレポート課題については、翌週の授業の中で評価のポイントを提示し、解説する。定期試験に関しては、J-Passを使って解説する。</p> <p>【テキスト・参考書等】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生涯スポーツ論テキスト2020（生涯スポーツゼミナール編）</li> <li>2. 笹川スポーツ財団「スポーツ白書2014～スポーツの使命と可能性」、笹川スポーツ財団、2014.</li> <li>3. 川西正志・野川春夫編著「改訂3版生涯スポーツ実践論」、市村出版、2012.</li> <li>4. 黒須 充編著「総合型地域スポーツクラブの時代 全3巻」、創文企画、2007年～2009年.</li> <li>5. クリストフ・ブローイヤー編著、黒須 充監訳「ドイツに学ぶ スポーツクラブの発展と社会公益性」、創文企画、2010年.</li> <li>6. 黒須 充・水上博司編著「スポーツ・コモンズ～総合型地域スポーツクラブの近未来像～」、創文企画、2014年.</li> <li>7. クリストフ・ブローイヤー・黒須 充編著「ドイツに学ぶ 地方自治体のスポーツ政策とクラブ」、創文企画、2014年.</li> </ol> <p>1は教科書として使用するので必ず用意すること。2から7は参考書であり、レポート作成の際に参考となる。</p>			
成績評価の方法				
評価方法	<p>【成績評価の基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生涯スポーツ、するスポーツ、みるスポーツ、ささえるスポーツの概念を述べることができる（レポート）</li> <li>2. 我が国のスポーツを取り巻く現状を把握・分析し、問題の解決策を案出できる基本的知識を備えている（レポート）</li> <li>3. ライフスタイルやライフステージに応じ、継続してスポーツを楽しむことができる総合型地域スポーツクラブやスポーツNPOの役割について説明することができる（定期試験）</li> <li>4. 諸外国と日本の生涯スポーツ政策を比較し、これからの生涯スポーツ社会のあり方について、自分なりの考えを持ち、その根拠を論理的に説明することができる（定期試験）</li> <li>5. 生涯スポーツの実践に必要な初級レベルの知識を備えている（ディスカッション）</li> <li>6. 授業中の発言やグループワークの取り組み状況によって受講態度を評価する（平常点）</li> </ol> <p>【成績評価の方法】          課題レポート2回（30%）、平常点（10%）、事前・事後学習（10%）、定期試験（50%）を総合的に評価する。</p>			
評価基準				
試験・課題に対するフィードバック方法				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献				
その他				

連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】          担当：黒須 充          E-mail：mkurosu@juntendo.ac.jp          【オフィスアワー】          日時：前期期間中の火曜日12:10～12:50、水曜日13:00～16:00、木曜日12:10～12:50          場所：1号館3階1323室（生涯スポーツゼミナール）          この時間以外の入室は事前にE-mailで予約ください。質問や相談は予約のあった学生を優先します。</p>			
担当教員の実務経験				
備考	<p>【学修時間】          この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業時間30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。          【その他】          中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための選択科目          科目：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（中学校及び高等学校 保健体育）          施行規則に定める科目区分又は事項等：体育          この授業科目は、以下の資格取得の要件となっています。          JSPQ（日本スポーツ協会）公認スポーツ指導者資格 共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ          JSPQ（日本スポーツ協会）ジュニアスポーツ指導員</p>			
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	黒須	<p>【授業内容】          &lt;生涯スポーツの歴史&gt;          生涯スポーツ社会を実現するためにはどうすればいいかについて、歴史や定義、研究動向等を取り上げる。          【授業方法】          1. 講義ノートと事前にJ-Passにアップしたプレゼン資料を使って講義を進める。          2. ライフサイクルとスポーツをテーマにグループディスカッションを行い、班毎に発表する。</p>		<p>(予習：3時間)          生涯スポーツの定義について事前に調べ、理解を深める。          (復習：1時間)          講義で取り上げた箇所についてテキストやノート、参考文献等を読み、事後理解を深めるとともに、課題レポートを課し、提出させる。</p>
2	黒須	<p>【授業内容】          &lt;するスポーツのマネジメント&gt;          地域スポーツ組織がそれぞれの「ミッション」と「ビジョン」を掲げ、その目的を果たすためには、ヒト（人的資源）、モノ（物的資源）、カネ（財政的資源）、情報（情報的資源）という4つの経営資源の効果的な調達、配分、そして管理が必要である。本講義では、このような地域スポーツ組織のマネジメントの仕組みについて、具体的な実践事例を取り上げ、考察する。【授業方法】          1. 講義ノートと事前にJ-Passにアップしたプレゼン資料を使って講義を進める。          2. するスポーツの環境をテーマにグループディスカッションを行い、班毎に発表する。</p>		<p>(予習：2時間)          国民のスポーツ実施率や実施状況について事前に調べ、理解を深める。          (復習：2.5時間)          講義で取り上げた箇所についてテキストやノート、参考文献等を読み、事後理解を深めるとともに、課題レポートを課し、提出させる。</p>
3	黒須	<p>【授業内容】          &lt;みるスポーツのマネジメント&gt;          プロ野球、Jリーグ、大相撲、ゴルフなどのプロスポーツはもちろんのこと、オリンピックやワールドカップなど「みる（観る・見る）スポーツ」は、「するスポーツ」とともに、一つのライフスタイルとして定着しつつある。スポーツ観戦の現状、スポーツ観戦の動機、メディアスポーツの功罪等を取り上げる。          【授業方法】          1. 講義ノートと事前にJ-Passにアップしたプレゼン資料を使って講義を進める。          2. メディアとスポーツの功罪をテーマにグループディスカッションを行い、班毎に発表する。</p>		<p>(予習：2時間)          プロスポーツが地域にもたらす効果について事前に調べ、理解を深める。          (復習：2.5時間)          講義で取り上げた箇所についてテキストやノート、参考文献等を読み、事後理解を深めるとともに、課題レポートを課し、提出させる。</p>
4	黒須	<p>【授業内容】          &lt;ささえるスポーツのマネジメント&gt;          スポーツ指導者の資格制度、スポーツ指導者に求められるマネジメント、スポーツボランティアの歴史や定義、スポーツボランティアの現状や育成・活用システム等を取り上げる。また、スポーツ組織の持続可能性、「目的」のマネジメント、「補完」のマネジメントなどを取り上げ、スポーツ組織のマネジメントについて考える。          【授業方法】          1. 講義ノートと事前にJ-Passにアップしたプレゼン資料を使って講義を進める。          2. スポーツボランティアをテーマにグループディスカッションを行い、班毎に発表する。</p>		<p>(予習：2時間)          スポーツ指導者の資格制度やスポーツボランティアについて事前に調べ、理解を深める。          (復習：2.5時間)          講義で取り上げた箇所についてテキストやノート、参考文献等を読み、事後理解を深めるとともに、課題レポートを課し、提出させる。</p>
5	黒須	<p>【授業内容】          &lt;スポーツ施設のマネジメント&gt;          我が国のスポーツ施設の現状や指定管理者制度、スポーツ用品の市場動向、多様化・細分化・個別化・リバイバル需要等を取り上げ、スポーツ施設のマネジメントについて考える。          【授業方法】          1. 講義ノートと事前にJ-Passにアップしたプレゼン資料を使って講義を進める。          2. スポーツ施設の有効活用策をテーマにグループディスカッションを行い、班毎に発表する。</p>		<p>(予習：2時間)          指定管理者制度とスポーツ施設について事前に調べ、理解を深める。          (復習：2.5時間)          講義で取り上げた箇所についてテキストやノート、参考文献等を読み、事後理解を深めるとともに、課題レポートを課し、提出させる。</p>

6	黒須	<p>【授業内容】          &lt;スポーツイベントのマネジメント&gt;          国内外の注目すべきイベントを取り上げ、スポーツイベントの分類、イベントの準備から評価までの流れ、イベントの魅力を引き出す方法、企画書の作成、広報・宣伝媒体の選定、イベントの効果、リスクマネジメントを取り上げ、今後のスポーツイベントのあり方を探る。</p> <p>【授業方法】          1. 講義ノートと事前にJ-Passにアップしたプレゼン資料を使って講義を進める。          2. 手にとってもらえるチラシづくりをテーマにグループディスカッションを行い、班毎に発表する。</p>		<p>(予習：2時間)          生涯スポーツイベントの開催による地域活性化について事前に具体的な事例を調べ、理解を深める。          (復習：2.5時間)          講義で取り上げた箇所についてテキストやノート、参考文献等を読み、事後理解を深めるとともに、課題レポートを課し、提出させる。</p>
7	黒須	<p>【授業内容】          &lt;スポーツクラブのマネジメント&gt;          スポーツ組織の特性、NPO法人格取得とその必要性、マネジャーとマネージャー、スポーツ組織マネジャーのコンピテンシー、簡易型フィットネスクラブ等を取り上げ、スポーツクラブのマネジメントについて考える。スポーツNPOの役割と組織マネジメントについても触れる。</p> <p>【授業方法】          1. 講義ノートと事前にJ-Passにアップしたプレゼン資料を使って講義を進める。          2. NPO法人格取得をテーマにグループディスカッションを行い、班毎に発表する。</p>		<p>(予習：2時間)          スポーツ組織とNPO法人格について事前に調べ、理解を深める。          (復習：2.5時間)          講義で取り上げた箇所についてテキストやノート、参考文献等を読み、事後理解を深めるとともに、課題レポートを課し、提出させる。</p>
8	黒須	<p>【授業内容】          &lt;ファイナンスマネジメント&gt;          組織を維持あるいは拡大し、スポーツ事業を充実させるための多様な財源の確保(会費収入、事業収入、スポンサーシップ、助成金・補助金の獲得等)について、具体的な実践事例を取り上げ、考察する。</p> <p>【授業方法】          1. 講義ノートと事前にJ-Passにアップしたプレゼン資料を使って講義を進める。          2. 多様な財源確保をテーマにグループディスカッションを行い、班毎に発表する。</p>		<p>(予習：2時間)          スポンサーシップについて事前に調べ、理解を深める。          (復習：2.5時間)          講義で取り上げた箇所についてテキストやノート、参考文献等を読み、事後理解を深めるとともに、課題レポートを課し、提出させる。</p>
9	黒須	<p>【授業内容】          &lt;スポーツ事業のプロモーション&gt;          参加者や会員のニーズに応じて、満足させて、継続させる、あるいは新たな参加者や会員を獲得する、つまり参加者や会員の多様なニーズに対して新しい価値を創造することが必要である。本講義では、スポーツ事業のプロモーションについて、具体的な実践事例を取り上げ、考察する。</p> <p>【授業方法】          1. 講義ノートと事前にJ-Passにアップしたプレゼン資料を使って講義を進める。          2. インクルージョンをテーマにグループディスカッションを行い、班毎に発表する。</p>		<p>(予習：2時間)          マーケティング志向、マーケティング・ミックスマックス、スポーツ事業のプロモーションなどについて事前に調べ、理解を深める。(復習：2.5時間)          講義で取り上げた箇所についてテキストやノート、参考文献等を読み、事後理解を深めるとともに、課題レポートを課し、提出させる。</p>
10	黒須	<p>【授業内容】          &lt;ネットワークマネジメント&gt;          総合型クラブが定着・発展するためには、学校部活動との連携や既存のスポーツ少年団や地域スポーツクラブをはじめ、地域における各種機関・団体との相互扶助の関係を築くことによって、地域社会からの信頼性を確保し、地域に深く根差した必要不可欠な団体となっていく必要がある。本講義では、総合型クラブが、こうした垣根を超えたネットワークの要の役割を果たすことにより、スポーツ振興のみならず、様々な社会問題の解決に寄与する可能性を有していることについて、具体的な実践事例を取り上げ、考察する。</p> <p>【授業方法】          1. 講義ノートと事前にJ-Passにアップしたプレゼン資料を使って講義を進める。          2. 総合型クラブのネットワークをテーマにグループディスカッションを行い、班毎に発表する。</p>		<p>(予習：3時間)          「クラブ内ネットワーク」「地域内ネットワーク」「クラブ間ネットワーク」について事前に調べ、理解を深める。          (復習：1時間)          講義で取り上げた箇所についてテキストやノート、参考文献等を読み、事後理解を深めるとともに、課題レポートを課し、提出させる。</p>
11	黒須	<p>【授業内容】          &lt;健康日本21とヘルシーピープル2020&gt;          運動やスポーツが健康の維持・増進に及ぼす影響や効用について、健康日本21(第二次)やヘルシーピープル2020などの具体的な事例を紹介し、その概要や政策形成のために必要な能力とは何かについて考える。</p> <p>【授業方法】          1. 講義ノートと事前にJ-Passにアップしたプレゼン資料を使って講義を進める。          2. 健康日本21(第二次)の政策評価をテーマにグループディスカッションを行い、班毎に発表する。</p>		<p>(予習：3時間)          健康づくり事業の計画と評価について事前に調べ、理解を深める。          (復習：1時間)          講義で取り上げた箇所についてテキストやノート、参考文献等を読み、事後理解を深めるとともに、課題レポートを課し、提出させる。</p>




\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	【新カリ】生涯スポーツ論 [後半]	授業形態	講義		
英語科目名	【新カリ】生涯スポーツ論 [後半]	対象学年	2年		
開講学期	2022年度後期	単位数	2単位		
代表教員	高橋 季絵	ナンバリング	HSS2206		
担当教員	高橋 季絵、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	<p>【授業全体の内容】          本科目は、講義の授業形態で行われる。生涯スポーツとは、だれもが生涯の各時期において、それぞれの体力や年齢、目的や興味に応じて、いつでも、どこでも、主体的にスポーツに親しむことであり、生涯スポーツ社会の実現は、我が国を始め多くの国で重要な政策課題となっている。そこで本講義では、生涯スポーツの発展を支えるために、1) するスポーツ、2) みるスポーツ、3) ささえるスポーツ、4) スポーツ施設、5) スポーツイベント、6) スポーツクラブ、7) 財源、8) スポーツ事業、9) ネットワークマネジメントなど、スポーツマネジメント学の視座から分析する。また、諸外国と日本の生涯スポーツ政策を比較し、これからの生涯スポーツ社会のあり方について考えていく。</p> <p>【授業の位置づけ（学位授与方針に定められた知識・能力等との関連）】          この科目は、スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養に基づき、経営学や社会学を応用したスポーツマネジメント学についての知識を身につけ、スポーツを「ヒト・モノ・カネ・情報」という経営資源の側面からマネジメントできる能力の養成を目指す、という学位授与方針の達成に寄与する。</p> <p>【授業の到達目標】          1. 生涯スポーツ、するスポーツ、みるスポーツ、ささえるスポーツの概念が理解できる。          2. 我が国のスポーツを取り巻く現状を把握・分析し、問題の解決策を案出できる基本的知識を備えている。          3. 生涯スポーツの実践に必要な初級レベルの知識を備えている。          4. ライフスタイルやライフステージに応じ、継続してスポーツを楽しむことができる総合型地域スポーツクラブやスポーツNPOの役割について説明することができる。          5. 諸外国と日本の生涯スポーツ政策を比較し、これからの生涯スポーツ社会のあり方について、自分なりの考えを持ち、その根拠を説明することができる。</p>				
到達目標					
授業の位置づけ	この科目は、分野科目群・分野共通科目の選択必修科目（マネジメント科学分野は必修）である。また、JSP0公認スポーツ指導者養成講習会免除適応コース（共通科目Ⅲ）（ジュニアスポーツ指導員）の必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連					
履修上の注意、履修要件	<p>【履修要件】          1回の授業について、3分の2以上の出席時間がない場合は、その回の授業を欠席扱いとする。また、遅刻及び早退3回で、1回分の欠席としてカウントする。講義ノートを3回忘れた場合は、1回分の欠席として扱う。</p> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】          授業毎のレポート課題については、翌週の授業の中で評価のポイントを提示し、解説する。定期試験に関しては、J-Passを使って解説する。</p> <p>【テキスト・参考書等】          1. 生涯スポーツ論テキスト2020（生涯スポーツゼミナール編）          2. 笹川スポーツ財団「スポーツ白書2014～スポーツの使命と可能性」、笹川スポーツ財団、2014。          3. 川西正志・野川春夫編著「改訂3版生涯スポーツ実践論」、市村出版、2012。          4. 黒須 充編著「総合型地域スポーツクラブの時代 全3巻」、創文企画、2007年～2009年。          5. クリストフ・ブロイアー編著、黒須 充監訳「ドイツに学ぶ スポーツクラブの発展と社会公益性」、創文企画、2010年。          6. 黒須 充・水上博司編著「スポーツ・コモンズ～総合型地域スポーツクラブの近未来像～」、創文企画、2014年。          7. クリストフ・ブロイアー・黒須 充編著「ドイツに学ぶ 地方自治体のスポーツ政策とクラブ」、創文企画、2014年。          1は教科書として使用するので必ず用意すること。2から7は参考書であり、レポート作成の際に参考となる。</p>				
成績評価の方法					
評価方法	<p>【成績評価の基準】          1. 生涯スポーツ、するスポーツ、みるスポーツ、ささえるスポーツの概念を述べることができる（レポート）          2. 我が国のスポーツを取り巻く現状を把握・分析し、問題の解決策を案出できる基本的知識を備えている（レポート）          3. ライフスタイルやライフステージに応じ、継続してスポーツを楽しむことができる総合型地域スポーツクラブやスポーツNPOの役割について説明することができる（定期試験）          4. 諸外国と日本の生涯スポーツ政策を比較し、これからの生涯スポーツ社会のあり方について、自分なりの考えを持ち、その根拠を論理的に説明することができる（定期試験）          5. 生涯スポーツの実践に必要な初級レベルの知識を備えている（ディスカッション）          6. 授業中の発言やグループワークの取り組み状況によって受講態度を評価する（平常点）</p> <p>【成績評価の方法】          課題レポート2回（30%）、平常点（10%）、事前・事後学習（10%）、定期試験（50%）を総合的に評価する。</p>				
評価基準					
試験・課題に対するフィードバック方法					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
その他					

連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】          担当：黒須 充          E-mail：mkurosu@juntendo.ac.jp          【オフィスアワー】          日時：前期期間中の火曜日12:10～12:50、水曜日13:00～16:00、木曜日12:10～12:50          場所：1号館3階1323室（生涯スポーツゼミナール）          この時間以外の入室は事前にE-mailで予約ください。質問や相談は予約のあった学生を優先します。</p>			
担当教員の実務経験				
備考	<p>【学修時間】          この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業時間30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。          【その他】          中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための選択科目          科目：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（中学校及び高等学校 保健体育）          施行規則に定める科目区分又は事項等：体育          この授業科目は、以下の資格取得の要件となっています。          JSPO（日本スポーツ協会）公認スポーツ指導者資格 共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ          JSP0（日本スポーツ協会）ジュニアスポーツ指導員</p>			
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	黒須	<p>【授業内容】          &lt;生涯スポーツの歴史&gt;          生涯スポーツ社会を実現するためにはどうすればいいかについて、歴史や定義、研究動向等を取り上げる。          【授業方法】          1. 講義ノートと事前にJ-Passにアップしたプレゼン資料を使って講義を進める。          2. ライフサイクルとスポーツをテーマにグループディスカッションを行い、班毎に発表する。</p>		<p>（予習：3時間）          生涯スポーツの定義について事前に調べ、理解を深める。          （復習：1時間）          講義で取り上げた箇所についてテキストやノート、参考文献等を読み、事後理解を深めるとともに、課題レポートを課し、提出させる。</p>
2	黒須	<p>【授業内容】          &lt;するスポーツのマネジメント&gt;          地域スポーツ組織がそれぞれの「ミッション」と「ビジョン」を掲げ、その目的を果たすためには、ヒト（人的資源）、モノ（物的資源）、カネ（財政的資源）、情報（情報的資源）という4つの経営資源の効果的な調達、配分、そして管理が必要である。本講義では、このような地域スポーツ組織のマネジメントの仕組みについて、具体的な実践事例を取り上げ、考察する。【授業方法】          1. 講義ノートと事前にJ-Passにアップしたプレゼン資料を使って講義を進める。          2. するスポーツの環境をテーマにグループディスカッションを行い、班毎に発表する。</p>		<p>（予習：2時間）          国民のスポーツ実施率や実施状況について事前に調べ、理解を深める。          （復習：2.5時間）          講義で取り上げた箇所についてテキストやノート、参考文献等を読み、事後理解を深めるとともに、課題レポートを課し、提出させる。</p>
3	黒須	<p>【授業内容】          &lt;みるスポーツのマネジメント&gt;          プロ野球、Jリーグ、大相撲、ゴルフなどのプロスポーツはもちろんのこと、オリンピックやワールドカップなど「みる（観る・見る）スポーツ」は、「するスポーツ」とともに、一つのライフスタイルとして定着しつつある。スポーツ観戦の現状、スポーツ観戦の動機、メディアスポーツの功罪等を取り上げる。          【授業方法】          1. 講義ノートと事前にJ-Passにアップしたプレゼン資料を使って講義を進める。          2. メディアとスポーツの功罪をテーマにグループディスカッションを行い、班毎に発表する。</p>		<p>（予習：2時間）          プロスポーツが地域にもたらす効果について事前に調べ、理解を深める。          （復習：2.5時間）          講義で取り上げた箇所についてテキストやノート、参考文献等を読み、事後理解を深めるとともに、課題レポートを課し、提出させる。</p>
4	黒須	<p>【授業内容】          &lt;ささえるスポーツのマネジメント&gt;          スポーツ指導者の資格制度、スポーツ指導者に求められるマネジメント、スポーツボランティアの歴史や定義、スポーツボランティアの現状や育成・活用システム等を取り上げる。また、スポーツ組織の持続可能性、「目的」のマネジメント、「補完」のマネジメントなどを取り上げ、スポーツ組織のマネジメントについて考える。          【授業方法】          1. 講義ノートと事前にJ-Passにアップしたプレゼン資料を使って講義を進める。          2. スポーツボランティアをテーマにグループディスカッションを行い、班毎に発表する。</p>		<p>（予習：2時間）          スポーツ指導者の資格制度やスポーツボランティアについて事前に調べ、理解を深める。          （復習：2.5時間）          講義で取り上げた箇所についてテキストやノート、参考文献等を読み、事後理解を深めるとともに、課題レポートを課し、提出させる。</p>
5	黒須	<p>【授業内容】          &lt;スポーツ施設のマネジメント&gt;          我が国のスポーツ施設の現状や指定管理者制度、スポーツ用品の市場動向、多様化・細分化・個別化・リバイバル需要等を取り上げ、スポーツ施設のマネジメントについて考える。          【授業方法】          1. 講義ノートと事前にJ-Passにアップしたプレゼン資料を使って講義を進める。          2. スポーツ施設の有効活用策をテーマにグループディスカッションを行い、班毎に発表する。</p>		<p>（予習：2時間）          指定管理者制度とスポーツ施設について事前に調べ、理解を深める。          （復習：2.5時間）          講義で取り上げた箇所についてテキストやノート、参考文献等を読み、事後理解を深めるとともに、課題レポートを課し、提出させる。</p>

6	黒須	<p>【授業内容】          &lt;スポーツイベントのマネジメント&gt;          国内外の注目すべきイベントを取り上げ、スポーツイベントの分類、イベントの準備から評価までの流れ、イベントの魅力を引き出す方法、企画書の作成、広報・宣伝媒体の選定、イベントの効果、リスクマネジメントを取り上げ、今後のスポーツイベントのあり方を探る。</p> <p>【授業方法】          1. 講義ノートと事前にJ-Passにアップしたプレゼン資料を使って講義を進める。          2. 手にとってもらえるチラシづくりをテーマにグループディスカッションを行い、班毎に発表する。</p>		<p>(予習：2時間)          生涯スポーツイベントの開催による地域活性化について事前に具体的な事例を調べ、理解を深める。          (復習：2.5時間)          講義で取り上げた箇所についてテキストやノート、参考文献等を読み、事後理解を深めるとともに、課題レポートを課し、提出させる。</p>
7	黒須	<p>【授業内容】          &lt;スポーツクラブのマネジメント&gt;          スポーツ組織の特性、NPO法人格取得とその必要性、マネジャーとマネージャー、スポーツ組織マネジャーのコンピテンシー、簡易型フィットネスクラブ等を取り上げ、スポーツクラブのマネジメントについて考える。スポーツNPOの役割と組織マネジメントについても触れる。</p> <p>【授業方法】          1. 講義ノートと事前にJ-Passにアップしたプレゼン資料を使って講義を進める。          2. NPO法人格取得をテーマにグループディスカッションを行い、班毎に発表する。</p>		<p>(予習：2時間)          スポーツ組織とNPO法人格について事前に調べ、理解を深める。          (復習：2.5時間)          講義で取り上げた箇所についてテキストやノート、参考文献等を読み、事後理解を深めるとともに、課題レポートを課し、提出させる。</p>
8	黒須	<p>【授業内容】          &lt;ファイナンスマネジメント&gt;          組織を維持あるいは拡大し、スポーツ事業を充実させるための多様な財源の確保(会費収入、事業収入、スポンサーシップ、助成金・補助金の獲得等)について、具体的な実践事例を取り上げ、考察する。</p> <p>【授業方法】          1. 講義ノートと事前にJ-Passにアップしたプレゼン資料を使って講義を進める。          2. 多様な財源確保をテーマにグループディスカッションを行い、班毎に発表する。</p>		<p>(予習：2時間)          スポンサーシップについて事前に調べ、理解を深める。          (復習：2.5時間)          講義で取り上げた箇所についてテキストやノート、参考文献等を読み、事後理解を深めるとともに、課題レポートを課し、提出させる。</p>
9	黒須	<p>【授業内容】          &lt;スポーツ事業のプロモーション&gt;          参加者や会員のニーズに応じて、満足させて、継続させる、あるいは新たな参加者や会員を獲得する、つまり参加者や会員の多様なニーズに対して新しい価値を創造することが必要である。本講義では、スポーツ事業のプロモーションについて、具体的な実践事例を取り上げ、考察する。</p> <p>【授業方法】          1. 講義ノートと事前にJ-Passにアップしたプレゼン資料を使って講義を進める。          2. インクルージョンをテーマにグループディスカッションを行い、班毎に発表する。</p>		<p>(予習：2時間)          マーケティング志向、マーケティング・ミックス、スポーツ事業のプロモーションなどについて事前に調べ、理解を深める。(復習：2.5時間)          講義で取り上げた箇所についてテキストやノート、参考文献等を読み、事後理解を深めるとともに、課題レポートを課し、提出させる。</p>
10	黒須	<p>【授業内容】          &lt;ネットワークマネジメント&gt;          総合型クラブが定着・発展するためには、学校部活動との連携や既存のスポーツ少年団や地域スポーツクラブをはじめ、地域における各種機関・団体との相互扶助の関係を築くことによって、地域社会からの信頼性を確保し、地域に深く根差した必要不可欠な団体となっていく必要がある。本講義では、総合型クラブが、こうした垣根を超えたネットワークの要の役割を果たすことにより、スポーツ振興のみならず、様々な社会問題の解決に寄与する可能性を有していることについて、具体的な実践事例を取り上げ、考察する。</p> <p>【授業方法】          1. 講義ノートと事前にJ-Passにアップしたプレゼン資料を使って講義を進める。          2. 総合型クラブのネットワークをテーマにグループディスカッションを行い、班毎に発表する。</p>		<p>(予習：3時間)          「クラブ内ネットワーク」「地域内ネットワーク」「クラブ間ネットワーク」について事前に調べ、理解を深める。          (復習：1時間)          講義で取り上げた箇所についてテキストやノート、参考文献等を読み、事後理解を深めるとともに、課題レポートを課し、提出させる。</p>
11	黒須	<p>【授業内容】          &lt;健康日本21とヘルシーピープル2020&gt;          運動やスポーツが健康の維持・増進に及ぼす影響や効用について、健康日本21(第二次)やヘルシーピープル2020などの具体的な事例を紹介し、その概要や政策形成のために必要な能力とは何かについて考える。</p> <p>【授業方法】          1. 講義ノートと事前にJ-Passにアップしたプレゼン資料を使って講義を進める。          2. 健康日本21(第二次)の政策評価をテーマにグループディスカッションを行い、班毎に発表する。</p>		<p>(予習：3時間)          健康づくり事業の計画と評価について事前に調べ、理解を深める。          (復習：1時間)          講義で取り上げた箇所についてテキストやノート、参考文献等を読み、事後理解を深めるとともに、課題レポートを課し、提出させる。</p>






\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	【新カリ】スポーツ医学総論	授業形態	講義		
英語科目名	【新カリ】スポーツ医学総論	対象学年	2年		
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位		
代表教員	深尾 宏祐	ナンバリング	SPM2208		
担当教員	深尾 宏祐、高澤 祐治、塩田 有規、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	<p>【授業全体の内容】</p> <p>本科目は、講義の授業形態で行われる。競技スポーツから生涯スポーツまで、スポーツに関連する医学全般について学修する。貧血や熱中症、オーバートレーニング症候群といったような内科的分野から外傷や障害等の運動器系・整形外科分野、そして突然死予防や安全管理まで幅広い領域の知識を理解する。アスレティックトレーナーや健康運動指導士のみならず、その他の指導者や選手本人においても必要とされるスポーツ医学に関する知識について学修する。 (オムニバス方式/全14回)</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. アスリートのために必要なスポーツ医学的知識を得ることができる。</li> <li>2. スポーツ指導者や保健体育教員に必要なスポーツ医学的知識を身につけ、指導できる。</li> <li>3. 四肢運動器官の機能解剖を再理解する。</li> <li>4. スポーツにおけるケガや病気の原因、発症メカニズム、症状、その後の治療やリハビリテーションについて理解し、説明できる。</li> <li>5. スポーツによる突然死をゼロに近付けるために必要なことを理解できる。</li> <li>6. 幼児から中・高齢者までを視野に入れた知識を学習し、安全にスポーツを行うために重要なことを立案できる。</li> </ol>				
授業の位置づけ	この科目は、分野科目群・スポーツ科学分野科目の必修科目である。また、JSP0公認スポーツ指導者養成講習会免除適応コース(AT)、JSP0/JAF(日本エアロビック連盟)公認エアロビックコーチ1養成講習会免除適応コース、健康運動指導士認定試験受験資格取得、JPSUスポーツトレーナー資格取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシーとの関連	この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「社会や環境の変化に対応し、自ら課題を見つけ、スポーツ健康科学分野における専門的な知識又は技能をもとに課題を解決できる能力」を身に付ける。				
履修上の注意、履修要件	<p>【履修要件】</p> <p>スポーツに関する医学知識を得ることができる講義であるため医学用語が多く理解することが大変なところもあるが、集中して講義に臨むこと。 講義で使用するスライドのPDFファイルをJUNTEDO-PASSPORTにアップするので、その回のプリントを各自ダウンロード、プリントアウトして講義に臨むことが望ましい。</p>				
成績評価の方法					
評価方法	定期試験：80%、出席またはレポート(やむを得ず、欠席した場合)：10%、受講態度：10% を総合して評価する。ただしそれぞれの配分割合は変動あり。				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 幅広い医学知識の中でも特にスポーツに関連する疾患や症候について説明することができる(定期試験)。</li> <li>2. 健康維持・増進・コンディショニングのために必要な知識を理解している(定期試験)。</li> <li>3. メディカルチェックシステムを理解し、スポーツによる突然死を予防するために必要なことを説明できる(定期試験)。</li> <li>4. 真摯な態度で積極的に講義に参加しているか、または内容の充実したレポートを作成できるか(出席、レポート)。</li> </ol>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
毎回講義の最後にポストテストを行い理解度を確認する。ポストテストの解説は次回の講義冒頭に行う。レポートは適宜、個別に評価し速やかに返却する。試験は問題用紙全回収だが、疑問点に関しては、試験終了後、適宜質問を受け付ける。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
<p>【テキスト・参考書等】</p> <p>使用スライドのPDFファイルを各自ダウンロードし、予習復習に活用する。 スポーツ・健康医学／河合祥雄著(放送大学教育振興会) スポーツ医学(内科)(はじめて学ぶ健康・科学シリーズ)／赤間高雄編集(化学同人) スポーツ診療Q&amp;A 櫻庭景植編集 全日本病院出版</p>					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】</p> <p>担当：深尾 宏祐 E-mail：fukao777[at]juntendo.ac.jp 【オフィスアワー】 ※質問や相談はできるだけ、前日までにE-mailで予約すること。 日時：後学期中の月曜日13:00から17:00、木曜日9:00から13:00 場所：スポーツ健康医学研究所4階9405号室 *授業が無い期間はE-mailで予約すること</p>				
担当教員の実務経験	<p>【実務経験のある教員による授業について】</p> <p>整形外科・循環器内科・スポーツ医学を専門とする現役医師が、その経験を踏まえてスポーツ活動中の外傷・障害等について講義する。</p>				

備考	<p>【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>【その他】 競技者や選手としてスポーツに関わってきた経験を活かして、より理解を深めて欲しい。スポーツ医科学コース必修。健康学科選択必修。アスレチックトレーナー、健康運動指導士の取得を検討している学生は履修すること。 この授業科目は、以下の資格取得の要件となっています。 JSPQ（日本スポーツ協会）AT（アスレチックトレーナー） JSPQ（日本スポーツ協会）エアロビクコーチ1 健康・体力づくり財団 健康運動指導士 JPSU（全国体育スポーツ系大学協議会）スポーツトレーナー</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>			
	授業計画			
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	高澤	スポーツ外傷・障害総論 1. オリエンテーション 2. スポーツ外傷・障害	講義形式	(予習: 2h) スポーツ外傷・障害について予習する (復習: 2h) 講義内容を復習する
2	高澤	上肢のスポーツ外傷・障害 1. 上肢の構造と機能 2. トレーニングと効果	講義形式	(予習: 2時間) 上肢の機能解剖を予習しておく。 (復習: 2時間) 上肢のスポーツ外傷・障害について学んだことを整理する。
3	高澤	下肢のスポーツ外傷・障害 1. 下肢の構造と機能 2. トレーニングと効果	講義形式	(予習: 2時間) 上肢の機能解剖を予習しておく。 (復習: 2時間) 下肢のスポーツ外傷・障害について学んだことを整理する。
4	高澤	体幹のスポーツ外傷・障害 1. 体幹の構造と機能 2. トレーニングと効果	講義形式	(予習: 2時間) 体幹の機能解剖を予習しておく。 (復習: 2時間) 体幹のスポーツ外傷・障害について学んだことを整理する。
5	高澤	重篤なスポーツ外傷・障害 1. 頭部外傷、脳震盪 2. 脊髄損傷 3. 救急時の対処法	講義形式	(予習: 3h) 脳振盪、脊髄損傷について予習しておく。 (復習: 2h) 重篤なスポーツ外傷について学んだことを整理する。
6	高澤	年齢・性別による特徴 1. 運動に関連した年齢、性別の問題 2. 女子アスリートの三徴候 3. トレーニング効果の年齢差と性差	講義形式	(予習: 3時間) 女子アスリートの三徴候、骨粗鬆症、疲労骨折、摂食障害について調べて整理しておく。 (復習: 3時間) 女性アスリートの諸問題について学んだことを整理し、理解を深める。
7	高澤	整形外科的メディカルチェック 1. 整形外科的メディカルチェックの現状 2. 年齢、種目、性別による違い	講義形式	(予習: 2時間) 整形外科的メディカルチェックについて調べ、不明な点等を書き出しておく。 (復習: 3時間) 自分の周りの人の関節弛緩性をチェックする。 携帯型脳震盪認識ツールを整理する
8	深尾	肥満、肥満症 1. 肥満とやせ 2. メタボリックシンドローム 3. 肥満に対する運動療法	講義形式	(予習: 2時間) 使用スライドを一読し、肥満症の病態を理解し、肥満の特徴とリスクについて考える。 (復習: 2時間) 重要ポイントに関して教科書を読み、理解を深める。
9	深尾	【授業内容】 耐糖能異常・糖尿病 1. 糖尿病の定義 2. 糖尿病合併症 3. 運動療法を含めた治療	講義形式	(予習: 3時間) 使用スライドを一読し、糖尿病の病態を理解し、合併症について調べまとめる。 (復習: 3時間) 重要ポイントに関して教科書を読み、理解を深める。
10	深尾	呼吸器疾患 1. 呼吸とは 2. 慢性閉塞性肺疾患、運動誘発性喘息 3. 喫煙の影響	講義形式	(予習: 2時間) 使用スライドを一読し、呼吸器疾患の病態を理解し、喫煙のリスクについて考える。 (復習: 2時間) 重要ポイントに関して教科書を読み、理解を深める。




\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	【新カリ】スポーツの測定評価学			授業形態	講義
英語科目名	【新カリ】スポーツの測定評価学			対象学年	2年
開講学期	2022年度前期			単位数	2単位
代表教員	河村 剛光			ナンバリング	TRS2209
担当教員	河村 剛光、鈴木 宏哉、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	本科目は、講義の授業形態で行われる。スポーツに関連する種々の事象を測定によって数量化し、基本的な統計的知識により、正しく客観的に評価を行うために学修する。測定と評価は、スポーツを科学するために非常に重要な手順であり、競技力向上に関する指導やトレーニング、健康のための運動や学校体育の効果を検証するためにも必要不可欠な手続である。また、スポーツにおける測定方法と評価方法に関する基礎的な知識を得ることに加えて、専門的な各種測定方法の目的、特徴、長所・短所について学ぶ。				
到達目標	1. 形態、身体組成、運動パフォーマンスの測定方法について説明できる。 2. 数量化されたデータの集計方法について説明することができる。 3. 既存の測定方法や評価方法の特徴等について説明できる。				
授業の位置づけ	この科目は、分野科目群・スポーツ科学分野科目の必修科目である。また、JSP0公認スポーツ指導者養成講習会免除適応コース（AT）、（ジュニアスポーツ指導員）、健康運動指導士認定試験受験資格取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	スポーツ科学的な指導や研究では、人の様々な運動パフォーマンスを測定して数量化する必要がある。さらには、その結果を評価・判断するために統計的知識も必要になる。この授業では、スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養を習得し、医学的知識を備えたスポーツ指導者の育成をする上で欠かすことができない、形態や機能をはじめとしたスポーツにおける種々のパフォーマンスを数量化するという考え方の習得を目指す。				
履修上の注意、履修要件	【履修要件】 特になし				
成績評価の方法					
評価方法	期末試験の結果55%、授業態度・取り組む姿勢35%、レポート10%から評価する。				
評価基準	・形態、身体組成、運動パフォーマンスの測定方法について説明できる（定期試験） ・数量化されたデータの集計方法について説明することができる（定期試験） ・既存の測定方法や評価方法の特徴等について説明できる（レポート課題）				
試験・課題に対するフィードバック方法					
レポート課題に対しては提出された後の授業の中で解説を行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
授業の際に指示する。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	【連絡先】 担当：河村 ・ 鈴木 E-mail：ykoumura@juntendo.ac.jp ・ ko-suzuki@juntendo.ac.jp 【オフィスアワー】 日時：火曜日 13-15時 場所：スポーツ健康医学研究所3階9303室				
担当教員の実務経験					
備考	【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学修60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。  【その他】 この授業科目は、社会体育指導者に関する科目として位置付けられています。 この授業科目は、以下の資格取得の要件となっています。 JSP0（日本スポーツ協会）AT（アスレチックトレーナー） JSP0（日本スポーツ協会）ジュニアスポーツ指導員 健康・体力づくり財団 健康運動指導士  また、新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。				
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間	
1	河村 鈴木	スポーツにおける測定評価学とは何か、総論を学習する。	測定と評価に関わる分野に触れ、授業目的、展開等を解説する。	（予習：3時間）身近な「測定と評価」について考え、スポーツの測定評価学という分野について調べておく。 （復習：2時間）半期間の流れ・ポイントについて授業資料を利用して整理する。	

2	河村 鈴木	テストの基礎的な理論について学ぶ。	良いテストとはどのようなテストかを考え、テストの妥当性や再現性などの測定に必要となる基本的な理論を説明する。	(予習:3時間) 普段良く実施する測定を振り返り、どのような測定が良い測定であるか調べておく。 (復習:3時間) 良いテストの条件について資料等を利用して整理する。
3	河村 鈴木	体力の分類について学習する。	数量化できる体力など、様々な体力の分類について解説する。対象に応じた体力の定義の違いを説明する。	(予習:3時間) スポーツ・健康における体力の重要性を考え、体力の定義を調べておく。 (復習:2時間) 様々な体力の定義・分類について整理する。
4	河村 鈴木	形態計測と機能測定について学ぶ	身体のサイズの測定方法、体力・運動能力の測定方法を解説する。	(予習:2時間) 体験したことのある形態計測・体力測定を振り返り、正しく測定するために重要なことを調べておく。 (復習:2時間) バッテリーテストについて復習する。新体力テストの測定項目と実施上の注意を整理する。
5	鈴木 河村	子どもの体力にまつわる現状と問題を学ぶ。	国の統計資料を中心に子どもの体力の実態と問題点について解説する。	(予習:2時間) 毎年公表されている文部科学省体力・運動能力調査の報道発表資料を調べておく。 (復習:2時間) 子どもが抱える運動環境の問題について整理する。
6	鈴木 河村	子どもの体力をどのように測定するのか、そして体力測定の限界と意義について学ぶ。	標準化されているテストをいくつか紹介し、体力データを如何に測定し、活用すべきかについて解説する。	(予習:2時間) これまで学校教育の中で体験したことのある体力測定についてまとめておく。 (復習:2時間) 子どもにおける体力測定の意義について整理する。
7	河村 鈴木	スポーツ・健康における身体組成の測定法を学習する。	さまざまな体脂肪量の測定方法について説明する。	(予習:2時間) 肥満とその判定方法について調べておく。 (復習:2時間) 体脂肪の測定方法の長短所について整理する。
8	鈴木 河村	スポーツ・運動にまつわる現象をどのように測定すべきかを学ぶ。	パフォーマンステストから能力を測ることに関する考え方について解説する。	(予習:2時間) これまで体験したことのある運動・スポーツ場面での測定についてまとめておく。 (復習:2時間) 運動・スポーツ現象の測定の在り方について復習する。
9	河村 鈴木	スポーツにおける視覚機能の測定法を学ぶ。	スポーツと眼に関する分野、視力や動体視力、眼の保護について解説する。	(予習:2時間) スポーツにおいて大切な視覚機能の種類について調べておく。 (復習:2時間) 視覚機能の測定評価、矯正、眼の保護について整理する。
10	鈴木 河村	データの集計方法と読み取り方について学ぶ。	スポーツ・健康データの集計や読み取りの実践例を紹介しながら解説する。	(予習:2時間) 新聞等の記事に掲載されているスポーツ・健康データを調べ、スクラップしておく。 (復習:2時間) データ集約の方法のその解釈について復習する。
11	鈴木 河村	評価と統計について学習する。	評価を行うための統計処理、データ処理、基本的な統計値について解説する。	(予習:2時間) データや統計が大切な場面について考えておく。いろいろな代表値の求め方について調べておく。 (復習:2時間) 様々な基本的な統計値について整理する。
12	河村 鈴木	正規分布と標準偏差について学ぶ。	評価に利用できる標準偏差、三・五段階評価、Tスコア等について解説する。実際に計算も行う。	(予習:2時間) 標準偏差とは何か、偏差値とは何かを調べておく。 (復習:2時間) 標準偏差をしっかりと復習し、評価の方法について整理する。
13	河村 鈴木	相関分析と平均値の差の検定について学習する。	ある物事とある物事の関係の強さを数値で示す相関について解説する。2つの群に、あるいはトレーニング前後に差があるかどうか統計学的な判断法を説明する。	(予習:2時間) 何かが増えともう一方も増える例(物事)を考え、相関係数について調べておく。 (復習:2時間) 相関分析の特徴、注意点について整理する。





科目名	【新カリ】スポーツ外傷・障害学	授業形態	講義		
英語科目名	【新カリ】スポーツ外傷・障害学	対象学年	2年		
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位		
代表教員	高澤 祐治	ナンバリング	SPM2210		
担当教員	高澤 祐治、窪田 敦之、塩田 有規、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	本科目は、講義の授業形態で行われる。スポーツ活動を行う上で外傷・障害は、アスリートに限らず誰にでも起こりうる可能性がある。これらをいかに予防するかは、スポーツ活動を充実させるための重要な取り組みであり、競技力向上や健康増進に必要不可欠であり、スポーツ外傷・障害の基礎を学ぶ。特に、外傷・障害の意味、骨格や関節、筋肉、各種スポーツで起こる代表的な外傷・障害を部位別に学ぶ。また、それらに関する救急処置やトレーニング、リハビリテーションについても学ぶ。				
到達目標	1. スポーツ外傷・障害の意味を正しく説明することができる。 2. 身体各部位における代表的なスポーツ外傷・障害について説明することができる。 3. 各種スポーツ外傷・障害後の救急対応処置やリハビリテーション、予防のためのトレーニングを理解する。				
授業の位置づけ	この科目は、分野科目群・スポーツ科学分野科目の必修科目である。また、第一種衛生管理者資格取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学を中心とした教養」を身につけ、また「スポーツや健康の分野で、指導的な役割を果たすために必要な高い倫理観」の養成に寄与する。				
履修上の注意、履修要件	【履修要件】 機能解剖学を受講していることが望ましい。  【履修上の注意（科目独自のルール）】 1回の授業について、3分の2以上の出席時間がない場合には、その回の授業を欠席扱いとする。				
成績評価の方法					
評価方法	定期試験（筆記テスト；60%）、プレゼンテーション（取り組み、内容；20%）、日々の学習状況（授業に取り組む姿勢や質問に対する積極性；20%）を総合して評価する。				
評価基準	1. スポーツ外傷・障害の意味を正しく理解し、身体各部位における代表的なスポーツ外傷・障害について説明することができる（定期試験）。 2. 各種スポーツ外傷・障害後の救急対応処置やリハビリテーション、予防のためのトレーニングを理解する（定期試験）。 3. 予習・復習を含む授業に取り組む姿勢や質問に対する積極性によって受講態度を評価する（平常点）。				
試験・課題に対するフィードバック方法					
授業で課題等が出された場合には、コメントを書き込んで返却するか、授業内で発表させ全員で議論する。 定期試験については、要望があれば個別に解説等を行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
スポーツ診療Q&A 櫻庭景植編集 全日本病院出版 必ず用意するテキストではないが、準備学習や試験勉強等も含めて用意することを強く薦める。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	【連絡先】 担当：高澤 祐治、窪田敦之、塩田有規 E-mail高澤：ytakaza@juntendo.ac.jp 窪田：akubota@juntendo.ac.jp 塩田：sio-g@juntendo.ac.jp 【オフィスアワー】 窪田 日時：前期期間中の木曜日 14時～16時 場所：スポーツ健康医科学研究所4階、スポーツ医学系実験室1 上記の時間帯は予約がなくても対応はするが、予約があった学生を優先する。できるだけ直接もしくはe-mailを利用して予約をとるようにして欲しい。				
担当教員の実務経験	整形外科・スポーツ医学を専門とする現役医師が、その経験を踏まえてスポーツ活動中の外傷・障害等について講義する。				
備考	【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業30時間以上を含む）の学修を必要とする内容をもって構成する。  【その他】 競技者や選手としてスポーツに関わってきた経験を活かして、より理解を深めて欲しい。医学部生を対象とした授業と同等以上のレベルの内容で行うので、積極的に学んで欲しい。 この授業科目は、以下の資格取得の要件となっています。 JSPO（日本スポーツ協会）AT（アスレチックトレーナー） JSPO（日本スポーツ協会）エアロビクコーチ1 健康・体力づくり財団 健康運動指導士 JPSU（全国体育スポーツ系大学協議会）スポーツトレーナー 第一種衛生管理者 また、新型コロナウイルス感染症の発生状況によっては、授業計画や定期試験について変更する可能性がある。				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	高澤祐治	骨・関節や外傷・障害・傷害の意味について理解する。	骨や関節の基礎について解説する。 外傷・障害・傷害の意味について説明する。	(予習: 2時間) 骨や関節について機能解剖学のテキストや授業で配布された資料を使って復習しておく。 (復習: 2時間) 授業で書き留めたことをノートに整理し、自ら調べたことを書き加えることで理解を深める。
2	窪田敦之	骨格筋とその機能について理解を深める。	全身の骨格筋について復習し、その働きを解説する。	(予習: 2時間) 全身の骨格筋について、機能解剖学のテキストや授業で配布された資料を使って復習しておく。 (復習: 2時間) 忘れていた筋肉を中心に再度復習し、理解を深める。
3	窪田敦之	筋力について理解を深める。	筋力の基礎について解説し、各競技との関わりやリハビリテーションの必要性について考えさせる。	(予習: 2時間) 専門としている、もしくは専門としていた競技と筋力の関わりについて考え、まとめておく。 (復習: 2時間) 予習で考えてきたものと、授業で学んだものと相違を整理し、理解を深める。
4	高澤祐治	骨・関節の基礎や全身関節弛緩性、二関節筋について理解する。	骨や関節の基礎について解説する。 全身関節弛緩性について説明し、2人組で全身関節弛緩性テストを行う。 二関節筋について説明し、実際のストレッチングを通して体験させる。	(予習: 2時間) 骨や関節、二関節筋について機能解剖学のテキストや授業で配布された資料を使って復習しておく。 また、関節弛緩性について自ら調べておく。 (復習: 2時間) 実際のストレッチング(静的・動的)について調べ、実際に行うことで二関節筋への理解を深める。 また全身関節弛緩性テストを改めて行い、関節弛緩性への理解を深める。
5	塩田有規	打撲および出血・止血について理解する。	打撲や出血について説明し、実際のスポーツ現場で起こる状況を紹介する。	(予習: 2時間) 各競技のルールブックを参考に、競技中の出血について自ら調べ、質問事項をまとめておく。 (復習: 3時間) テキストの打撲や出血に関連する項目を読み、理解を深める。
6	高澤祐治	捻挫や靭帯損傷について理解する。	各関節の捻挫や靭帯損傷について解説する。 スポーツ競技に影響を及ぼす靭帯について説明する。	(予習: 2時間) スポーツ競技に最も影響を及ぼす靭帯について調べ、質問事項をまとめておく。 (復習: 2時間) テキストの捻挫や靭帯損傷に関連する項目を読み、理解を深める。
7	高澤祐治	複合靭帯損傷について理解する。	複合靭帯損傷について説明し、好発するスポーツや予防法について解説する。	(予習: 3時間) 膝関節の構造について機能解剖学のテキストや授業で配布された資料を使って復習しておく。 (復習: 2時間) 前十字靭帯損傷について、テキストP102~111を読んで理解を深める。
8	高澤祐治	肉ばなれについて理解する。	肉ばなれについて説明し、実際のスポーツ現場で起こる状況やその後の対応について解説する。	(予習: 3時間) 二関節筋や筋収縮について調べ、肉ばなれとの関連についてまとめておく。 (復習: 2時間) テキストの肉ばなれに関連する項目を読み、理解を深める。
9	高澤祐治	疲労骨折と過労性骨障害について理解する。	疲労骨折と過労性骨障害について、相違や注意点について解説する。	(予習: 2時間) 疲労骨折が多い競技や大きな影響を受ける競技について、自身の体験から考え、まとめておく。 (復習: 2時間) テキストの疲労骨折に関連する項目を読み、有用とされている判別方法をまとめ、理解を深める。





科目名	【新カリ】保健体育科教育法Ⅰ〔前半〕	授業形態	講義	
英語科目名	【新カリ】保健体育科教育法Ⅰ〔前半〕	対象学年	2年	
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位	
代表教員	長岡 知	ナンバリング	PHE2213	
担当教員	長岡 知、スポーツ健康科学部教員共通			
授業概要				
全体内容	<p>〔授業全体の内容〕</p> <p>学校現場における保健授業の実践状況は量・質ともに低調である。将来、保健体育教員を目指す上で体育と保健を融合させた授業実践力を身につけることが重要である。この授業科目では、保健授業の意義を理解し、中学校・高等学校における分野・科目「保健」の授業づくり、その実践ができる力量の形成を図ることをねらいとする。学習指導要領に示された目標や学習内容等について解説し、効果的な保健授業の創出に向けた指導計画の作成を通じて、学習内容や多様な学習方法、指導技術について考察する。</p>			
到達目標	<p>〔授業の到達目標〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習指導要領に示されている保健の目標や内容等について説明することができる。</li> <li>2. 指導と評価を踏まえた保健の授業観を深め、基本的な考え方と進め方について理解できる。</li> <li>3. 学習指導要領に基づいた学習指導案を作成できる。</li> <li>4. スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養を活用した具体的な保健教材づくりの演習を通してコミュニケーション力を養い実践的指導力を身につける。</li> </ol>			
授業の位置づけ	この科目は、分野科目群・スポーツ科学分野科目の選択科目である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>〔授業の位置づけ（学位授与方針に定められた知識・能力等との関連）〕</p> <p>本講義では、保健の目標や内容等について理解するとともに、効果的な保健授業を創出するための授業内容や教授行為についての理解を深める。</p> <p>講義を通して保健体育科教員に必要な知識や実践的指導力を身につけることができるよう、本授業では学習指導要領をはじめとするスポーツ健康科学を中心とした幅広い知識や教養を講義にて学び、得られた情報をもとに指導案を作成し実際に授業を展開する時に必要な応用力、表現力を身につけることを目指す。この科目は、「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養、コミュニケーション力、指導的な役割を果たすために必要な高い倫理観」という学位授与方針の達成に寄与する。</p>			
履修上の注意、履修要件	<p>〔履修要件〕</p> <p>保健体育科教育法Ⅰは保健体育科教育法Ⅲ、Ⅳを履修する前に履修すること。Ⅰ、Ⅱを履修せずにⅢ、Ⅳは履修することはできない。将来、教員になるに相応しい態度、姿勢で積極的に授業、予習・復習に取り組むこと。なお、授業計画は、授業の進行状況により変更することがある。将来、教員になるに相応しい態度、姿勢で積極的に授業、予習・復習に取り組むこと。なお、授業計画は、授業の進行状況により変更することがある。</p> <p>〔履修上の注意（科目独自のルール）〕</p> <p>保健体育科教育法Ⅰは教職課程必修科目となるため、必ず教育実習前に履修すること。</p>			
成績評価の方法				
評価方法	<p>〔成績評価の方法〕</p> <p>授業態度や取り組み姿勢等、毎時の課題提出、グループワークへの積極的参加、学習指導案作成、定期試験にて評価する。なお、授業態度・取り組み姿勢が授業進行上、不適切であると判断した場合には、減点の対象とするので注意すること。</p>			
評価基準	<p>〔成績評価の基準〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習指導要領に示されている目標や内容等を理解し、効果的な保健授業を創出するための基本的な考え方と進め方についてについて理解できているか、毎時の課題提出で評価する。（平常点）</li> <li>2. 授業実践に向けた学習指導案の書き方が理解できているか、学習指導案の提出で評価する。（レポート）</li> <li>3. 教材づくり等のグループワークに主体的・対話的に参加しているか、授業中の発言やワークシート、予習復習の取組状況によって受講態度を評価する。（平常点）</li> <li>4. 定期試験を実施する。</li> </ol>			
試験・課題に対するフィードバック方法				
<p>〔試験、レポート等の課題に対するフィードバックの方法〕</p> <p>授業にて返却し、模範回答や評価のポイントを提示しながら解説する。</p>				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
中学校学習指導要領解説（保健体育編）	文部科学省	東山書房	978-4-8278-1560-3	平成29年7月
高等学校学習指導要領解説（保健体育編・体育編）	文部科学省	東山書房	978-4-8278-1568-9	平成31年2月
「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(中学校)	国立教育政策研究所教育課程研究センター	東洋館出版社	978-4-491-04138-4	令和2年6月
「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(高等学校)	国立教育政策研究所教育課程研究センター	東洋館出版社	978-4-491-04705-8	令和3年11月
参考文献				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 保健科教育法入門（日本保健科教育学会編 大修館書店）</li> <li>2 中学、高校時代に使用した「保健体育」教科書（各自準備）</li> </ol> <p>※1, 2は参考書であり、指導案の作成等に参考になる。その他、適宜、資料を配布する。</p>				
その他				

連絡先・オフィスアワー	<p>[連絡先] 長岡：Email: tm-nagaoka@juntendo.ac.jp [オフィスアワー] 長岡：火曜日12:50～14:30 1号館4階1416号室 上記時間帯には予約なしに質問や相談に応じますが、他の学生との重複を避けるため、可能な限り前日までにメールでアポイントを取ってください。質問や相談はアポイントを取っている学生を優先します。</p>			
担当教員の実務経験	<p>高等学校において保健体育教員として教科指導業務にあっていた経験を生かし、学校現場において求められる知識や技術をわかりやすく解説します。</p>			
備考	<p>[学修時間] この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。 [その他] この授業科目は、中学校教諭一種免許状（保健体育）並びに高等学校教諭一種免許状（保健体育）の取得に必要な科目のうち、「教科及び教科の指導法に関する科目」における必修科目として位置づけられている。また、新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>			
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	長岡 知	<p>[授業内容] テーマ：ガイダンス ・保健授業を取り巻く現状と課題 ・魅力ある保健授業とは ・授業目的及び概要、シラバス、評価方法等について理解する</p>	<p>[授業方法] スライド講義、グループワーク ペア学習により、保健科教育の意義について意見を出し合う。</p>	<p>(予習：2時間) ・自分が受けてきた保健授業について振りかえり、自分なりの課題を見だし、受講の心構えを確認する。 (復習：3時間) ・保健科教育の意義を踏まえ、今後の学習の見通しを立て、学習内容について概観し、整理する。</p>
2	長岡 知	<p>[授業内容] テーマ：カリキュラム論 教育課程上の保健の位置づけ及び内容について理解する。</p>	<p>[授業方法] プリントとスライドを用いて講義を進める。ペア学習にて交互に説明し、理解を深める。</p>	<p>(復習：2時間) 講義で取り上げた箇所について、学習指導要領解説を読み、理解を深める。 (予習：2時間) 保健の目標の変遷について、学習指導要領解説を読み、理解を深めておく。</p>
3	長岡 知	<p>[授業内容] テーマ：目標論 保健科教育の目標の歴史的変遷について概説し、これからの保健授業の方向性について理解を深める。</p>	<p>[授業方法] プリントとスライドを用いて講義を進める。</p>	<p>(復習：2時間) 講義で取り上げた箇所について、学習指導要領解説を確認し整理する。 (予習：2時間) 保健の指導内容について、学習指導要領解説を読み、理解を深めておく。</p>
4	長岡 知	<p>[授業内容] テーマ：内容論 各学校種の目標、学習内容の系統性と個性について解説し、課題に基づき整理する。</p>	<p>[授業方法] プリントとスライドを用いて講義を進める。ペア学習にて交互に説明し、理解を深める。</p>	<p>(復習：3時間) 中学、高校の保健の指導内容と系統性・個性について理解を深める。 (予習：1時間) 自分の関心のある単元領域を選択し、小学校～中学～高校までの学習内容を構造的にまとめる。</p>
5	長岡 知	<p>[授業内容] テーマ：学習評価 ・学習評価の考え方、観点別評価規準、指導と評価の一体化について解説し、理解を深める。</p>	<p>[授業方法] ・グループ・ディスカッションを通じて、学習評価について意見交換し理解を深める。</p>	<p>(予習：3時間) ・「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料」「高等学校・保健体育」（平成24年7月）を準備し、読んでおくこと。 (復習：1時間) ・学習評価の意義、評価観点、評価規準などについて整理し、理解を深める。</p>
6	長岡 知	<p>[授業内容] テーマ：学習指導論①（授業観） 効果的な保健授業とは何かを考え、保健授業の基礎的条件と内容的条件について理解する。</p>	<p>[授業方法] グループワーク、プリントとスライドを用いて講義を進める。グループ・ディスカッションを通じて、保健の授業観について意見交換し理解を深める。</p>	<p>(復習：3時間) 保健授業の基礎的条件、内容的条件について、整理する。 (予習：1時間) 効果的な保健授業を実践するため多様な学習方法について、参考書4（P68-71）を読み、理解を深めておく。</p>
7	長岡 知	<p>[授業内容] テーマ：学習指導論②（学習方法） 保健授業における多様な学習方法について理解する。</p>	<p>[授業方法] プリントとスライドを用いて講義を進める。ペア学習やグループワークにより、実践的に学習方法についての理解を深める。</p>	<p>(復習：3時間) 多様な学習方法についての利点と配慮すべき注意点について、復習する。 (予習：2時間) 保健の学習評価について、参考書4（P94-100）を読み、理解を深めておく。</p>







科目名	【新カリ】保健体育科教育法Ⅰ〔後半〕	授業形態	講義		
英語科目名	【新カリ】保健体育科教育法Ⅰ〔後半〕	対象学年	2年		
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位		
代表教員	長岡 知	ナンバリング	PHE2213		
担当教員	長岡 知、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	<p>〔授業全体の内容〕</p> <p>学校現場における保健授業の実践状況は量・質ともに低調である。将来、保健体育教員を目指す上で体育と保健を融合させた授業実践力を身につけることが重要である。この授業科目では、保健授業の意義を理解し、中学校・高等学校における分野・科目「保健」の授業づくり、その実践ができる力量の形成を図ることをねらいとする。学習指導要領に示された目標や学習内容等について解説し、効果的な保健授業の創出に向けた指導計画の作成を通じて、学習内容や多様な学習方法、指導技術について考察する。</p>				
到達目標	<p>〔授業の到達目標〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習指導要領に示されている保健の目標や内容等について説明することができる。</li> <li>2. 指導と評価を踏まえた保健の授業観を深め、基本的な考え方と進め方について理解できる。</li> <li>3. 学習指導要領に基づいた学習指導案を作成できる。</li> <li>4. スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養を活用した具体的な保健教材づくりの演習を通してコミュニケーション力を養い実践的指導力を身につける。</li> </ol>				
授業の位置づけ	この科目は、分野科目群・スポーツ科学分野科目の選択科目である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>〔授業の位置づけ（学位授与方針に定められた知識・能力等との関連）〕</p> <p>本講義では、保健の目標や内容等について理解するとともに、効果的な保健授業を創出するための授業内容や教授行為についての理解を深める。</p> <p>講義を通して保健体育科教員に必要な知識や実践的指導力を身につけることができるよう、本授業では学習指導要領をはじめとするスポーツ健康科学を中心とした幅広い知識や教養を講義にて学び、得られた情報をもとに指導案を作成し実際に授業を展開する時に必要な応用力、表現力を身につけることを目指す。この科目は、「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養、コミュニケーション力、指導的な役割を果たすために必要な高い倫理観」という学位授与方針の達成に寄与する。</p>				
履修上の注意、履修要件	<p>〔履修要件〕</p> <p>保健体育科教育法Ⅰは保健体育科教育法Ⅲ、Ⅳを履修する前に履修すること。Ⅰ、Ⅱを履修せずにⅢ、Ⅳは履修することはできない。将来、教員になるに相応しい態度、姿勢で積極的に授業、予習・復習に取り組むこと。なお、授業計画は、授業の進行状況により変更することがある。将来、教員になるに相応しい態度、姿勢で積極的に授業、予習・復習に取り組むこと。なお、授業計画は、授業の進行状況により変更することがある。</p> <p>〔履修上の注意（科目独自のルール）〕</p> <p>保健体育科教育法Ⅰは教職課程必修科目となるため、必ず教育実習前に履修すること。</p>				
成績評価の方法					
評価方法	<p>〔成績評価の方法〕</p> <p>授業態度や取り組み姿勢等、毎時の課題提出、グループワークへの積極的参加、学習指導案作成、定期試験にて評価する。なお、授業態度・取り組み姿勢が授業進行上、不適切であると判断した場合には、減点の対象とするので注意すること。</p>				
評価基準	<p>〔成績評価の基準〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習指導要領に示されている目標や内容等を理解し、効果的な保健授業を創出するための基本的な考え方と進め方についてについて理解できているか、毎時の課題提出で評価する。（平常点）</li> <li>2. 授業実践に向けた学習指導案の書き方が理解できているか、学習指導案の提出で評価する。（レポート）</li> <li>3. 教材づくり等のグループワークに主体的・対話的に参加しているか、授業中の発言やワークシート、予習復習の取組状況によって受講態度を評価する。（平常点）</li> <li>4. 定期試験を実施する。</li> </ol>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
<p>〔試験、レポート等の課題に対するフィードバックの方法〕</p> <p>授業にて返却し、模範回答や評価のポイントを提示しながら解説する。</p>					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	中学校学習指導要領解説（保健体育編）	文部科学省	東山書房	978-4-8278-1560-3	平成29年7月
	高等学校学習指導要領解説（保健体育編・体育編）	文部科学省	東山書房	978-4-8278-1568-9	平成31年2月
	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(中学校)	国立教育政策研究所教育課程研究センター	東洋館出版社	978-4-491-04138-4	令和2年6月
	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(高等学校)	国立教育政策研究所教育課程研究センター	東洋館出版社	978-4-491-04705-8	令和3年11月
参考文献					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 保健科教育法入門（日本保健科教育学会編 大修館書店）</li> <li>2 中学、高校時代に使用した「保健体育」教科書（各自準備）</li> </ol> <p>※1, 2は参考書であり、指導案の作成等に参考になる。その他、適宜、資料を配布する。</p>					
その他					

連絡先・オフィスアワー	<p>[連絡先] 長岡：Email: tm-nagaoka@juntendo.ac.jp [オフィスアワー] 長岡：火曜日12:50～14:30 1号館4階1416号室 上記時間帯には予約なしに質問や相談に応じますが、他の学生との重複を避けるため、可能な限り前日までにメールでアポイントを取ってください。質問や相談はアポイントを取っている学生を優先します。</p>			
担当教員の実務経験	<p>高等学校において保健体育教員として教科指導業務にあっていた経験を生かし、学校現場において求められる知識や技術をわかりやすく解説します。</p>			
備考	<p>[学修時間] この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。 [その他] この授業科目は、中学校教諭一種免許状（保健体育）並びに高等学校教諭一種免許状（保健体育）の取得に必要な科目のうち、「教科及び教科の指導法に関する科目」における必修科目として位置づけられている。また、新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>			
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	長岡 知	<p>[授業内容] テーマ：ガイダンス ・保健授業を取り巻く現状と課題 ・魅力ある保健授業とは ・授業目的及び概要、シラバス、評価方法等について理解する</p>	<p>[授業方法] スライド講義、グループワーク ペア学習により、保健科教育の意義について意見を出し合う。</p>	<p>(予習：2時間) ・自分が受けてきた保健授業について振りかえり、自分なりの課題を見だし、受講の心構えを確認する。 (復習：3時間) ・保健科教育の意義を踏まえ、今後の学習の見通しを立て、学習内容について概観し、整理する。</p>
2	長岡 知	<p>[授業内容] テーマ：カリキュラム論 教育課程上の保健の位置づけ及び内容について理解する。</p>	<p>[授業方法] プリントとスライドを用いて講義を進める。ペア学習にて交互に説明し、理解を深める。</p>	<p>(復習：2時間) 講義で取り上げた箇所について、学習指導要領解説を読み、理解を深める。 (予習：2時間) 保健の目標の変遷について、学習指導要領解説を読み、理解を深めておく。</p>
3	長岡 知	<p>[授業内容] テーマ：目標論 保健科教育の目標の歴史的変遷について概説し、これからの保健授業の方向性について理解を深める。</p>	<p>[授業方法] プリントとスライドを用いて講義を進める。</p>	<p>(復習：2時間) 講義で取り上げた箇所について、学習指導要領解説を確認し整理する。 (予習：2時間) 保健の指導内容について、学習指導要領解説を読み、理解を深めておく。</p>
4	長岡 知	<p>[授業内容] テーマ：内容論 各学校種の目標、学習内容の系統性と個性について解説し、課題に基づき整理する。</p>	<p>[授業方法] プリントとスライドを用いて講義を進める。ペア学習にて交互に説明し、理解を深める。</p>	<p>(復習：3時間) 中学、高校の保健の指導内容と系統性・個性について理解を深める。 (予習：1時間) 自分の関心のある単元領域を選択し、小学校～中学～高校までの学習内容を構造的にまとめる。</p>
5	長岡 知	<p>[授業内容] テーマ：学習評価 ・学習評価の考え方、観点別評価規準、指導と評価の一体化について解説し、理解を深める。</p>	<p>[授業方法] ・グループ・ディスカッションを通じて、学習評価について意見交換し理解を深める。</p>	<p>(予習：3時間) ・「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料」「高等学校・保健体育」（平成24年7月）を準備し、読んでおくこと。 (復習：1時間) ・学習評価の意義、評価観点、評価規準などについて整理し、理解を深める。</p>
6	長岡 知	<p>[授業内容] テーマ：学習指導論①（授業観） 効果的な保健授業とは何かを考え、保健授業の基礎的条件と内容的条件について理解する。</p>	<p>[授業方法] グループワーク、プリントとスライドを用いて講義を進める。グループ・ディスカッションを通じて、保健の授業観について意見交換し理解を深める。</p>	<p>(復習：3時間) 保健授業の基礎的条件、内容的条件について、整理する。 (予習：1時間) 効果的な保健授業を実践するため多様な学習方法について、参考書4（P68-71）を読み、理解を深めておく。</p>
7	長岡 知	<p>[授業内容] テーマ：学習指導論②（学習方法） 保健授業における多様な学習方法について理解する。</p>	<p>[授業方法] プリントとスライドを用いて講義を進める。ペア学習やグループワークにより、実践的に学習方法についての理解を深める。</p>	<p>(復習：3時間) 多様な学習方法についての利点と配慮すべき注意点について、復習する。 (予習：2時間) 保健の学習評価について、参考書4（P94-100）を読み、理解を深めておく。</p>





科目名	【新カリ】保健体育科教育法Ⅱ [前半]	授業形態	講義		
英語科目名	【新カリ】保健体育科教育法Ⅱ [前半]	対象学年	2年		
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位		
代表教員	長登 健	ナンバリング	PHE2214		
担当教員	長登 健、荻原 朋子、長岡 知、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	<p>[授業全体の内容]</p> <p>この授業は、中学校・高等学校における分野・科目「体育」の授業づくり、その実践ができる力量の形成を図ることをねらいとする。なかでも、体育の授業実践に結びつく体育科教育学の知識を学び、それらの知識を実際の実践場面で効果的に発揮できる能力を身につける必要がある。学習指導要領に示された目標や学習内容等について解説するとともに、指導計画の作成を通じて学習内容、指導方法、教師行動について考察する。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習指導要領に記載されている体育の目標や内容等について理解できる。</li> <li>2. 目標に準拠した指導と評価を踏まえた体育授業の基本的な考え方と進め方について理解できる。</li> <li>3. 学習指導要領に基づいた学習指導案を作成できる。</li> <li>4. 授業づくりに具現化する演習（教材づくり）を通して実践的指導力を身に付けることができる。</li> </ol>				
授業の位置づけ	この科目は、分野科目群・スポーツ科学分野科目の選択科目である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>本講義では、体育の目標や内容等について理解するとともに、よい体育授業を創出するための授業内容や教師行動についての理解を深める。</p> <p>講義を通して保健体育科教師に必要な知識や実践的指導力を身につけることが必要である。</p> <p>この科目は、「課題解決能力」という学位授与方針の達成に寄与する。</p>				
履修上の注意、履修要件	<p>[履修要件]</p> <p>保健体育科教育法Ⅱは、保健体育科教育法Ⅲ、Ⅳを履修する前に履修すること。Ⅰ、Ⅱを履修せずにⅢ、Ⅳを履修することはできない。</p> <p>[履修上の注意（科目独自のルール）]</p> <p>将来教員になるに相応しい態度、姿勢で積極的に授業、予習・復習に取り組むこと。なお、授業計画は、授業の進行状況により多少前後することがある。</p>				
成績評価の方法					
評価方法	<p>[成績評価の方法]</p> <p>授業態度や取り組む姿勢等50%、毎時の課題提出15%、グループワークへの積極的参加20%、学習指導案15%にて評価する。なお、授業態度・取り組む姿勢が授業進行上、不適切であると判断した場合には、減点の対象とするので注意すること。</p>				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習指導要領に記載されている目標や内容等、よい体育授業を創出するための基本的な考え方と進め方について理解できているか、毎時の課題提出で評価する。（平常点）</li> <li>2. 授業のための学習指導案の書き方が理解できているか、学習指導案の提出で評価する。（レポート）</li> <li>3. 教材づくりグループワーク等で積極的に参加しているか、授業中の発言や予習復習の取組状況によって受講態度を評価する。（平常点）</li> </ol>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
授業にて返却し、模範回答や評価のポイントを提示しながら解説する。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	中学校学習指導要領解説 保健体育編	文部科学省	東山書房	4827815763	平成29年7月
	高等学校学習指導要領解説 保健体育編・体育編	文部科学省	東山書房	4827815682	平成30年7月
参考文献					
[テキスト・参考書等]					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 中学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省）</li> <li>2. 高等学校学習指導要領（平成30年3月告示 文部科学省）</li> <li>3. 評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料（教育課程研究センター）</li> <li>4. 体育科教育入門（三訂版）（岡出美則、友添秀則、岩田靖編著、大修館書店）</li> </ol> <p>1～4は参考書であり、指導案の作成等に参考になる。その他、適宜、資料を配布する。</p>					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>[連絡先]</p> <p>長登 Email: tnatago[at]juntendo.ac.jp  荻原 Email: togiwara[at]juntendo.ac.jp  ※[at]を@に変更して下さい。</p> <p>[オフィスアワー]</p> <p>長登： 火曜日 12:50～14:30 1号館5階1519号室  荻原： 木曜日 11:00～13:00 1号館5階1517号室  上記時間帯には予約なしに質問や相談に応じますが、他の学生との重複を避けるため、可能な限り前日までにメールでアポイントを取ってください。質問や相談はアポイントを取っている学生を優先します。</p>				
担当教員の実務経験	この科目では、学校現場における教員経験、教育行政機関での勤務経験のある者が、その経験を活かし、実践的教育力を育むための指導を行います。				

備考				
<p>[学修時間] この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>[その他] この科目は、中学校および高等学校教諭1種免許状の取得に必要な科目のうち、「教科の指導法に関する科目」における必修科目として位置づけられている。 この科目では、学校現場における教員経験、教育行政機関での勤務経験のある者が、その経験を活かし、実践的教育力を育むための指導を行います。 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>				
授業計画				
授業回数	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	長登、荻原、長岡	[授業内容] テーマ：ガイダンス、体育授業とは？ 授業目的及び概要、シラバス、評価方法等について理解する	スライド講義、グループワーク グループになり、保健体育教師の役割について意見を話し合う。	(予習：1時間) 保健体育教師の役割や仕事について、情報を集める。 (復習：3時間) 保健体育教師に求められる能力について整理する。
2	長登、荻原、長岡	[授業内容] テーマ：カリキュラム論 体育科教育の教育課程上の位置づけ及び内容について理解する。	プリントとスライドを用いて講義を進める。	(予習：2時間) 体育科の目標の変遷について、学習指導要領解説を読み、理解を深めておく。 (復習：2時間) 講義で取り上げた箇所について、学習指導要領解説を読み、理解を深める。
3	長登、荻原、長岡	[授業内容] テーマ：内容論① 体系化、明確化された体育の指導内容について解説し、課題に基づき整理する。	プリントとスライドを用いて講義を進める。ワークシートの記入と、ペアで相互チェックを行う。	(予習：2時間) 体育科の指導内容について、学習指導要領解説を読み、理解を深めておく。 (復習：2時間) 講義で取り上げた箇所について、学習指導要領解説を確認し整理する。
4	長登、荻原、長岡	[授業内容] テーマ：内容論② 体系化、明確化された体育の指導内容について解説し、課題に基づき整理する。	プリントとスライドを用いて講義を進める。ワークシートの記入と、ペアで相互チェックを行う。	(予習：1時間) 自分の関心のある運動領域を選択し、中学～高校までの発展をまとめる。 (復習：3時間) 中学、高校の体育の指導内容と構成について理解を深める。
5	長登、荻原、長岡	[授業内容] テーマ：内容論③ 学習指導要領に示された体育の運動領域における指導内容について解説する。	プリントとスライドを用いて講義を進める。ワークシートの記入と、ペアで相互チェックを行う。	(予習：1時間) 自分の関心のある運動領域を選択し、中学～高校までの発展をまとめる。 (復習：3時間) 作成した領域と他の領域についての体育の指導内容と構成について理解を深める。
6	長登、荻原、長岡	[授業内容] テーマ：学習指導論 よい体育授業とは何かを考え、体育授業の基礎的条件と内容的条件について理解する。	グループワーク、プリントとスライドを用いて講義を進める。	(予習：1時間) よい体育授業とは何かについて、自分なりの考えをまとめておく。 (復習：3時間) 体育授業の基礎的条件、内容的条件について、整理する。
7	長登、荻原、長岡	[授業内容] テーマ：組織的観察法 体育授業における四大教師行動、組織的観察法について理解する。授業分析の結果を発表しデータの解釈について理解する。	プリントとスライドを用いて講義を進める。授業分析は映像を見ながら実際に個人で分析する。	(予習：1時間) 体育授業の四大教師行動及び組織的観察法について、参考書(P257-262)を読み、理解を深めておく。 (復習：3時間) 組織的観察法の記録の取り方や分析方法について、復習する。
8	長登、荻原、長岡	[授業内容] テーマ：学習の評価 体育授業における目標に準拠した学習評価について理解する。	プリントとスライドを用いて講義を進める。	(予習：1時間) 体育の学習評価について、参考書(p75-81)を読み、理解を深めておく。 (復習：3時間) 目標に準拠した学習評価について復習する。
9	長登、荻原、長岡	[授業内容] テーマ：教材・教具論 体育授業の教材づくりや教具について、様々な情報機器(DVD、ビデオカメラ、タブレット等)があることを理解する。	プリントとスライドを用いて講義を進める。体育の教材・教具づくりについて、DVD視聴する。	(予習：1時間) 教材・教具について、参考書(p54-60)を読み、理解を深めておく。 (復習：3時間) 教材・教具づくりの基本的な考え方や実際の作成方法について復習する。
10	長登、荻原、長岡	[授業内容] テーマ：指導計画 体育における指導計画の作成方法について理解し、単元計画を作成する。	プリントとスライドを用いて講義を進める。	(予習：2時間) グループワークに向けた教材づくりのための資料を集めておく。 (復習：3時間) 体育における指導計画について理解し、単元計画や学習指導案についてまとめる。






\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	【新カリ】保健体育科教育法Ⅱ〔後半〕	授業形態	講義		
英語科目名	【新カリ】保健体育科教育法Ⅱ〔後半〕	対象学年	2年		
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位		
代表教員	長登 健	ナンバリング	PHE2214		
担当教員	長登 健、荻原 朋子、長岡 知、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	<p>[授業全体の内容]</p> <p>この授業は、中学校・高等学校における分野・科目「体育」の授業づくり、その実践ができる力量の形成を図ることをねらいとする。なかでも、体育の授業実践に結びつく体育科教育学の知識を学び、それらの知識を実際の実践場面で効果的に発揮できる能力を身につける必要がある。学習指導要領に示された目標や学習内容等について解説するとともに、指導計画の作成を通じて学習内容、指導方法、教師行動について考察する。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習指導要領に記載されている体育の目標や内容等について理解できる。</li> <li>2. 目標に準拠した指導と評価を踏まえた体育授業の基本的な考え方と進め方について理解できる。</li> <li>3. 学習指導要領に基づいた学習指導案を作成できる。</li> <li>4. 授業づくりに具現化する演習（教材づくり）を通して実践的指導力を身に付けることができる。</li> </ol>				
授業の位置づけ	この科目は、分野科目群・スポーツ科学分野科目の選択科目である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>本講義では、体育の目標や内容等について理解するとともに、よい体育授業を創出するための授業内容や教師行動についての理解を深める。</p> <p>講義を通して保健体育科教師に必要な知識や実践的指導力を身につけることが必要である。</p> <p>この科目は、「課題解決能力」という学位授与方針の達成に寄与する。</p>				
履修上の注意、履修要件	<p>[履修要件]</p> <p>保健体育科教育法Ⅱは、保健体育科教育法Ⅲ、Ⅳを履修する前に履修すること。Ⅰ、Ⅱを履修せずにⅢ、Ⅳを履修することはできない。</p> <p>[履修上の注意（科目独自のルール）]</p> <p>将来教員になるに相応しい態度、姿勢で積極的に授業、予習・復習に取り組むこと。なお、授業計画は、授業の進行状況により多少前後することがある。</p>				
成績評価の方法					
評価方法	<p>[成績評価の方法]</p> <p>授業態度や取り組む姿勢等50%、毎時の課題提出15%、グループワークへの積極的参加20%、学習指導案15%にて評価する。なお、授業態度・取り組む姿勢が授業進行上、不適切であると判断した場合には、減点の対象とするので注意すること。</p>				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習指導要領に記載されている目標や内容等、よい体育授業を創出するための基本的な考え方と進め方について理解できているか、毎時の課題提出で評価する。（平常点）</li> <li>2. 授業のための学習指導案の書き方が理解できているか、学習指導案の提出で評価する。（レポート）</li> <li>3. 教材づくりグループワーク等で積極的に参加しているか、授業中の発言や予習復習の取組状況によって受講態度を評価する。（平常点）</li> </ol>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
授業にて返却し、模範回答や評価のポイントを提示しながら解説する。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	中学校学習指導要領解説 保健体育編	文部科学省	東山書房	4827815763	平成29年7月
	高等学校学習指導要領解説 保健体育編・体育編	文部科学省	東山書房	4827815682	平成30年7月
参考文献					
[テキスト・参考書等]					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 中学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省）</li> <li>2. 高等学校学習指導要領（平成30年3月告示 文部科学省）</li> <li>3. 評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料（教育課程研究センター）</li> <li>4. 体育科教育入門（三訂版）（岡出美則、友添秀則、岩田靖編著、大修館書店）</li> </ol> <p>1～4は参考書であり、指導案の作成等に参考になる。その他、適宜、資料を配布する。</p>					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>[連絡先]</p> <p>長登 Email: tnatago[at]juntendo.ac.jp  荻原 Email: togiwara[at]juntendo.ac.jp  ※[at]を@に変更して下さい。</p> <p>[オフィスアワー]</p> <p>長登： 火曜日 12:50～14:30 1号館5階1519号室  荻原： 木曜日 11:00～13:00 1号館5階1517号室  上記時間帯には予約なしに質問や相談に応じますが、他の学生との重複を避けるため、可能な限り前日までにメールでアポイントを取ってください。質問や相談はアポイントを取っている学生を優先します。</p>				
担当教員の実務経験	この科目では、学校現場における教員経験、教育行政機関での勤務経験のある者が、その経験を活かし、実践的教育力を育むための指導を行います。				

備考				
<p>[学修時間] この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>[その他] この科目は、中学校および高等学校教諭1種免許状の取得に必要な科目のうち、「教科の指導法に関する科目」における必修科目として位置づけられている。 この科目では、学校現場における教員経験、教育行政機関での勤務経験のある者が、その経験を活かし、実践的教育力を育むための指導を行います。 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>				
授業計画				
授業回数	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	長登、荻原、長岡	[授業内容] テーマ：ガイダンス、体育授業とは？ 授業目的及び概要、シラバス、評価方法等について理解する	スライド講義、グループワーク グループになり、保健体育教師の役割について意見を話し合う。	(予習：1時間) 保健体育教師の役割や仕事について、情報を集める。 (復習：3時間) 保健体育教師に求められる能力について整理する。
2	長登、荻原、長岡	[授業内容] テーマ：カリキュラム論 体育科教育の教育課程上の位置づけ及び内容について理解する。	プリントとスライドを用いて講義を進める。	(予習：2時間) 体育科の目標の変遷について、学習指導要領解説を読み、理解を深めておく。 (復習：2時間) 講義で取り上げた箇所について、学習指導要領解説を読み、理解を深める。
3	長登、荻原、長岡	[授業内容] テーマ：内容論① 体系化、明確化された体育の指導内容について解説し、課題に基づき整理する。	プリントとスライドを用いて講義を進める。ワークシートの記入と、ペアで相互チェックを行う。	(予習：2時間) 体育科の指導内容について、学習指導要領解説を読み、理解を深めておく。 (復習：2時間) 講義で取り上げた箇所について、学習指導要領解説を確認し整理する。
4	長登、荻原、長岡	[授業内容] テーマ：内容論② 体系化、明確化された体育の指導内容について解説し、課題に基づき整理する。	プリントとスライドを用いて講義を進める。ワークシートの記入と、ペアで相互チェックを行う。	(予習：1時間) 自分の関心のある運動領域を選択し、中学～高校までの発展をまとめる。 (復習：3時間) 中学、高校の体育の指導内容と構成について理解を深める。
5	長登、荻原、長岡	[授業内容] テーマ：内容論③ 学習指導要領に示された体育の運動領域における指導内容について解説する。	プリントとスライドを用いて講義を進める。ワークシートの記入と、ペアで相互チェックを行う。	(予習：1時間) 自分の関心のある運動領域を選択し、中学～高校までの発展をまとめる。 (復習：3時間) 作成した領域と他の領域についての体育の指導内容と構成について理解を深める。
6	長登、荻原、長岡	[授業内容] テーマ：学習指導論 よい体育授業とは何かを考え、体育授業の基礎的条件と内容的条件について理解する。	グループワーク、プリントとスライドを用いて講義を進める。	(予習：1時間) よい体育授業とは何かについて、自分なりの考えをまとめておく。 (復習：3時間) 体育授業の基礎的条件、内容的条件について、整理する。
7	長登、荻原、長岡	[授業内容] テーマ：組織的観察法 体育授業における四大教師行動、組織的観察法について理解する。授業分析の結果を発表しデータの解釈について理解する。	プリントとスライドを用いて講義を進める。授業分析は映像を見ながら実際に個人で分析する。	(予習：1時間) 体育授業の四大教師行動及び組織的観察法について、参考書(P257-262)を読み、理解を深めておく。 (復習：3時間) 組織的観察法の記録の取り方や分析方法について、復習する。
8	長登、荻原、長岡	[授業内容] テーマ：学習の評価 体育授業における目標に準拠した学習評価について理解する。	プリントとスライドを用いて講義を進める。	(予習：1時間) 体育の学習評価について、参考書(p75-81)を読み、理解を深めておく。 (復習：3時間) 目標に準拠した学習評価について復習する。
9	長登、荻原、長岡	[授業内容] テーマ：教材・教具論 体育授業の教材づくりや教具について、様々な情報機器(DVD、ビデオカメラ、タブレット等)があることを理解する。	プリントとスライドを用いて講義を進める。体育の教材・教具づくりについて、DVD視聴する。	(予習：1時間) 教材・教具について、参考書(p54-60)を読み、理解を深めておく。 (復習：3時間) 教材・教具づくりの基本的な考え方や実際の作成方法について復習する。
10	長登、荻原、長岡	[授業内容] テーマ：指導計画 体育における指導計画の作成方法について理解し、単元計画を作成する。	プリントとスライドを用いて講義を進める。	(予習：2時間) グループワークに向けた教材づくりのための資料を集めておく。 (復習：3時間) 体育における指導計画について理解し、単元計画や学習指導案についてまとめる。




\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	【新カリ】スポーツ情報科学			授業形態	講義
英語科目名	【新カリ】スポーツ情報科学			対象学年	2年
開講学期	2022年度前期			単位数	2単位
代表教員	廣津 信義			ナンバリング	INF2216
担当教員	廣津 信義、山田 泰行、島崎 佑、鈴木 宏哉、吉田 和人、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	<p>【授業全体の内容】</p> <p>本科目は、講義の授業形態で行われる。近年、情報科学の社会においてビックデータの活用やAIを用いたデータ分析などの活用が身近なものとなっている。スポーツにおいてもアナリストがデータの収集・分析・活用を手掛け、パフォーマンスの向上に貢献している。この講義では、情報科学についての基礎的な知識を学ぶとともに、データの収集・分析・活用の具体的なプロセスについての理解を深める。また、AIや機械学習をスポーツに応用した分析事例などについても学修する。eスポーツについても考察するとともに、スポーツ情報をわかりやすく伝達するための科学コミュニケーションについて課題発表などを通じて実践することで、スポーツにおける情報科学の有用性について理解する。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ウェブサイトや映像からのデータ収集法を学ぶ。</li> <li>2. 収集したデータの分析方法や活用方法を理解する。</li> <li>3. 科学コミュニケーションの手法を身につける。</li> </ol>				
授業の位置づけ	この科目は、分野科目群・スポーツ科学分野科目の選択科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は、「コーチング科学を中心とした広範囲な知識およびそれらを駆使したスポーツ指導実践能力」を身に付けるための科目として開講される。また、スポーツ科学科においては、「スポーツの指導を支援するために必要な医科学の知識と技能」の獲得という学位授与方針の達成にも寄与する。				
履修上の注意、履修要件	<p>【履修要件】</p> <p>「統計学」、「スポーツの調査研究演習」を事前に履修している方が望ましい。</p>				
成績評価の方法					
評価方法	<p>【成績評価の方法】</p> <p>平常点（15%）、課題レポート（25%）、グループ発表（30%）ならびに定期試験（30%）を総合して評価する。</p>				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ウェブサイトや映像からのデータ収集法について説明できるか。（定期試験、レポート、グループ発表）</li> <li>2. 収集したデータの分析方法や活用方法を説明できるか。（定期試験、レポート、グループ発表）</li> <li>3. 科学コミュニケーションを実践できるか。（グループ発表）</li> <li>4. 授業中の発言や予習・復習の取り組み状況によって受講態度を評価する。（平常点）</li> </ol>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
1回の授業について、3分の2以上の出席時間がない場合は、その授業を欠席扱いとする。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
この科目では、必ず用意しなければならないテキストはありません。必要な資料は、授業中に適宜配布する。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】</p> <p>担当： 廣津信義 E-mail：nhirotsu[at]juntendo.ac.jp（[at]を@に変更してください）</p> <p>【オフィスアワー】</p> <p>日時：火曜日 12：50から14：30 場所：1号館3階1327室 上記の時間帯は予約がなくても対応しますが、予約があった学生を優先します。</p>				
担当教員の実務経験	製鉄関連企業においてプラントエンジニアとしての業務にあっていた経験を生かし、数学が実社会で計算技術だけでなく発想法として有用であるということも織り込みながら授業をします。				
備考	<p>【学修時間】</p> <p>この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>【その他】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>				
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間	
1	廣津 吉田 鈴木 山田 島崎	<p>【授業内容】</p> <p>授業の内容を把握するとともに、スポーツへの情報科学の有用性について考える。</p>	授業目的や評価方法と授業の進め方を説明する。情報科学がスポーツや競技の現場で役に立っている点などについてGr討議する。	<p>【予習：2時間】</p> <p>シラバスを読み、授業の内容を確認する。</p> <p>【復習：2時間】</p> <p>ガイダンスを受け、自分にとっての受講の意義を確認する。</p>	

2	廣津 吉田 鈴木 山田 島崎	[授業内容] ウェブデータや競技映像からの情報分析に方法について理解する。	球技系種目を対象としてパフォーマンスを定量化する方法を、ワークシートを用いながら解説する。	【予習：2時間】 興味のあるスポーツの一つ取り上げ、情報分析（データ収集）の事例を調べておく。 【復習：2時間】 授業資料をもとに定量化手法について整理する。
3	廣津 吉田 鈴木 山田 島崎	[授業内容] 競技団体における医科学委員会の情報戦略について理解する。	卓球医科学委員会での取り組みを通して、スポーツでの情報戦略の現状について解説する。	【予習：2時間】 興味のある競技団体の取り組みの事例を調べておく。 【復習：2時間】 授業資料をもとに医科学委員会の現状と課題について整理する。
4	廣津 吉田 鈴木 山田 島崎	[授業内容] 学生シンポジウムでスポーツでの情報科学の有用性について認識する。グループ発表の準備としてグループ分けをしておく。	学生シンポジウムでは学生シンポジウムの発表と対談を行う。グループ発表ではグループ分けを行いテーマについて調整する。	【予習：2時間】 シンポジウムの成績などを事前に調べておくこと。 【復習：2時間】 情報科学の実用性について整理する。
5	廣津 吉田 鈴木 山田 島崎	[授業内容] 情報科学をスポーツに応用する際の、分析方法について学ぶ。	パソコンのフリーソフトを用いた分析の方法について解説し、データを用いた演習を行う。	【予習：2時間】 AI、機械学習について事前に調べておく。 【復習：2時間】 フリーソフトを利用して、自分なりにデータを作成し計算してみる。
6	廣津 吉田 鈴木 山田 島崎	[授業内容] eスポーツの現状について学ぶ。	実際にeスポーツを体験するとともに、現実のスポーツとの関係について討議する。	【予習：2時間】 eスポーツについて事前に調べておく 【復習：2時間】 eスポーツが社会的にどのように役立っているかについて考察する。
7	廣津 吉田 鈴木 山田 島崎	[授業内容] ビジネスとしてスポーツデータの分析がどのように行われているか理解する。	スポーツデータビジネスの専門家を外部講師として招き、データ分析の現状を紹介する。	【予習：2時間】 スポーツデータを配信している会社を調べ、その業務内容を調査する。 【復習：2時間】 外部講師からの講義を聞いて、ビジネスとしてのデータ分析について各自がまとめてみる。
8	廣津 吉田 鈴木 山田 島崎	[授業内容] スポーツデータ分析の難解な情報を分かり易く魅力的に発信するためのヒントを科学コミュニケーション（SC）の理論と実践から学ぶ。	SCの社会的意義と、既に社会貢献を果たしているSC活動の事例を解説する。グループ発表に役立てるように、指導する。	【予習：2時間】 「アイデアの作り方」について各自考えてくる。 【復習：2時間】 「アイデアの作り方」の理論に基づきグループ発表のテーマを検討する
9	廣津 吉田 鈴木 山田 島崎	[授業内容] グループ発表のために、グループごとにスポーツ データ分析のテーマを決め、発表の準備を行う。	グループごとに役割を決めて文献収集、データ収集、データ集計・分析、発表スライドの作成、発表方法の検討を行う。	【復習：8時間】 グループ発表の準備（文献収集、データ収集、データ集計・分析、発表スライドの作成、発表方法の検討）を行う。
10	廣津 吉田 鈴木 山田 島崎	[授業内容] グループごとに発表の準備を行う。	グループごとにデータ収集、データ集計・分析、発表スライドの作成、発表の練習を行う。	【復習：4時間】 グループ発表の準備（データ収集、データ集計・分析、発表スライドの作成、発表方法の練習）を行う。
11	廣津 吉田 鈴木 山田 島崎	[授業内容] グループ発表を行う。	発表者はSCを実践できるよう心掛ける。聴講者は1新規性、2有用性、3信頼性、4科学コミュニケーションの得点を評価シートに記入し、発表後に質問やコメントができるように準備する。魅力的に伝えている発表の共通点を考えながら聴く。	【復習：4時間】 他グループの発表の評価や、自グループの改善について検討する。






\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	【新カリ】体カトレーニング論 [前半]	授業形態	講義		
英語科目名	【新カリ】体カトレーニング論 [前半]	対象学年	2年		
開講学期	2022年度後期	単位数	2単位		
代表教員	青木 和浩	ナンバリング	TRS2207		
担当教員	青木 和浩、鯉川 なつえ、坂本 彰宏、尾高 邦生、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	本科目は、講義の授業形態で行われる。スポーツ健康科学の領域において、科学的に検証をされていない指導や、専門的知識を持たない者からの指導が頻繁に行われており、健康・体力・スポーツ競技力向上の妨げとなっているケースがある。体力向上の基本的概念や意味、トレーニング場面に関係する体の構造や機能を学び、トレーニング法の原理・原則や実施法について学ぶ。また、年齢や障害の有無、性差など個人の特性や異なる環境でのトレーニングについても理解を深め、様々なトレーニング用例を実施・指導できる知識を身に付ける。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. トレーニングに関わる基礎理論や最新の科学的理論が理解できる。</li> <li>2. トレーニングやフィジカルコンディショニングを安全かつ適切に実施できる。</li> <li>3. 骨格筋の特色やトレーニング刺激による適応のメカニズムを理解できる。</li> <li>4. 既存のトレーニング実施法を客観的に評価でき、誤りを修正して新たな実施法を考案できる。</li> <li>5. 年齢・性別・障害の有無に応じて適したトレーニング・コンディショニング指導ができる。</li> </ol>				
授業の位置づけ	この科目は、分野科目群・スポーツ科学分野科目の必修科目である。また、JSPO公認スポーツ指導者養成講習会免除適応コース（共通科目Ⅲ）、ジュニアスポーツ指導員）、健康運動指導士認定試験受験資格取得、JPSUスポーツトレーナー資格取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は、「スポーツ科学分野の専門的な知識と技能」及び「スポーツ科学分野の専門的な実践力」という学位授与方針の達成に寄与する。				
履修上の注意、履修要件	<p>【履修要件】 機能解剖学、スポーツ外傷・障害学、生理学の授業を参考にしながら受講すること。</p> <p>【履修上の注意（科目独自のルール）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 如何なる理由でも、授業の総出席が2/3を満たさない場合は単位を与えない。</li> <li>2. レポート提出は、指定された期日・時間を厳守し、1号館5階、青木研究室(1509室)に提出すること。</li> </ol>				
成績評価の方法					
評価方法	課題レポート(20%)、小テスト(20%)、筆記試験1回(60%)を総合して評価する。				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. トレーニングやストレッチに関わる原理・原則を理解することが出来る（筆記試験）。</li> <li>2. マシントレーニング・フリーウェイトトレーニング・プライオメトリックトレーニングの特色を理解し、利点・欠点について述べる事が出来る（筆記試験）。</li> <li>3. トレーニング時の筋の収縮様式や関節のアクションについて医科学的専門用語を用いて述べる事が出来る（小テスト）。</li> <li>4. 骨格筋の特性や適応について理解を示す事が出来る（筆記試験）。</li> <li>5. 年齢・性別・障害の有無に応じて配慮すべきトレーニングスポーツ指導、および水中での物理的特性や生理的応答について理解を示す事が出来る（レポート、筆記試験）。</li> </ol>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
筆記試験と課題レポートに対する模範解答を希望する場合、または授業内容に対する理解が不明確な場合は、担当の先生に自ら質問に伺うこと（アクティブラーニング）。また、授業内で適時積極的に質問をし、その場でフィードバックを得る姿勢を取ること。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
授業当日にスライド資料を配布する。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】 担当：青木 和浩 E-mail：k-aoki[at]juntendo.ac.jp ※[at]を@に変更してください。</p> <p>【オフィスアワー】 日時：水曜日12:20から13:10 場所：1号館5階1509室 上記の時間帯には、予約なしに質問や相談に応じますが、他の学生からの訪問に対応している可能性がある為、出来るだけ事前にE-mailで予約をしてください。</p>				
担当教員の実務経歴					

備考	<p>【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業時間30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。</p>
	<p>【その他】 中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための選択科目 科目：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（中学校及び高等学校 保健体育） 施行規則に定める科目区分又は事項等：体育 この授業科目は、以下の資格取得の要件となっています。 JSP0（日本スポーツ協会）公認スポーツ指導者資格 共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ JSP0（日本スポーツ協会）ジュニアスポーツ指導員 健康・体づくり財団 健康運動指導士 JPSU（全国体育スポーツ系大学協議会）スポーツトレーナー</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画等の変更をお願いする可能性がある。</p>

授業計画

授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	青木 坂本	テーマ： ガイダンス 当該科目における授業の進め方や成績評価方法について学ぶ。	授業の概要と注意 点、評価ポイント について口頭説明 する。	(予習：2時間) 授業形態・内容・成績評価法についてシラバス を熟読する。 (復習：2時間) 授業形態・成績評価法・注意事項について理解 を深める。
2	坂本	テーマ： レジスタンストレーニング 関節アクション、骨格筋の特性、マシンウェイトの特性（定滑車・動 滑車）、フリーウェイトの特性（トルクの計算）を学び、器具を正し く扱う知識を得る。	スライドと配布資 料を用いる。体を 動かしながら関節 アクションを覚え る。	(予習：2時間) 基礎的な筋肉・関節の名前が理解できるように しておく。三角関数（ $\sin\theta$ 、 $\cos\theta$ 、 $\tan\theta$ ） が理解できるようにしておく。 (復習：2時間) マシンウェイトとフリーウェイトの利点・欠 点、器具の正しい扱い方、筋の収縮様式と関節 アクションを覚える。
3	坂本	テーマ： 骨格筋の構造と収縮メカニズム 骨格筋の構造、収縮メカニズム、特性を学ぶ。	スライドと配布資 料を用いる。	(予習：2時間) 筋線維、筋原線維、サルコメア、ミオシン、ア クチンを調べておく。 (復習：2時間) 筋の収縮メカニズム、筋細胞内の組織名や機能 について理解を深める。
4	坂本	テーマ： 筋肉痛の発生メカニズムと対処 遅発性筋肉痛の発生メカニズムや予防・対処法の効果について学ぶ。	スライドと配布資 料を用いる。	(予習：2時間) 筋の収縮メカニズムや筋細胞内の組織名を理解 しておく。 (復習：2時間) 筋肉痛の原因や対処について正しい理解を深め る。
5	坂本	テーマ： プライオメトリクス Stretch-shortening Cycle (SSC) の効果やメカニズムについて学び、 プライオメトリックトレーニングの意義や正しい実施方法を習得す る。	スライドと配布資 料を用いる。	(予習：2時間) パワーの定義とスピード系トレーニングの重要 性を調べておく。 (復習：2時間) SSC効果を最大に引き出す方法を覚える。
6	青木	テーマ： トレーニングの原理・原則 トレーニングへの適応が起きる原理や原則について学ぶ。	スライドと配布資 料を用いる。	(予習：2時間) オーバーロードの原則について調べておく。 (復習：2時間) オーバーロードの原則、トレーニングの原則、 トレーニングの分類について整理する。
7	青木	テーマ： トレーニングの方法・期分け トレーニングの方法、トレーニングのプログラムのデザイン、ピリオ ダイゼーション、トレーニング理論について理解を深め、コーチング に結び付けるための各種トレーニングの実践方法について学ぶ。	スライドと配布資 料を用いる。	(予習：2時間) 「ピリオダイゼーション」とは何か調べてお く。 (復習：2時間) ピリオダイゼーショントレーニング、テーパ リング期、ピーキングについて整理する。
8	青木	テーマ： ストレッチング ストレッチングの効果と実施上の留意点を理解する。	スライドと配布資 料を用いる。	(予習：2時間) 各自の目標とするトレーニングを準備してお く。 (復習：2時間) 計画と実践で生じる様々な問題点を整理する。




\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	【新カリ】体カトレーニング論 [後半]			授業形態	講義
英語科目名	【新カリ】体カトレーニング論 [後半]			対象学年	2年
開講学期	2022年度後期			単位数	2単位
代表教員	青木 和浩			ナンバリング	TRS2207
担当教員	青木 和浩、鯉川 なつえ、坂本 彰宏、尾高 邦生、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	<p>本科目は、講義の授業形態で行われる。スポーツ健康科学の領域において、科学的に検証をされていない指導や、専門的知識を持たない者からの指導が頻繁に行われており、健康・体力・スポーツ競技力向上の妨げとなっているケースがある。体力向上の基本的概念や意味、トレーニング場面に関係する体の構造や機能を学び、トレーニング法の原理・原則や実施法について学ぶ。また、年齢や障害の有無、性差など個人の特性や異なる環境でのトレーニングについても理解を深め、様々なトレーニング用例を実施・指導できる知識を身に付ける。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. トレーニングに関わる基礎理論や最新の科学的理論が理解できる。</li> <li>2. トレーニングやフィジカルコンディショニングを安全かつ適切に実施できる。</li> <li>3. 骨格筋の特色やトレーニング刺激による適応のメカニズムを理解できる。</li> <li>4. 既存のトレーニング実施法を客観的に評価でき、誤りを修正して新たな実施法を考案できる。</li> <li>5. 年齢・性別・障害の有無に応じて適したトレーニング・コンディショニング指導ができる。</li> </ol>				
授業の位置づけ	この科目は、分野科目群・スポーツ科学分野科目の必修科目である。また、JSPO公認スポーツ指導者養成講習会免除適応コース（共通科目Ⅲ）、ジュニアスポーツ指導員）、健康運動指導士認定試験受験資格取得、JPSUスポーツトレーナー資格取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は、「スポーツ科学分野の専門的な知識と技能」及び「スポーツ科学分野の専門的な実践力」という学位授与方針の達成に寄与する。				
履修上の注意、履修要件	<p>【履修要件】 機能解剖学、スポーツ外傷・障害学、生理学の授業を参考にしながら受講すること。</p> <p>【履修上の注意（科目独自のルール）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 如何なる理由でも、授業の総出席が2/3を満たさない場合は単位を与えない。</li> <li>2. レポート提出は、指定された期日・時間を厳守し、1号館5階、青木研究室(1509室)に提出すること。</li> </ol>				
成績評価の方法					
評価方法	課題レポート(20%)、小テスト(20%)、筆記試験1回(60%)を総合して評価する。				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. トレーニングやストレッチに関わる原理・原則を理解することが出来る（筆記試験）。</li> <li>2. マシントレーニング・フリーウェイトトレーニング・プライオメトリックトレーニングの特色を理解し、利点・欠点について述べる事が出来る（筆記試験）。</li> <li>3. トレーニング時の筋の収縮様式や関節のアクションについて医科学的専門用語を用いて述べる事が出来る（小テスト）。</li> <li>4. 骨格筋の特性や適応について理解を示す事が出来る（筆記試験）。</li> <li>5. 年齢・性別・障害の有無に応じて配慮すべきトレーニングスポーツ指導、および水中での物理的特性や生理的応答について理解を示す事が出来る（レポート、筆記試験）。</li> </ol>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
筆記試験と課題レポートに対する模範解答を希望する場合、または授業内容に対する理解が不明確な場合は、担当の先生に自ら質問に伺うこと（アクティブラーニング）。また、授業内で適時積極的に質問をし、その場でフィードバックを得る姿勢を取ること。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
授業当日にスライド資料を配布する。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】 担当：青木 和浩 E-mail：k-aoki[at]juntendo.ac.jp ※[at]を@に変更してください。</p> <p>【オフィスアワー】 日時：水曜日12:20から13:10 場所：1号館5階1509室 上記の時間帯には、予約なしに質問や相談に応じますが、他の学生からの訪問に対応している可能性がある為、出来るだけ事前にE-mailで予約をしてください。</p>				
担当教員の実務経歴					

備考	<p>【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業時間30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。</p>
	<p>【その他】 中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための選択科目 科目：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（中学校及び高等学校 保健体育） 施行規則に定める科目区分又は事項等：体育 この授業科目は、以下の資格取得の要件となっています。 JSP0（日本スポーツ協会）公認スポーツ指導者資格 共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ JSP0（日本スポーツ協会）ジュニアスポーツ指導員 健康・体づくり財団 健康運動指導士 JPSU（全国体育スポーツ系大学協議会）スポーツトレーナー</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画等の変更をお願いする可能性がある。</p>

授業計画

授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	青木 坂本	テーマ： ガイダンス 当該科目における授業の進め方や成績評価方法について学ぶ。	授業の概要と注意 点、評価ポイント について口頭説明 する。	(予習：2時間) 授業形態・内容・成績評価法についてシラバス を熟読する。 (復習：2時間) 授業形態・成績評価法・注意事項について理解 を深める。
2	坂本	テーマ： レジスタンストレーニング 関節アクション、骨格筋の特性、マシンウェイトの特性（定滑車・動 滑車）、フリーウェイトの特性（トルクの計算）を学び、器具を正し く扱う知識を得る。	スライドと配布資料 を用いる。体を 動かしながら関節 アクションを覚え る。	(予習：2時間) 基礎的な筋肉・関節の名前が理解できるように しておく。三角関数（ $\sin\theta$ 、 $\cos\theta$ 、 $\tan\theta$ ） が理解できるようにしておく。 (復習：2時間) マシンウェイトとフリーウェイトの利点・欠 点、器具の正しい扱い方、筋の収縮様式と関節 アクションを覚える。
3	坂本	テーマ： 骨格筋の構造と収縮メカニズム 骨格筋の構造、収縮メカニズム、特性を学ぶ。	スライドと配布資料 を用いる。	(予習：2時間) 筋線維、筋原線維、サルコメア、ミオシン、ア クチンを調べておく。 (復習：2時間) 筋の収縮メカニズム、筋細胞内の組織名や機能 について理解を深める。
4	坂本	テーマ： 筋肉痛の発生メカニズムと対処 遅発性筋肉痛の発生メカニズムや予防・対処法の効果について学ぶ。	スライドと配布資料 を用いる。	(予習：2時間) 筋の収縮メカニズムや筋細胞内の組織名を理解 しておく。 (復習：2時間) 筋肉痛の原因や対処について正しい理解を深め る。
5	坂本	テーマ： プライオメトリクス Stretch-shortening Cycle (SSC) の効果やメカニズムについて学び、 プライオメトリックトレーニングの意義や正しい実施方法を習得す る。	スライドと配布資料 を用いる。	(予習：2時間) パワーの定義とスピード系トレーニングの重要 性を調べておく。 (復習：2時間) SSC効果を最大に引き出す方法を覚える。
6	青木	テーマ： トレーニングの原理・原則 トレーニングへの適応が起きる原理や原則について学ぶ。	スライドと配布資料 を用いる。	(予習：2時間) オーバーロードの原則について調べておく。 (復習：2時間) オーバーロードの原則、トレーニングの原則、 トレーニングの分類について整理する。
7	青木	テーマ： トレーニングの方法・期分け トレーニングの方法、トレーニングのプログラムのデザイン、ピリオ ダイゼーション、トレーニング理論について理解を深め、コーチング に結び付けるための各種トレーニングの実践方法について学ぶ。	スライドと配布資料 を用いる。	(予習：2時間) 「ピリオダイゼーション」とは何か調べてお く。 (復習：2時間) ピリオダイゼーショントレーニング、テーパ リング期、ピーキングについて整理する。
8	青木	テーマ： ストレッチング ストレッチングの効果と実施上の留意点を理解する。	スライドと配布資料 を用いる。	(予習：2時間) 各自の目標とするトレーニングを準備してお く。 (復習：2時間) 計画と実践で生じる様々な問題点を整理する。






\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	【新カリ】発育発達と加齢の科学			授業形態	講義
英語科目名	【新カリ】発育発達と加齢の科学			対象学年	2年
開講学期	2022年度後期			単位数	2単位
代表教員	鈴木 宏哉			ナンバリング	PGD2211
担当教員	鈴木 宏哉、福 典之、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	本科目は、講義の授業形態で行われる。本授業では、ヒトの発育発達や加齢・老化と関連する遺伝的要因と環境的要因について総合的に学び、学童期、思春期における子供の発育発達や成人期、中・高齢期における健康問題（生活習慣病、がん、メタボリックシンドローム、サルコペニア、体力など）と身体活動・運動・スポーツや栄養との関わりについて学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 発育発達途上にある子どもの身体的・精神的疾患、問題及びその対処法について説明できる。</li> <li>2. 子どもの体力・運動能力、運動習慣の実態、それらを規定する要因について説明することができる。</li> <li>3. 医学的視点と体力学及び運動発達の視点を踏まえた子どもにおける身体教育の在り方について説明できる。</li> <li>4. 老化によって起こる生理的な変化とそれに対する運動の役割について説明することができる。</li> <li>5. 老化のメカニズムと疾患の関連とそれらに影響を及ぼす運動の役割について説明することができる。</li> </ol>				
授業の位置づけ	この科目は、分野科目群・スポーツ科学分野科目の選択科目である。また、JSP0公認スポーツ指導者養成講習会免除適応コース（ジュニアスポーツ指導員）、健康運動指導士認定試験受験資格取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	本講義では、発育発達途上にある新生児期・乳幼児期・学童期・思春期における子どもに関する医学的知識を備えたスポーツ指導者の育成を目指す。その上で、子どもの発育発達に関するスポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養は必要不可欠であり、その習得を目指す。老化に関連した疾患の発症メカニズムを習得し、スポーツや運動によって老化に伴って増加する疾患をどのようにして予防できるかについての知識を深める。				
履修上の注意、履修要件	<b>【履修要件】</b> 特になし。 <b>【履修上の注意（科目独自のルール）】</b> 特になし。				
成績評価の方法					
評価方法	定期試験（80%）、課題レポート（20%）により評価する。なお、授業態度・取り組み姿勢が悪いと判断した場合、減点の対象とする。				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの身体的・精神的疾患、問題及びその対処法について説明できる。（定期試験）</li> <li>・子どもの体力・運動能力、運動習慣の実態、それらを規定する要因について説明できる。（定期試験）</li> <li>・老化のメカニズムの概略とそれに対する運動の影響を正しく理解し、説明できるか。（定期試験）</li> <li>・老化と関与する疾患ならびにそれらに影響を及ぼす運動の役割について理解し、説明できるか。（定期試験）</li> </ul>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
レポート課題に対しては提出された後の授業の中で解説を行う。また定期試験の模範解答はJ-PASS上で示す。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
『老年医学テキスト』 日本老年医学会編（メディカルビュー社） 『老化のバイオサイエンス』 香川靖雄著（羊土社） その他、プリントを授業の時に配布する。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<b>【連絡先】</b> 担当：鈴木 E-mail：ko-suzuki@juntendo.ac.jp <b>【オフィスアワー】</b> 日時：月曜日 10：30～12時 場所：スポーツ健康医科学研究所3階9303室				
担当教員の実務経験	この科目の一部の授業回では、医療現場において医師として診療活動の経験を有している教員が、その経験を活かしながら、実践的な知識、技術を用いて講義内容を展開する。				
備考	<b>【学修時間】</b> この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学修60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。 <b>【その他】</b> この授業科目は、社会体育指導者に関する科目として位置付けられています。 本授業は、「社会体育指導者に関する科目」のうち「健康運動指導士」の資格取得に関する科目である。 この授業科目は、以下の資格取得の要件となっています。 JSP0（日本スポーツ協会）ジュニアスポーツ指導員 健康・体力づくり財団 健康運動指導士  なお、新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。				
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間	

1	鈴木 福	ガイダンス、発育、発達、加齢、老化の定義	授業中に配布するプリントに沿って講義を進める。	(予習: 3時間) J-PASS上の当該資料を予め読み、子どものスポーツ指導における疑問を列挙し、今日的問題についても調べておく。 (復習: 1時間) 授業資料にある授業計画を再度読み、授業全体のイメージをつかむ。
2	鈴木	発育発達期のからだ	授業中に配布するプリントに沿って講義を進める。	(予習: 3時間) J-PASS上の当該資料を予め読み、関連する時事問題を調べておく。 (復習: 3時間) 形態・機能の発育発達の違いを整理する。
3	鈴木	発育発達・加齢による体力の変化と運動	授業中に配布するプリントに沿って講義を進める。	(予習: 2時間) J-PASS上の当該資料を予め読み、関連する時事問題を調べておく。 (復習: 2時間) 子どもの頃の体力・運動能力向上の在り方について整理する。
4	稀代 鈴木	発育発達と循環器系(運動との関わりを含む)	授業中に配布するプリントに沿って講義を進める。	(予習: 2時間) 子どもの心臓に関する時事問題を調べておく。 (復習: 2時間) 心臓疾患と運動について整理する。
5	稀代 鈴木	発育発達と内分泌系(運動との関わりを含む)	授業中に配布するプリントに沿って講義を進める。	(予習: 2時間) J-PASS上の当該資料を予め読み、関連する時事問題を調べておく。 (復習: 2時間) 内分泌疾患と運動について整理する。
6	稀代 鈴木	周産期環境と発育発達	授業中に配布するプリントに沿って講義を進める。	(予習: 3時間) J-PASS上の当該資料を予め読み、関連する時事問題を調べておく。 (復習: 3時間) 子どもの頃の環境と運動の関係について整理する。
7	鈴木	子どもの運動とその役割	授業中に配布するプリントに沿って講義を進める。	(予習: 2時間) J-PASS上の当該資料を予め読み、関連する時事問題を調べておく。 (復習: 2時間) 子どもの成長に対する運動・スポーツの価値について整理する。
8	安部 福	老化と寿命のしくみ	授業中に配布するプリントに沿って講義を進める。	(予習: 3時間) 該当項目について予め調べておく。 (復習: 1時間) 配付資料や図書館の資料を元に授業内容をまとめ、理解を深める。
9	安部 福	老化に伴う変化と疾病(1)(メタボリックシンドローム、生活習慣病、がんを含む)	授業中に配布するプリントに沿って講義を進める。	(予習: 3時間) 該当項目について予め調べる。 (復習: 1時間) 配付資料や図書館の資料を元に授業内容をまとめ、理解を深める。
10	安部 福	老化に伴う変化と疾病(2)(メタボリックシンドローム、生活習慣病、がんを含む)	授業中に配布するプリントに沿って講義を進める。	(予習: 3時間) 該当項目について予め調べる。 (復習: 1時間) 配付資料や図書館の資料を元に授業内容をまとめ、理解を深める。
11	福	骨格系の老化と運動	授業中に配布するプリントに沿って講義を進める。	(予習: 3時間) 該当項目について予め調べる。 (復習: 1時間) 配付資料や図書館の資料を元に授業内容をまとめ、理解を深める。
12	福	老化に伴う疾病と運動(循環器系との関わりを含む)	授業中に配布するプリントに沿って講義を進める。	(予習: 3時間) 該当項目について予め調べる。 (復習: 1時間) 配付資料や図書館の資料を元に授業内容をまとめ、理解を深める。
13	福	体力・老化関連遺伝子と運動	授業中に配布するプリントに沿って講義を進める。	(予習: 3時間) 該当項目について予め調べる。 (復習: 1時間) 配付資料や図書館の資料を元に授業内容をまとめ、理解を深める。



科目名	【新カリ】スポーツバイオメカニクス	授業形態	講義		
英語科目名	【新カリ】スポーツバイオメカニクス	対象学年	2年		
開講学期	2022年度後期	単位数	2単位		
代表教員	柳谷 登志雄	ナンバリング	BMC2212		
担当教員	柳谷 登志雄、野呂 啓晃、武田 剛、宮本 直和、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	<p>【授業全体の内容】</p> <p>本科目は、講義の授業形態で行われる。バイオメカニクスとは、Bio（生体）とMechanics（力学）を組み合わせた学問であり、身体動作を生理学的や解剖学、そして力学の理論を用いて分析・評価する。スポーツに関する映像などを題材として、科学的な手法により強さや巧さの秘密・巧くできない原因などを理解する。スポーツの動作分析等に必要バイオメカニクス分野の考え方や分析方法についての知識を身に付けることを目標とする。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. スポーツ動作の上達や熟練者・未熟練者の相違について、スポーツ医科学分野の用語を使って説明できる。</li> <li>2. スポーツ科学研究を行う上での視点や基礎知識を習得し、課題を解決するための方策を立案できる。</li> </ol>				
授業の位置づけ	この科目は、分野科目群・スポーツ科学分野科目の選択科目である。また、JSP0公認スポーツ指導者養成講習会免除適応コース（AT）、健康運動指導士認定試験受験資格取得、JPSUスポーツトレーナー資格取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は、「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養、及びそれらの活用能力」、「協働で課題を解決するために必要なコミュニケーション能力」、「スポーツ医科学を中心としたスポーツ科学についての知識と技能」、および「スポーツ医科学の知識に基づき、現場で指導できる能力ないしは研究できる能力」という学位授与方針の達成に寄与する。				
履修上の注意、履修要件	<p>【履修要件】</p> <p>運動生理学や生理学とった基礎科目を既に学習していることが望ましい。</p> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】</p> <p>課題レポートおよび小テストの模範解答については、講義形式で解説を行う。</p> <p>【テキスト・参考書等】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. バイオメカニクス 20講／阿江通良・藤井範久著、朝倉書店</li> <li>2. スポーツバイオメカニクス 身体運動の科学的基礎／金子公宥・福永哲夫、杏林書院</li> </ol> <p>上記2点は参考書であり、レポート作成の際に参考となる。その他、授業中に適宜、資料を配布する。</p>				
成績評価の方法					
評価方法	<p>【成績評価の基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. スポーツバイオメカニクス分野における用語の意味を理解し、知識を整理できている（課題レポート）。</li> <li>2. スポーツ科学における法則性について論理的に正しく説明できる（小テスト2回）。</li> <li>3. 授業中の発言や、グループワーク等において積極的に取り組んでいる（平常点）。</li> </ol> <p>【成績評価の方法】</p> <p>課題レポート（50%）、小テスト（40%）、平常点（10%）</p>				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. スポーツバイオメカニクス分野における用語の意味を理解し、知識を整理できている（課題レポート）。</li> <li>2. スポーツ科学における法則性について論理的に正しく説明できる（小テスト2回）。</li> <li>3. 授業中の発言や、グループワーク等において積極的に取り組んでいる（平常点）。</li> </ol>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
授業内およびgoogle classroom において添削やコメントを行う					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】</p> <p>担当：柳谷登志雄 E-mail：tyanagi@juntendo.ac.jp</p> <p>【オフィスアワー】</p> <p>日時：授業直後および月～木曜日の昼休み 場所：1号館5階1513室</p>				
担当教員の実務経験					
備考	<p>【学修時間】</p> <p>この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】</p> <p>この授業科目は、以下の資格取得の要件となっています。</p> <p>JSP0（日本スポーツ協会）AT（アスレチックトレーナー） 健康・体力づくり財団 健康運動指導士 JPSU（全国体育スポーツ系大学協議会）スポーツトレーナー</p>				
授業計画					

授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	柳谷登志雄	[授業内容] ガイダンス：単位取得上の諸注意、授業展開の概要を述べるとともに、スポーツバイオメカニクスに関する知識を深めることがスポーツ科学の学習と実践においてどのような意義を有しているかを説明し、今後の講義に対する動機づけを行う。	[授業方法] スライドと配布資料を用いて講義を行う	(予習：2時間) 配布資料を熟読しておく。これまでに履修した機能解剖学や運動生理学などのテキストや資料に目を通す。 (復習：2時間) 配布資料を熟読する。
2	柳谷登志雄・野呂啓晃	[授業内容] 並進運動①(基礎)：並進運動のキネマティクス(運動学)について、距離と変位の違い、速度と速さ(スピード)の違い、投射運動などを中心に説明する。	[授業方法] スライドと配布資料を用いて講義を行う	(予習：2時間) 事前に配布された資料を熟読し、出てくる専門用語等をよく調べておく。 (復習：2時間) 配布資料および授業で学んだ内容に基づき、課題レポートを作成する。また、小テストのための準備をしておく。
3	柳谷登志雄・野呂啓晃	[授業内容] 並進運動②(基礎)：並進運動のキネティクス(運動力学)について、運動の3法則(ニュートンの法則)などを中心に説明する。	[授業方法] スライドと配布資料を用いて講義を行う	(予習：2時間) 事前に配布された資料を熟読し、出てくる専門用語等をよく調べておく。 (復習：2時間) 配布資料および授業で学んだ内容に基づき、課題レポートを作成する。また、小テストのための準備をしておく。
4	柳谷登志雄・野呂啓晃	[授業内容] 回転運動①(基礎)：回転運動のキネマティクス(運動学)について、慣性モーメントや角速度などを中心に説明する。	[授業方法] スライドと配布資料を用いて講義を行う	(予習：2時間) 事前に配布された資料を熟読し、出てくる専門用語等をよく調べておく。 (復習：2時間) 配布資料および授業で学んだ内容に基づき、課題レポートを作成する。また、小テストのための準備をしておく。
5	柳谷登志雄・野呂啓晃	[授業内容] 回転運動②(基礎)：回転運動のキネティクス(運動力学)について、トルクなどを中心に説明する。	[授業方法] スライドと配布資料を用いて講義を行う	(予習：2時間) 事前に配布された資料を熟読し、出てくる専門用語等をよく調べておく。 (復習：2時間) 配布資料および授業で学んだ内容に基づき、課題レポートを作成する。また、小テストのための準備をしておく。
6	柳谷登志雄・野呂啓晃	[授業内容] 骨格筋メカニクス：骨格筋が有する力学的特性について、長さ-力関係、力-速度関係などを中心に説明する。	[授業方法] スライドと配布資料を用いて講義を行う	(予習：2時間) 事前に配布された資料を熟読し、出てくる専門用語等をよく調べておく。 (復習：2時間) 配布資料および授業で学んだ内容に基づき、課題レポートを作成する。また、小テストのための準備をしておく。
7	柳谷登志雄・野呂啓晃	[授業内容] 弾性体：骨格筋や腱組織など弾性体の力学的特性、硬さの定義および評価法などについて説明する。	[授業方法] スライドと配布資料を用いて講義を行う	(予習：2時間) 事前に配布された資料を熟読し、出てくる専門用語等をよく調べておく。 (復習：2時間) 配布資料および授業で学んだ内容に基づき、課題レポートを作成する。また、小テストのための準備をしておく。
8	柳谷登志雄・野呂啓晃	[授業内容] 回転運動と並進運動、キネマティクスとキネティクス、骨格筋メカニクス、弾性体についての理解度および到達度確認のため小テストを実施し、解説を行う。 [	[授業方法] スライドと配布資料を用いて講義を行う	(予習：4時間) 第2～7回に配布された資料を改めて熟読し、小テストのための準備をする。 (復習：2時間) 小テストで正解しなかった箇所や不明であった箇所などについて、参考書などでよく調べ理解し、説明できるようにしておく。
9	柳谷登志雄・野呂啓晃	[授業内容] 力学的エネルギー：運動における力学的エネルギーについて、位置エネルギーや運動エネルギーなどを中心に説明する。	[授業方法] スライドと配布資料を用いて講義を行う	(予習：2時間) 事前に配布された資料を熟読し、出てくる専門用語等をよく調べておく。 (復習：2時間) 配布資料および授業で学んだ内容に基づき、課題レポートを作成する。また、小テストのための準備をしておく。
10	柳谷登志雄・野呂啓晃	[授業内容] 動作解析：2次元動作解析と3次元動作解析などを中心に説明する。	[授業方法] スライドと配布資料を用いて講義を行う	(予習：2時間) 事前に配布された資料を熟読し、出てくる専門用語等をよく調べておく。 (復習：2時間) 配布資料および授業で学んだ内容に基づき、課題レポートを作成する。また、小テストのための準備をしておく。
11	柳谷登志雄・野呂啓晃	[授業内容] ランニングのバイオメカニクス：より高いランニングパフォーマンスを生み出すためのバイオメカニクスの知見の紹介および説明を行う。	[授業方法] スライドと配布資料を用いて講義を行う	(予習：2時間) 事前に配布された資料を熟読し、出てくる専門用語等をよく調べておく。 (復習：2時間) 配布資料および授業で学んだ内容に基づき、課題レポートを作成する。また、小テストのための準備をしておく。



---

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）



科目名	【新カリ】保健体育科教育法Ⅲ [前半]	授業形態	講義	
英語科目名	【新カリ】保健体育科教育法Ⅲ [前半]	対象学年	2年	
開講学期	2022年度後期	単位数	2単位	
代表教員	長登 健	ナンバリング	PHE2215	
担当教員	長登 健、荻原 朋子、長岡 知、スポーツ健康科学部教員共通			
授業概要				
全体内容	<b>【授業全体の内容】</b> この授業では、保健体育授業の計画、実践、ふり返りという一連の流れを模擬授業形式で実践的に経験することを通して、授業づくりや授業運営に必要な視点（授業の構成要素）を理解する。また、実習を通して授業を観察、分析する方法を体験し、反省的な授業実践の意義を検討する。保健体育科の学習指導における生徒教師のよりよい関係を目指して、学習指導案の作成と模擬授業の実践を通して、学習場面での具体的な指導方法について検討する。			
到達目標	1. 保健、体育授業の実施計画について理解をより深め、単元計画や学習指導案の作成ができる。 2. 保健、体育授業の教材づくりの視点を持って学習指導案の作成ができる。 3. 組織的観察法についての理解を深め、より良い保健、体育授業の創出のための学習指導について考えることができる。			
授業の位置づけ	この科目は、分野科目群・スポーツ科学分野科目の選択科目である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	保健体育科教育法Ⅰ、Ⅱの学修を踏まえ、保健体育科の学習指導の基本的な考え方について理解を深め、実践につなげるのできる力を身に付ける。 模擬授業の実践を通して保健体育科教師に必要な専門的知識やより高度な実践的指導力を身につけることが必要である。 この科目は、「課題解決能力」という学位授与方針の達成に寄与する。			
履修上の注意、履修要件	<b>【履修要件】</b> 本授業は、保健体育科教育法Ⅰ、Ⅱの授業を履修した学生のみ受講できる。教員を志している学生により多くの模擬授業の機会を与え、実践できる場を提供したい。			
成績評価の方法				
評価方法	<b>【成績評価の方法】</b> 授業に取り組む姿勢等50%、課題提出50%にて評価する。なお、授業に取り組む姿勢が授業進行上、不適切であると判断した場合には、減点の対象とするので注意すること。			
評価基準	<b>【成績評価の基準】</b> 1. 保健、体育授業の計画の立て方について理解できているか、課題提出で評価する。（課題、平常点） 2. 模擬授業のための単元計画と学習指導案作成ができているか、課題提出で評価する。（課題、平常点） 3. 学習場面における具体的な方法を検討し、実践につなげることができたか、模擬授業後のリフレクションシートの提出で評価する。（課題、平常点）			
試験・課題に対するフィードバック方法				
<b>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】</b> 授業にて返却し、模範解答や評価のポイントについて解説する。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
中学校学習指導要領解説 保健体育編	文部科学省	東山書房	9784827815603	
高等学校学習指導要領解説 保健体育編・体育編	文部科学省	東山書房	978482781568	
参考文献				
<b>【テキスト・参考書等】</b> 1. 中学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省） 2. 高等学校学習指導要領（平成30年3月告示 文部科学省） 3. 評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料（教育課程研究センター） 4. 保健科教育法入門（日本保健科教育学会編 大修館書店） 5. 中学、高校時代に使用した「保健体育」教科書（各自準備） 6. 体育科教育入門三訂版（岡出美則・友添秀則・岩田靖編著、大修館書店） 1~6は参考書であり、指導案の作成等に参考になる。その他、適宜、資料を配布する。				
その他				
連絡先・オフィスアワー	<b>【連絡先】</b> 長登：Email: tngato@juntendo.ac.jp 長岡：Email: tm-nagaoka@juntendo.ac.jp 荻原：Email: togiwara@juntendo.ac.jp <b>【オフィスアワー】</b> 長登：火曜日 12:50～14:30 1号館5階1519号室 長岡：火曜日 12:50～14:30 1号館4階1416号室 荻原：木曜日 11:00～13:00 1号館5階1517号室 上記時間帯には予約なしに質問や相談に応じますが、他の学生との重複を避けるため、可能な限り前日までにメールでアポイントを取ってください。質問や相談はアポイントを取っている学生を優先します。			
担当教員の実務経験	<b>【実務経験のある教員による授業】</b> この科目では、学校現場における教員経験、教育行政機関での勤務経験のある者が、その経験を活かし、実践的教育力を育むための指導を行います。			

備考				
<p>【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】 中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校 保健体育） 施行規則に定める科目区分又は事項等：各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	長登 長岡 萩原	【授業内容】 テーマ：ガイダンス 授業目的及び概要、シラバス、評価方法等について理解する。	【授業方法】 プリントとスライドを用いて講義を進める。	(予習：1時間) 保健体育科教育法Ⅰ、Ⅱでの講義内容を復習しておく。 (復習：3時間) 学習指導要領解説を読み、保健、体育の内容及び内容の取り扱いについて理解を深めておく。
2	長登 長岡 萩原	【授業内容】 テーマ：単元計画の作成 グループで行う予定の模擬授業の単元計画を作成する。実施方法を理解し、指導案作成のための教材づくりに取り組む。	【授業方法】 グループで行う模擬授業の対象や内容を決め、単元計画を作成する。	(予習：3時間) 担当する模擬授業の単元計画を作成しておく。 (復習：2時間) グループで作成した単元計画を修正する。
3	長登 長岡 萩原	【授業内容】 テーマ：体育の指導案作成① 体育の模擬授業について、実施方法を理解し、指導案作成のための教材づくりに取り組む。	【授業方法】 1単位時間の学習指導案をグループで作成する。	(予習：3時間) 1単位時間の流れを整理後、各自が担当するパートの細案を考えておく。 (復習：2時間) 学習指導案の1時間の流れに整合性があるか確認する。
4	長登 長岡 萩原	【授業内容】 テーマ：模擬授業①陸上運動、器械運動 体育の模擬授業を実施するとともに、授業評価と組織的観察法を行う。	【授業方法】 教師役と生徒役に分かれ、模擬授業を実施する。授業後には、教材や指導方法、教師行動についてふり返りを行う。	(予習：2時間) 実施される模擬授業の指導案の内容を確認しておく。 (復習：2時間) 実施された模擬授業の学習内容、指導方法、教師行動についてふり返り、リフレクションシートに記入する。
5	長登 長岡 萩原	【授業内容】 テーマ：模擬授業①武道、ダンス 体育の模擬授業を実施するとともに、授業評価と組織的観察法を行う。	【授業方法】 教師役と生徒役に分かれ、模擬授業を実施する。授業後には、教材や指導方法、教師行動についてふり返りを行う。	(予習：2時間) 実施される模擬授業の指導案の内容を確認しておく。 (復習：2時間) 実施された模擬授業の学習内容、指導方法、教師行動についてふり返り、リフレクションシートに記入する。
6	長登 長岡 萩原	【授業内容】 テーマ：授業検討会① 各グループが実施した模擬授業について、授業評価や組織的観察法の結果をもとにふり返り、授業改善の方法を検討する。	【授業方法】 グループごとに、模擬授業の映像を見ながら、ふり返り授業の改善方法について発表する。	(予習：2時間) 実施した模擬授業について、教師行動や指導方法について、作成したリフレクションシートを読んでおく。 (復習：2時間) 各自の模擬授業をふり返り、改善点をまとめておく。
7	長登 長岡 萩原	【授業内容】 テーマ：体育の指導案作成② 体育の模擬授業について、実施方法を理解し、指導案作成のための教材づくりに取り組む。	【授業方法】 1単位時間の学習指導案を作成する。	(予習：3時間) 1単位時間の流れを整理後、各自が担当するパートの細案を考えておく。 (復習：2時間) 学習指導案の1時間の流れに整合性があるか確認する。
8	長登 長岡 萩原	【授業内容】 テーマ：模擬授業②ゴール型、ネット型 体育の模擬授業を実施するとともに、授業評価と組織的観察法を行う。	【授業方法】 教師役と生徒役に分かれ、模擬授業を実施する。授業後には、教材や指導方法、教師行動についてふり返りを行う。	(予習：2時間) 実施される模擬授業の指導案の内容を確認しておく。 (復習：2時間) 実施された模擬授業の学習内容、指導方法、教師行動についてふり返り、リフレクションシートに記入する。




\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	【新カリ】保健体育科教育法Ⅲ [後半]			授業形態	講義
英語科目名	【新カリ】保健体育科教育法Ⅲ [後半]			対象学年	2年
開講学期	2022年度後期			単位数	2単位
代表教員	長登 健			ナンバリング	PHE2215
担当教員	長登 健、荻原 朋子、長岡 知、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	<p>【授業全体の内容】</p> <p>この授業では、保健体育授業の計画、実践、ふり返りという一連の流れを模擬授業形式で実践的に経験することを通して、授業づくりや授業運営に必要な視点（授業の構成要素）を理解する。また、実習を通して授業を観察、分析する方法を体験し、反省的な授業実践の意義を検討する。保健体育科の学習指導における生徒教師のよりよい関係を目指して、学習指導案の作成と模擬授業の実践を通して、学習場面での具体的な指導方法について検討する。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保健、体育授業の実施計画について理解をより深め、単元計画や学習指導案の作成ができる。</li> <li>2. 保健、体育授業の教材づくりの視点を持って学習指導案の作成ができる。</li> <li>3. 組織的観察法についての理解を深め、より良い保健、体育授業の創出のための学習指導について考えることができる。</li> </ol>				
授業の位置づけ	この科目は、分野科目群・スポーツ科学分野科目の選択科目である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	保健体育科教育法Ⅰ、Ⅱの学修を踏まえ、保健体育科の学習指導の基本的な考え方について理解を深め、実践につなげるのできる力を身に付ける。 模擬授業の実践を通して保健体育科教師に必要な専門的知識やより高度な実践的指導力を身につけることが必要である。 この科目は、「課題解決能力」という学位授与方針の達成に寄与する。				
履修上の注意、履修要件	<p>【履修要件】</p> <p>本授業は、保健体育科教育法Ⅰ、Ⅱの授業を履修した学生のみ受講できる。教員を志している学生により多くの模擬授業の機会を与え、実践できる場を提供したい。</p>				
成績評価の方法					
評価方法	<p>【成績評価の方法】</p> <p>授業に取り組む姿勢等50%、課題提出50%にて評価する。なお、授業に取り組む姿勢が授業進行上、不適切であると判断した場合には、減点の対象とするので注意すること。</p>				
評価基準	<p>【成績評価の基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保健、体育授業の計画の立て方について理解できているか、課題提出で評価する。（課題、平常点）</li> <li>2. 模擬授業のための単元計画と学習指導案作成ができているか、課題提出で評価する。（課題、平常点）</li> <li>3. 学習場面における具体的な方法を検討し、実践につなげることができたか、模擬授業後のリフレクションシートの提出で評価する。（課題、平常点）</li> </ol>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】 授業にて返却し、模範解答や評価のポイントについて解説する。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
<p>【テキスト・参考書等】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 中学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省）</li> <li>2. 中学校学習指導要領解説 保健体育編（平成29年7月 文部科学省）</li> <li>3. 高等学校学習指導要領（平成30年3月告示 文部科学省）</li> <li>4. 高等学校学習指導要領解説 保健体育編・体育編（平成30年7月 文部科学省）</li> <li>5. 評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料（教育課程研究センター）</li> <li>6. 保健科教育法入門（日本保健科教育学会編 大修館書店）</li> <li>7. 中学、高校時代に使用した「保健体育」教科書（各自準備）</li> <li>8. 体育科教育入門三訂版（岡出美則・友添秀則・岩田靖編著、大修館書店）</li> </ol> <p>1～4は教科書として使用するので必ず用意すること。5～8は参考書であり、指導案の作成等に参考になる。その他、適宜、資料を配布する。</p>					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】</p> <p>長登：Email: ttagato@juntendo.ac.jp 長岡：Email: tm-nagaoka@juntendo.ac.jp 荻原：Email: togiwara@juntendo.ac.jp</p> <p>【オフィスアワー】</p> <p>長登：火曜日 12:50～14:30 1号館5階1519号室 長岡：火曜日 12:50～14:30 1号館4階1416号室 荻原：木曜日 11:00～13:00 1号館5階1517号室</p> <p>上記時間帯には予約なしに質問や相談に応じますが、他の学生との重複を避けるため、可能な限り前日までにメールでアポイントを取ってください。質問や相談はアポイントを取っている学生を優先します。</p>				
担当教員の実務経験	<p>【実務経験のある教員による授業】</p> <p>この科目では、学校現場における教員経験、教育行政機関での勤務経験のある者が、その経験を活かし、実践的教育力を育むための指導を行います。</p>				

備考				
<p>【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】 中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校 保健体育） 施行規則に定める科目区分又は事項等：各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。） 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	長登 長岡 萩原	【授業内容】 テーマ：ガイダンス 授業目的及び概要、シラバス、評価方法等について理解する。	【授業方法】 プリントとスライドを用いて講義を進める。	（予習：1時間） 保健体育科教育法Ⅰ、Ⅱでの講義内容を復習しておく。 （復習：3時間） 学習指導要領解説を読み、保健、体育の内容及び内容の取り扱いについて理解を深めておく。
2	長登 長岡 萩原	【授業内容】 テーマ：単元計画の作成 グループで行う予定の模擬授業の単元計画を作成する。実施方法を理解し、指導案作成のための教材づくりに取り組む。	【授業方法】 グループで行う模擬授業の対象や内容を決め、単元計画を作成する。	（予習：3時間） 担当する模擬授業の単元計画を作成しておく。 （復習：2時間） グループで作成した単元計画を修正する。
3	長登 長岡 萩原	【授業内容】 テーマ：体育の指導案作成① 体育の模擬授業について、実施方法を理解し、指導案作成のための教材づくりに取り組む。	【授業方法】 1単位時間の学習指導案をグループで作成する。	（予習：3時間） 1単位時間の流れを整理後、各自が担当するパートの細案を考えておく。 （復習：2時間） 学習指導案の一時間の流れに整合性があるか確認する。
4	長登 長岡 萩原	【授業内容】 テーマ：模擬授業①陸上運動、器械運動 体育の模擬授業を実施するとともに、授業評価と組織的観察法を行う。	【授業方法】 教師役と生徒役に分かれ、模擬授業を実施する。授業後には、教材や指導方法、教師行動についてふり返りを行う。	（予習：2時間） 実施される模擬授業の指導案の内容を確認しておく。 （復習：2時間） 実施された模擬授業の学習内容、指導方法、教師行動についてふり返り、リフレクションシートに記入する。
5	長登 長岡 萩原	【授業内容】 テーマ：模擬授業①武道、ダンス 体育の模擬授業を実施するとともに、授業評価と組織的観察法を行う。	【授業方法】 教師役と生徒役に分かれ、模擬授業を実施する。授業後には、教材や指導方法、教師行動についてふり返りを行う。	（予習：2時間） 実施される模擬授業の指導案の内容を確認しておく。 （復習：2時間） 実施された模擬授業の学習内容、指導方法、教師行動についてふり返り、リフレクションシートに記入する。
6	長登 長岡 萩原	【授業内容】 テーマ：授業検討会① 各グループが実施した模擬授業について、授業評価や組織的観察法の結果をもとにふり返り、授業改善の方法を検討する。	【授業方法】 グループごとに、模擬授業の映像を見ながら、ふり返り授業の改善方法について発表する。	（予習：2時間） 実施した模擬授業について、教師行動や指導方法について、作成したリフレクションシートを読んでおく。 （復習：2時間） 各自の模擬授業をふり返り、改善点をまとめておく。
7	長登 長岡 萩原	【授業内容】 テーマ：体育の指導案作成② 体育の模擬授業について、実施方法を理解し、指導案作成のための教材づくりに取り組む。	【授業方法】 1単位時間の学習指導案を作成する。	（予習：3時間） 1単位時間の流れを整理後、各自が担当するパートの細案を考えておく。 （復習：2時間） 学習指導案の一時間の流れに整合性があるか確認する。
8	長登 長岡 萩原	【授業内容】 テーマ：模擬授業②ゴール型、ネット型 体育の模擬授業を実施するとともに、授業評価と組織的観察法を行う。	【授業方法】 教師役と生徒役に分かれ、模擬授業を実施する。授業後には、教材や指導方法、教師行動についてふり返りを行う。	（予習：2時間） 実施される模擬授業の指導案の内容を確認しておく。 （復習：2時間） 実施された模擬授業の学習内容、指導方法、教師行動についてふり返り、リフレクションシートに記入する。







科目名	【新カリ】学校保健学 [前半]	授業形態	講義		
英語科目名	【新カリ】学校保健学 [前半]	対象学年	2年		
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位		
代表教員	中西 唯公	ナンバリング	AHS2217		
担当教員	中西 唯公、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	<p>[授業の全体的内容]</p> <p>近年の社会環境の急激な変化は、児童生徒の心身の健康に大きな影響を及ぼし、いじめや不登校、ネット依存などの心の健康問題、アレルギー疾患、生活習慣、性に関する問題など複雑・多様化しており、学校では、これらの問題に適切に対応することが求められている。この授業科目では、学校保健（学校安全含む）の意義、目的、法的な位置づけ、学校保健活動を展開するに当たっての基本的な考え方、方法等について学ぶ。</p>				
到達目標	<p>[授業の到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校保健の意義、目的、方法、関係者（管理職、養護教諭、教諭等、保護者、学校医、関係機関等）の役割及び連携の必要性を理解し説明できる。</li> <li>2. 学校保健の3領域（保健管理、保健教育、保健組織活動）の内容について理解し、学校保健計画の立案方法等について説明できる。</li> <li>3. 児童生徒の心身の健康課題の現状を理解し、解決に向けて基本的な考え方や解決方法について説明することができる。</li> <li>4. 健康安全に関する危機管理（事件・事故・災害）及び生活安全・交通安全・災害安全の領域について現状の課題を理解し、解決するための管理・教育の両面からの具体的な取組を説明することができる。</li> </ol>				
授業の位置づけ	この科目は、分野科目群・スポーツ健康・教育分野科目の必修科目である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>[授業の位置づけ（学位授与方針に定められた知識・能力等との関連）]</p> <p>この科目は、「スポーツ健康科学分野における健康支援についての専門的知識と実践的技能的習得」という学位授与方針の達成に寄与する。</p>				
履修上の注意、履修要件	<p>[履修要件]</p> <p>特になし</p> <p>[履修上の注意（科目独自のルール）]</p> <p>特になし</p>				
成績評価の方法					
評価方法	<p>[成績評価の方法]</p> <p>定期試験（60%）、課題レポート（10%）、グループワーク（20%）、平常点（10%）</p>				
評価基準	<p>[成績評価の基準]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校保健の意義、目的、方法、関係者の役割及び連携の必要性を理解し説明することができる（定期試験）</li> <li>2. 学校保健の3領域の内容について理解し、学校保健計画の立案方法等について説明することができる（グループワーク・定期試験）</li> <li>3. 児童生徒の心身の健康課題の現状を理解し、解決に向けて基本的な考え方や解決方法について説明することができる（レポート、グループワーク、定期試験）</li> <li>4. 健康安全に関する危機管理（事件・事故・災害）及び生活安全・交通安全・災害安全の領域について現状の課題を理解し、解決するための管理・教育の両面からの具体的な取組を説明することができる。（グループワーク、定期試験）</li> <li>5. 授業中の発言やグループワークの取組状況によって受講態度を評価する（平常点）</li> </ol> <p>※授業回数の3分の2以上の出席者のみを評価対象として、受講態度によって評価する（平常点）</p>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
<p>[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]</p> <p>・定期試験や課題レポートで成績評価を行うが、講義内容が反映されていない場合には個別に解説や指導を行う。</p>					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
					テキストは使用しません
参考文献					
<p>[参考書等]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 児童生徒の健康診断マニュアル 平成27年度改訂、日本学校保健会、2015</li> <li>2. 教職員のための子どもの健康観察の方法と問題への対応、文部科学省、2009</li> <li>3. 生きる力をはぐくむ学校での安全教育、文部科学省、2019</li> <li>4. 学校環境衛生管理マニュアル、文部科学省、2018</li> </ol> <p>・1～4は参考書であり、授業中は適宜参考資料を配付します。</p>					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>[連絡先]</p> <p>担当：中西 唯公 E-mail ynakani [at] juntendo.ac.jp * [at] を@に変更してください。</p> <p>[オフィスアワー]</p> <p>前期・後期：水曜日12:30～14:30 場所：1号館4階1418室（看護学研究室） 急な出張などで不在にすることもありますので、できれば事前にご連絡を。</p>				
担当教員の実務経験	<p>[実務経験のある教員による授業]</p> <p>この科目では、医療現場において看護師、保健師、教育現場において養護教諭として経験のある者が、その経験を活かし、実践的教育力を育むための指導を行います。</p>				

備考	<p>[学修時間] この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業時間30時間と準備学習60時間の計90時間の学習を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>[その他] この授業科目は、中学校および高等学校教諭1種免許状の取得に必要な科目のうち「教科及び教科の指導法に関する科目」における必修科目ならびに養護教諭1種免許の取得に必要な「養護に関する科目」における必修科目として位置付けられている。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>			
	授業計画			
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	中西 唯公	<p>[授業内容] テーマ：オリエンテーション及び学校保健の領域構造 ・オリエンテーション、学校保健にかかわる法令・意義・目的、学校保健の3領域について基本的な概念について解説する。</p>	<p>[授業方法] ・プリントの配布とスライドを用いて講義を進める。</p>	<p>(予習：2時間) 学校保健にかかわる法律(学校保健安全法等)について調べておく。 (復習：2時間) 学校保健の意義、目的、現状の課題について理解できたことをまとめる。</p>
2	中西 唯公	<p>[授業内容] テーマ：近年の学校保健の動向 ・中央教育審議会答申及び学校保健安全法について解説する。</p>	<p>[授業方法] ・プリントの配布とスライドを用いて講義を進める。 ・学校保健の課題についてグループワークを行い、話し合い、発表する。</p>	<p>(予習：2時間) 中央教育審議会答申(H20)および学校保健安全法の概要について調べておく。 (復習：2時間) 学校保健の課題について、まとめる。</p>
3	中西 唯公	<p>[授業内容] テーマ：・健康診断 ・学校における健康診断の法規定、種類、実施方法、事後措置、学級担任等の役割について解説する。</p>	<p>[授業方法] ・プリントの配布とスライドを用いて講義を進める。</p>	<p>(予習：2時間) 学校保健統計調査(文部科学省)から、健康診断結果を読み取り、学期に多い疾病を把握しておく。 (復習：2時間) 健康診断における学級担任の役割についてまとめる。</p>
4	中西 唯公	<p>[授業内容] テーマ：保健室、救急処置及び救急体制 ・学校における保健室の役割、救急処置の特質、目的、範囲、救急体制づくり、セーフティプロモーションの考え方について解説する。</p>	<p>[授業方法] ・プリントの配布及びスライド・DVDを用いて講義を進める。 ・心肺蘇生法に関する小テストの実施</p>	<p>(予習：2時間) スポーツ振興センターが調査している、学校事故発生状況の結果から、学校事故の現状と課題をまとめておく。 (復習：2時間) 学校における救急体制づくりにおける留意点についてまとめる。</p>
5	中西 唯公	<p>[授業内容] テーマ：疾病管理-1(感染症・アレルギー熱中症) ・感染症の予防、アレルギー疾患への対応、熱中症など健康に関する危機管理について解説する。</p>	<p>[授業方法] ・プリントの配布とスライドを用いて講義を進める。 ・アレルギー対応については、給食誤食事故例をモデルとした教員用啓発資料(ビデオ)を視聴させ、課題を与える。グループで改善点を話し合い、発表する。</p>	<p>(予習：3時間) ・近年発生している学校給食誤食事故について調べ、事故に至った要因を考察しておく。 ・スポーツ振興センターの学校事故調査における熱中症発生状況の現状について調べておく。 (復習：3時間) ・アレルギーについての基本的対応が記されている「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」日本学校保健会、文部科学省監修を読んでまとめる。 ・熱中症予防の取組についてまとめる。</p>
6	中西 唯公	<p>[授業内容] テーマ：学校環境衛生 ・学校環境衛生の理論と基準について解説する。</p>	<p>[授業方法] ・プリントの配布とスライドを用いて講義を進める。 ・与えられた課題に対して、グループで話し合い、発表する。</p>	<p>(予習：2時間) 学校環境衛生基準について法規定について調べておく。 (復習：2時間) 学校環境衛生活動の進め方についてまとめる。</p>
7	中西 唯公	<p>[授業内容] テーマ：健康相談-1 ・児童生徒のメンタルヘルス(いじめ、不登校、虐待、発達障害、自殺等)に関する問題の現状と対応方法を理解する。</p>	<p>[授業方法] ・プリントの配布とスライドを用いて講義を進める。 ・いじめ、不登校の問題の解決策について、グループで話し合い、発表する。</p>	<p>(予習：3時間) 「児童生徒等の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」文部科学省から、いじめ、不登校の現状について調べ、問題の背景を考察する。 (復習：3時間) 地域の関係機関をあげ、業務内容、役割を調べてまとめる。</p>





科目名	【新カリ】学校保健学 [後半]	授業形態	講義		
英語科目名	【新カリ】学校保健学 [後半]	対象学年	2年		
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位		
代表教員	中西 唯公	ナンバリング	AHS2217		
担当教員	中西 唯公、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	<p>[授業の全体的内容]</p> <p>近年の社会環境の急激な変化は、児童生徒の心身の健康に大きな影響を及ぼし、いじめや不登校、ネット依存などの心の健康問題、アレルギー疾患、生活習慣、性に関する問題など複雑・多様化しており、学校では、これらの問題に適切に対応することが求められている。この授業科目では、学校保健（学校安全含む）の意義、目的、法的な位置づけ、学校保健活動を展開するに当たっての基本的な考え方、方法等について学ぶ。</p>				
到達目標	<p>[授業の到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校保健の意義、目的、方法、関係者（管理職、養護教諭、教諭等、保護者、学校医、関係機関等）の役割及び連携の必要性を理解し説明できる。</li> <li>2. 学校保健の3領域（保健管理、保健教育、保健組織活動）の内容について理解し、学校保健計画の立案方法等について説明できる。</li> <li>3. 児童生徒の心身の健康課題の現状を理解し、解決に向けて基本的な考え方や解決方法について説明することができる。</li> <li>4. 健康安全に関する危機管理（事件・事故・災害）及び生活安全・交通安全・災害安全の領域について現状の課題を理解し、解決するための管理・教育の両面からの具体的な取組を説明することができる。</li> </ol>				
授業の位置づけ	この科目は、分野科目群・スポーツ健康・教育分野科目の必修科目である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>[授業の位置づけ（学位授与方針に定められた知識・能力等との関連）]</p> <p>この科目は、「スポーツ健康科学分野における健康支援についての専門的知識と実践的技能的習得」という学位授与方針の達成に寄与する。</p>				
履修上の注意、履修要件	<p>[履修要件]</p> <p>特になし</p> <p>[履修上の注意（科目独自のルール）]</p> <p>特になし</p>				
成績評価の方法					
評価方法	<p>[成績評価の方法]</p> <p>定期試験（60%）、課題レポート（10%）、グループワーク（20%）、平常点（10%）</p>				
評価基準	<p>[成績評価の基準]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校保健の意義、目的、方法、関係者の役割及び連携の必要性を理解し説明することができる（定期試験）</li> <li>2. 学校保健の3領域の内容について理解し、学校保健計画の立案方法等について説明することができる（グループワーク・定期試験）</li> <li>3. 児童生徒の心身の健康課題の現状を理解し、解決に向けて基本的な考え方や解決方法について説明することができる（レポート、グループワーク、定期試験）</li> <li>4. 健康安全に関する危機管理（事件・事故・災害）及び生活安全・交通安全・災害安全の領域について現状の課題を理解し、解決するための管理・教育の両面からの具体的な取組を説明することができる。（グループワーク、定期試験）</li> <li>5. 授業中の発言やグループワークの取組状況によって受講態度を評価する（平常点）</li> </ol> <p>※授業回数の3分の2以上の出席者のみを評価対象として、受講態度によって評価する（平常点）</p>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
<p>[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]</p> <p>・定期試験や課題レポートで成績評価を行うが、講義内容が反映されていない場合には個別に解説や指導を行う。</p>					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
					テキストは使用しません
参考文献					
<p>[参考書等]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 児童生徒の健康診断マニュアル 平成27年度改訂、日本学校保健会、2015</li> <li>2. 教職員のための子どもの健康観察の方法と問題への対応、文部科学省、2009</li> <li>3. 生きる力をはぐくむ学校での安全教育、文部科学省、2019</li> <li>4. 学校環境衛生管理マニュアル、文部科学省、2018</li> </ol> <p>・1～4は参考書であり、授業中は適宜参考資料を配付します。</p>					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>[連絡先]</p> <p>担当：中西 唯公 E-mail ynakani [at] juntendo.ac.jp * [at] を@に変更してください。</p> <p>[オフィスアワー]</p> <p>前期・後期：水曜日12:30～14:30 場所：1号館4階1418室（看護学研究室） 急な出張などで不在にすることもありますので、できれば事前にご連絡を。</p>				
担当教員の実務経験	<p>[実務経験のある教員による授業]</p> <p>この科目では、医療現場において看護師、保健師、教育現場において養護教諭として経験のある者が、その経験を活かし、実践的教育力を育むための指導を行います。</p>				

備考	<p>[学修時間] この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業時間30時間と準備学習60時間の計90時間の学習を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>[その他] この授業科目は、中学校および高等学校教諭1種免許状の取得に必要な科目のうち「教科及び教科の指導法に関する科目」における必修科目ならびに養護教諭1種免許の取得に必要な「養護に関する科目」における必修科目として位置付けられている。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>			
	授業計画			
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	中西 唯公	<p>[授業内容] テーマ：オリエンテーション及び学校保健の領域構造 ・オリエンテーション、学校保健にかかわる法令・意義・目的、学校保健の3領域について基本的な概念について解説する。</p>	<p>[授業方法] ・プリントの配布とスライドを用いて講義を進める。</p>	<p>(予習：2時間) 学校保健にかかわる法律(学校保健安全法等)について調べておく。 (復習：2時間) 学校保健の意義、目的、現状の課題について理解できたことをまとめる。</p>
2	中西 唯公	<p>[授業内容] テーマ：近年の学校保健の動向 ・中央教育審議会答申及び学校保健安全法について解説する。</p>	<p>[授業方法] ・プリントの配布とスライドを用いて講義を進める。 ・学校保健の課題についてグループワークを行い、話し合い、発表する。</p>	<p>(予習：2時間) 中央教育審議会答申(H20)および学校保健安全法の概要について調べておく。 (復習：2時間) 学校保健の課題について、まとめる。</p>
3	中西 唯公	<p>[授業内容] テーマ：・健康診断 ・学校における健康診断の法規定、種類、実施方法、事後措置、学級担任等の役割について解説する。</p>	<p>[授業方法] ・プリントの配布とスライドを用いて講義を進める。</p>	<p>(予習：2時間) 学校保健統計調査(文部科学省)から、健康診断結果を読み取り、学期に多い疾病を把握しておく。 (復習：2時間) 健康診断における学級担任の役割についてまとめる。</p>
4	中西 唯公	<p>[授業内容] テーマ：保健室、救急処置及び救急体制 ・学校における保健室の役割、救急処置の特質、目的、範囲、救急体制づくり、セーフティプロモーションの考え方について解説する。</p>	<p>[授業方法] ・プリントの配布及びスライド・DVDを用いて講義を進める。 ・心肺蘇生法に関する小テストの実施</p>	<p>(予習：2時間) スポーツ振興センターが調査している、学校事故発生状況の結果から、学校事故の現状と課題をまとめておく。 (復習：2時間) 学校における救急体制づくりにおける留意点についてまとめる。</p>
5	中西 唯公	<p>[授業内容] テーマ：疾病管理-1(感染症・アレルギー熱中症) ・感染症の予防、アレルギー疾患への対応、熱中症など健康に関する危機管理について解説する。</p>	<p>[授業方法] ・プリントの配布とスライドを用いて講義を進める。 ・アレルギー対応については、給食誤食事故例をモデルとした教員用啓発資料(ビデオ)を視聴させ、課題を与える。グループで改善点を話し合い、発表する。</p>	<p>(予習：3時間) ・近年発生している学校給食誤食事故について調べ、事故に至った要因を考察しておく。 ・スポーツ振興センターの学校事故調査における熱中症発生状況の現状について調べておく。 (復習：3時間) ・アレルギーについての基本的対応が記されている「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」日本学校保健会、文部科学省監修を読んでまとめる。 ・熱中症予防の取組についてまとめる。</p>
6	中西 唯公	<p>[授業内容] テーマ：学校環境衛生 ・学校環境衛生の理論と基準について解説する。</p>	<p>[授業方法] ・プリントの配布とスライドを用いて講義を進める。 ・与えられた課題に対して、グループで話し合い、発表する。</p>	<p>(予習：2時間) 学校環境衛生基準について法規定について調べておく。 (復習：2時間) 学校環境衛生活動の進め方についてまとめる。</p>
7	中西 唯公	<p>[授業内容] テーマ：健康相談-1 ・児童生徒のメンタルヘルス(いじめ、不登校、虐待、発達障害、自殺等)に関する問題の現状と対応方法を理解する。</p>	<p>[授業方法] ・プリントの配布とスライドを用いて講義を進める。 ・いじめ、不登校の問題の解決策について、グループで話し合い、発表する。</p>	<p>(予習：3時間) 「児童生徒等の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」文部科学省から、いじめ、不登校の現状について調べ、問題の背景を考察する。 (復習：3時間) 地域の関係機関をあげ、業務内容、役割を調べてまとめる。</p>







科目名	【新カリ】知的障害者の心理	授業形態	講義		
英語科目名	【新カリ】知的障害者の心理	対象学年	2年		
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位		
代表教員	真鍋 健	ナンバリング	SNE2218		
担当教員	真鍋 健、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	<p>〔授業全体の内容〕</p> <p>本授業では、心理学的な知見を交えながら、日常で見せる知的障害児・者の何気ない行動の意図や背景を理解することを、目的とする。このために、授業前半では知的障害者の心理を学ぶ前に「相手をどう理解するか」ということについて、「障害観」をキーワードに考える。授業中盤から後半にかけては、知的障害者がとりやすい行動を発達領域等ごとにピックアップし、それぞれ心理学的知見を交えて学ぶ。</p>				
到達目標	<p>〔授業の到達目標〕</p> <p>1. 知的障害児・者の生活を心理学的知見も包含しながら捉え、共に同じ社会に生きるものとしてどう関わるかについて、自らの言葉で説明することができる（授業前半部分と関連して）。</p> <p>2. 多様な臨床像を示す知的障害児の発達・行動・認知特性を理解し、実際の生活における教育的指導を行うための、またはその後の関連科目や実習指導を円滑に進めるための基礎知識を得る（授業中盤・後半部分と関連して）。</p>				
授業の位置づけ	この科目は、分野科目群・スポーツ健康・教育分野科目の必修科目である。また、特別支援学校1種免許取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>〔授業の位置づけ（学位授与方針に定められた知識・能力との関連）〕</p> <p>この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康学科を中心とした幅広い知識と教養、及びそれらの活用能力」を身に付ける。</p>				
履修上の注意、履修要件	<p>〔受講条件〕</p> <p>特に指定はしないが「心理学（1年）」や「障害者教育総論（2年）」「知的障害者指導法（3年）」などの関連科目とのつながりを意識すること。</p> <p>〔履修上の注意（科目独自のルール）〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1回の授業あたり、3分の2以上の出席時間がない場合は、その回の授業を欠席扱いとする。</li> <li>・また大学指定の出席表（リクレクションペーパー）の提出があっても、当該回に求める他の提出物がない場合は欠席扱いとすることができる。</li> <li>・対面授業の場合、受講人数が多い場合は特に、円滑な授業進行に協力してください（資料配布、出席表提出、授業開始と終了時の挨拶など）</li> </ul> <p>〔テキスト・参考書〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・穴埋め式の資料を配るので、原則ノートは必要ありません。</li> <li>・使用テキストはありません。参考書・文献等は授業内で紹介します。</li> </ul>				
成績評価の方法					
評価方法	<p>〔成績評価方法〕</p> <p>平常点（15%）と学期末に行う定期試験（85%）を総合して評価を行う。</p>				
評価基準	<p>〔成績評価の基準〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「知的障害」という概念やその生活（学校含む）での支援について、自分の言葉（文章）で説明することができる（定期試験）</li> <li>2. 多様な臨床像を示す知的障害児の「発達・行動・認知特性」と「具体的な教育的指導」に関わる基礎的知識について、説明することができる（定期試験）</li> <li>3. 授業中の発言やグループワークの取り組み状況によって受講態度を評価する（平常点）</li> </ol>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
<p>〔試験・レポート等の課題に対するフィードバックの関連〕</p> <p>レポート課題については、適宜、模範となる解答（回答）や評価のポイントを提示し、解説する。定期試験については、Juntendo Passportを使って解説する</p>					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>〔連絡先〕</p> <p>担当：真鍋健 kmanabe@juntendo.ac.jp</p> <p>〔オフィスアワー〕</p> <p>電子メールでの質問受付に限る</p>				
担当教員の実務経験					

備考				
<p>[学修時間] この授業は講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学修60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>[その他] この授業科目は「特別支援学校教諭1種免許状」の取得に必要な科目のうち「特別支援教育領域に関する科目」における必修科目として位置づいています。 また、新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	真鍋	<p>(授業内容) オリエンテーション□ (授業のねらい・内容・計画等の確認)</p> <p>(授業方法) 授業中に配布するプリントに沿って講義を進める</p>	授業中に配布するプリントに沿って講義を進める	<p>[予習：120分] 障害のある人との交流や経験をまとめる [復習：120分] 障害について授業から考えたことを3つ書き出す</p>
2	真鍋	<p>(授業内容) 私にとって障害、知的障害とは、何が同じで何が違うのか①(私にとっての知的障害)</p> <p>(授業方法) □ 授業中に配布するプリントに沿って講義を進める</p> <p>(キーワード) 障害観</p>	授業中に配布するプリントに沿って講義を進める	<p>[予習：120分] 1回目の授業内容をふまえて、障害のある人との交流や経験を改めてまとめる [復習：120分] 障害について授業から考えたことを3つ書き出す</p>
3	真鍋	<p>(授業内容) 私にとって障害、知的障害とは、何が同じで何が違うのか②□社会における知的障害とその処遇)</p> <p>(授業方法) □ 授業中に配布するプリントに沿って講義を進める</p> <p>(キーワード) 障害者処遇、ノーマライゼーション、DVD (障害者の生活) □</p>	授業中に配布するプリントに沿って講義を進める	<p>[予習：120分] 障害のある人との交流や経験について、自分の意見と他者の意見を区別してまとめる [復習：120分] 障害について授業から考えたことを3つ書き出す</p>
4	真鍋	<p>(授業内容) 私にとって障害、知的障害とは、何が同じで何が違うのか③(教育における知的障害者への処遇) □</p> <p>(授業方法) □ 授業中に配布するプリントに沿って講義を進める</p> <p>(キーワード) 特別支援教育、DVD (障害者の生活) □</p>	授業中に配布するプリントに沿って講義を進める	<p>予習：120分] 小・中・高校のときに障害のある同級生等とどのような交流をしていたかをまとめる [復習：120分] 障害に関わる何かの視聴覚教材(メディア含)等を1つ視聴する</p>
5	真鍋	<p>(授業内容) 知的障害に関わる基礎事項① 知的障害の概要□</p> <p>(授業方法) □ 授業中に配布するプリントに沿って講義を進める</p> <p>(キーワード) 定義、IQ、検査(ビネー、ウェクスラー式)、原因</p>	授業中に配布するプリントに沿って講義を進める	<p>[予習：120分] 左記カッコ内の用語について調べる [復習：144分] 重要用語の意味を端的に答えられるようまとめる</p>
6	真鍋	<p>(授業内容) 知的障害に関わる基礎事項② 運動発達□</p> <p>(授業方法) 授業中に配布するプリントに沿って講義を進める</p> <p>(キーワード) 運動発達の順序性、反射と抗重力、筋緊張、首のすわりから歩行まで</p>	授業中に配布するプリントに沿って講義を進める	<p>[予習：120分] 左記カッコ内の用語について調べる。 自身の母子手帳を見してみる(可能であれば) [復習：144分] 重要用語の意味を端的に答えられるようまとめる</p>
7	真鍋	<p>(授業内容) 知的障害に関わる基礎事項③ 言語発達□</p> <p>(授業方法) □ 授業中に配布するプリントに沿って講義を進める</p> <p>(キーワード) 4領域(表出-理解・ 叙述-要求)、共同注意、ことばの前のことば□</p>	授業中に配布するプリントに沿って講義を進める	<p>[予習：120分] 左記カッコ内の用語について調べる 自身の母子手帳を見してみる(可能であれば) [復習：144分] 重要用語の意味を端的に答えられるようまとめる</p>
8	真鍋	<p>(授業内容) 知的障害に関わる基礎事項② ダウン症□</p> <p>(授業方法) □ 授業中に配布するプリントに沿って講義を進める</p> <p>(キーワード) 染色体、合併症、低緊張、視覚優位、聴覚的短期記憶、言語発達</p>	授業中に配布するプリントに沿って講義を進める	<p>[予習：120分] 左記カッコ内の用語について調べる [復習：144分] 重要用語の意味を端的に答えられるようまとめる</p>





科目名	【新カリ】健康学概論	授業形態	講義	
英語科目名	【新カリ】健康学概論	対象学年	2年	
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位	
代表教員	松山 毅	ナンバリング	AHS2220	
担当教員	松山 毅、大久保 菜穂子、中西 唯公、スポーツ健康科学部教員共通			
授業概要				
全体内容	<p>【授業全体の内容】          本科目は、講義の授業形態で行われる。「健康学とは何なのか」「健康学を学ぶ必要性」「健康学の範囲」「健康学の方法」などを幅広く理解することを目標とする。          (オムニバス方式/全14回)</p> <p>(35 大久保菜穂子 / 5回)          健康格差社会とその背景、ヘルスプロモーション、健康日本21といった我が国及び海外における健康政策の動向を通して健康をつくりあげるために大きな影響を及ぼす社会的背景と現状について理解する。また、その解決策として、健康教育、ヘルスリテラシー、生涯健康といった健康を支援するために必要な概念を理解し、ロコモティブシンドロームを始めとする各種健康課題に対する健康づくりの現状と課題について学修する。</p> <p>(30 松山毅 / 5回)          子供・子育て世帯、高齢者、障害者、生活困窮者など主に社会福祉の対象となる方々の生活問題や健康問題について取り上げ、その現状や社会的背景について考察する。その解決策として、社会保障制度及び社会福祉、保健医療、ボランティア活動などの現状について理解し、ノーマライゼーションや共生社会の実現について学修する。</p> <p>(52 中西唯公 / 4回)          生活習慣病やメンタルヘルス疾患、児童虐待、栄養摂取の偏りや運動不足等、ライフステージや学校・職域などの生活の場に着目した心身の健康課題や健康行動の状況について取り上げ、その現状と背景要因について考察する。また、その解決策としての健康診査や健康教育などの「保健活動」について理解し、法律や施策で定められている内容を踏まえながら、将来の職業を見据え、どのような支援ができるかについて学修する。</p>			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「健康とは何か」健康概念について、医療・保健・福祉・教育・公衆衛生等、様々な視点から考察し捉えることができる。</li> <li>2. 健康学の基盤について、基礎的・専門的かつ統合的に理解し説明ができる。</li> <li>3. 障害者理解を含めた幅広い生活支援の技能（スキル）を習得できる。</li> <li>4. 人の生涯と各世代における生活課題とその支援について、理解し対処できる。</li> </ol>			
授業の位置づけ	この科目は、分野科目群・スポーツ健康・教育分野科目の必修科目である。また、第一種衛生管理者資格取得にあたっての必修科目である。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	社会や健康の変化に対応し、自ら課題を見つけ、スポーツ健康科学分野における専門的な知識または技能をもとに課題を解決できる能力を身につける			
履修上の注意、履修要件	特になし			
成績評価の方法				
評価方法	定期試験ではなくレポートによる試験を行います。 レポート試験（70%）、課題及び発表（20%）、日々の学修及び出席状況（10%）を総合的に評価する			
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 健康概念について、様々な領域の視点で理解ができていないか。</li> <li>2. 健康学の基礎的かつ専門的な事項について、理解ができていないか。</li> <li>3. 様々な対象者に対する健康面からの生活支援とその技能（スキル）が習得できているのか。</li> <li>4. 様々なフィールドにおける生活課題とその対処方法について、どの程度理解がされているのか。</li> </ol>			
試験・課題に対するフィードバック方法				
課題やレポートに対するフィードバックでは、適切な回答内容等について解説し、改めて問題提起をしていく。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献				
特定のテキストは指定せず、授業資料は各教員が作成配布するものとする。また、視聴覚教材も使用する。 なお、参考書及び資料については、各授業時に指示紹介する。				
その他				
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】          担当：松山毅          E-mail：tmatsuya@juntendo.ac.jp          【オフィスアワー】          水曜日：13：00～14：30、金曜日10：30～12：00</p>			
担当教員の実務経験	ゲストスピーカーとして市町村において健康増進事業に従事している担当者（保健師や健康運動指導士、衛生管理者等）による講義を予定している			

備考	<p>【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業時間30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>【その他】 ・この授業科目は、以下の資格取得の要件となっています。 第一種衛生管理者 ・新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画等の変更をお願いする可能性がある</p>			
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	松山・大久保	【授業内容】オリエンテーション 「健康学を学ぶ意味とは？」健康の定義、歴史、健康学が求められる社会的背景（少子高齢化、社会的孤立、健康格差、等々）、社会学や環境の視点、	【授業方法】 スライド等を使用した授業を展開実施する	(予習：2時間) 「健康とは何か」について、自分なりの考えや興味関心のある領域について考えておく (復習：2時間) 授業で学んだこと、考えたことを整理しておく
2	大久保	【授業内容】健康と社会① 健康格差社会とその背景、ヘルスリテラシー、健康教育、生涯健康	【授業方法】 スライド等を使用した授業を展開実施する	(予習：3時間) 健康格差社会、lifelong healthについて調べておく (復習：2時間) ヘルスリテラシーの階層性について整理しておく
3	大久保	【授業内容】健康を支える仕組み① 我が国および海外における健康政策の動向、ヘルスプロモーション、健康日本21、等	【授業方法】 スライド等を使用した授業を展開実施する	(予習：3時間) WHOの21世紀の健康戦略であるヘルスプロモーションについて調べておく (復習：2時間) ヘルスプロモーションが健康日本21に及ぼした影響をまとめておく
4	松山・中西	【授業内容】健康を支える仕組み② 我が国における保健・福祉・医療の仕組みの概要、社会保障制度（所得保障制度含む）、ライフサイクル	【授業方法】 スライド等を使用した授業を展開実施する	(予習：2時間) 我が国の社会保障制度について厚生労働白書などを調べておく (復習：3時間) 国民の健康生活と社会保障制度の関係性についてまとめておく
5	中西	【授業内容】健康と保健① ライフステージの保健活動（母子～成人）、母子保健、栄養と食生活、健康増進、身体的健康を中心に	【授業方法】 スライド等を使用した授業を展開実施する	(予習：2時間) 現代社会や生活の変化により生じている日本の健康状態や健康課題について調べておく (復習：3時間) 各ライフステージ別の保健活動の基となる法律や施策について、まとめておく。
6	中西・松山	【授業内容】健康と保健② メンタルヘルス、ストレス、ハラスメント、精神的健康を支える専門職、等	【授業方法】 スライド等を使用した授業を展開実施する	(予習：3時間) 現代社会におけるメンタルヘルスやストレスに関する現状や課題を調べておく (復習：2時間) 精神的健康をサポートする仕組みや専門職の役割を整理する
7	松山・中西	【授業内容】健康と福祉① 貧困問題と健康の関係、社会的孤立、居場所づくり、地域自立生活、地域共生社会の創造	【授業方法】 スライド等を使用した授業を展開実施する	(予習：3時間) 貧困と健康の関係について、自分なりに調べておく（貧困が健康に及ぼす影響） (復習：2時間) 貧困の解決と健康の関係について理解したことをまとめておく
8	松山	【授業内容】健康と福祉② 福祉政策の動向（子育て支援、障害者福祉、高齢者福祉・介護保険制度）と健康社会、社会福祉の専門職と専門性・倫理	【授業方法】 スライド等を使用した授業を展開実施する	(予習：2時間) 社会福祉実践と健康支援はどのような関係があるのかを考えておく (復習：2時間) 障害者や高齢者への健康支援の意義についてまとめておく
9	大久保	【授業内容】健康と運動・スポーツ① 市民向けの健康増進プログラムの現状及び課題、ロコモティブシンドローム、サルコペニア、フレイル	【授業方法】 スライド等を使用した授業を展開実施する	(予習：3時間) ロコモティブシンドローム、サルコペニア、フレイルについて調べておく (復習：2時間) 健康課題別に健康増進プログラムの具体的な内容とその効果についてまとめておく
10	松山	【授業内容】健康と運動・スポーツ② 福祉分野での取り組みを中心に（社会参加、健康づくり、予防、）	【授業方法】 スライド等を使用した授業を展開実施する	(予習：2時間) 社会福祉と運動・スポーツの関係について調べておく (復習：2時間) 社会福祉実践における運動・スポーツの意義・役割や効果についてまとめておく
11	中西・大久保	【授業内容】健康と社会② 健康産業、健康経営の視点から	【授業方法】 スライド等を使用した授業を展開実施する	(予習：2時間) 健康経営優良法人の取り組みについて調べておく (復習：2時間) 企業における健康経営の意義、具体的な取り組みについてまとめておく



科目名	【新カリ】障害者教育総論 [前半]			授業形態	講義
英語科目名	【新カリ】障害者教育総論 [前半]			対象学年	2年
開講学期	2022年度前期			単位数	2単位
代表教員	渡邊 貴裕			ナンバリング	SNE2221
担当教員	渡邊 貴裕、尾高 邦生、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	本科目では、知的障害、肢体不自由、病弱（身体虚弱）、視覚障害、聴覚障害、発達障害等の障害特性、及びそのような障害のある幼児児童生徒に対する教育支援について学ぶ。特別支援学校や、幼稚園、小学校、中学校及び高等学校等において、様々な障害のある幼児児童生徒一人一人のニーズに応じた適切な指導と支援について学修し、適宜、グループワークなどを取り入れながら特別支援教育について理解することを目標とする。				
到達目標	1. 代表的な障害種について、その原因や特性について理解できる。 2. 代表的な障害種について、その支援方法について理解できる。 3. 特別支援教育の現状と課題について説明できる。				
授業の位置づけ	この科目は、分野科目群・スポーツ健康・教育分野科目の選択科目である。また、特別支援学校1種免許取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は、スポーツ科学科において、「スポーツ科学分野の専門的な実践力」を身に付けるという目的がある。また、健康学科においては、「スポーツ健康科学を中心とした教養」を養う科目として位置付けられる。				
履修上の注意、履修要件	【履修要件】 ・「特別支援教育論」を受講していることが望ましい。 【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】 ・定期試験や課題レポートで成績評価を行うが、講義内容が反映されていない場合には個別に解説や指導を行う。				
成績評価の方法					
評価方法	平常点（10%）、定期試験（60%）、レポート（30%）を総合して評価する。				
評価基準	1. 代表的な障害種について、その原因や特性について説明できる。（定期試験、レポート） 2. 代表的な障害種について、その支援方法について説明できる。（定期試験、レポート） 3. 特別支援教育の現状と課題について説明できる。（定期試験）				
試験・課題に対するフィードバック方法					
定期試験や課題レポートで成績評価を行うが、講義内容が反映されていない場合には個別に解説や指導を行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
1. 渡邊貴裕 他 編：教職課程コアカリキュラム対応版キーワードで読み解く特別支援教育・障害児保育&教育相談・生徒指導・キャリア教育、福村出版、2020 2. 特別支援学校幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領（平成29年4月告示 文部科学省） 3. 特別支援学校高等部学習指導要領（平成31年2月告示 文部科学省） 4. 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編（平成30年3月 文部科学省） 5. 特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編（小学部・中学部）（平成30年3月 文部科学省） 6. 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）（平成30年3月 文部科学省） ※参考書であり、授業中は適宜参考資料を配布する。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	【連絡先】 担当： 渡邊貴裕 E-mail：tkwatana@juntendo.ac.jp 【オフィスアワー】 日時：前期・後期：火曜日 13:00～15:00 木曜日 10:00～12:00 場所：1号館2階1218号室（特別支援教育学研究室）				
担当教員の実務経験	特別支援学校教諭としての勤務経験に基づき、障害を持つ人への指導に関する実践的な知識をわかりやすく解説する。				
備考	【学修時間】この授業は、講義による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。 【その他】 特別支援学校教諭一種免許状取得のための必修科目 科目：特別支援教育の基礎理論に関する科目 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合がある。				
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間	



1	渡邊貴裕	テーマ：障害とは「障害」という言葉について、ICF、バリアフリー、ノーマライゼーションといった概念をもとに理解する。また障害者福祉施策について学ぶ。	ICFの理念について、具体的な事例をもとに解説する。VTRを視聴し、それをもとに心のバリアフリーについてグループワークを行う。	(予習：2時間) 身近なバリアフリー環境について調べる。 (復習：2時間) ICFの考えを「買い物」や「スポーツ参加」等の事例にあてはめ、レポートにまとめる。
2	渡邊貴裕	テーマ：障害児の教育「特殊教育」から「特別支援教育」への転換、その意義とねらいについて、心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育の理念、歴史、思想を踏まえて理解する。	通常学級における発達障害児童生徒への対応について、小学校、中学校での自身の経験をもとにディスカッションを行う。	(予習：2時間) 文部科学省のHPをもとに「特別支援教育」に関する法的根拠を調べる。 (復習：2時間) 通常学級における教師の役割について、授業内容をもとにレポートにまとめる。
3	渡邊貴裕	テーマ：知的障害知的機能に関する制約と、その支援方法について理解する。	知的障害の制約について、個人で考え、その後パートナーとお互いの回答を比較する。その後、全体で共有する。	(予習：2時間) 知的障害児者をテーマとした映画や本を調べてくる。 (復習：2時間) 知的障害者のライフステージごとの課題についてレポートにまとめる。
4	渡邊貴裕	テーマ：発達障害社会性や注意行動、学習等に関する制約と精神疾患（障害）、その支援方法について理解する。	発達障害についてのVTRを視聴し、支援方法についてのグループワークを行う。	(予習：2時間) 学齢期の発達障害児が抱える生活上の困難さについて、インターネットや新聞等をもとに資料収集を行う。 (復習：2時間) 知的障害者のライフステージごとの課題についてレポートにまとめる。
5	渡邊貴裕	テーマ：成人期の発達障害社会性や注意行動、学習等に関する制約と精神疾患（障害）、その支援方法について理解する。	大人の発達障害とその制約について、個人で考え、その後パートナーとお互いの回答を比較する。その後、全体で共有する。	(予習：2時間) 大人の発達障害に関する支援について、インターネットや新聞等をもとに資料収集を行う。 (復習：2時間) 青年・成人期の発達障害児が抱える生活上の困難さについてレポートにまとめる。
6	渡邊貴裕	テーマ：肢体不自由児と病弱児の教育・スポーツ運動や健康に関する制約と、その支援方法（障がい者スポーツ）について理解する。	運動障害児や病弱児が通う学校の教育の場と運動やスポーツ教育の意義について、その後パートナーとお互いの回答を比較する。その後、全体で共有する。	(予習：2時間) パラリンピック、スペシャルオリンピックス、デフリンピックの違いについて、インターネットをもとに資料収集を行う。 (復習：2時間) 病弱特別支援学校に在籍する児童生徒の障害種の変遷について調べ、レポートにまとめる。
7	渡邊貴裕	テーマ：視覚障害視覚に関する制約と、その支援方法について理解する。	視覚障害の制約について、個人で考え、その後パートナーとお互いの回答を比較する。その後、全体で共有する。	(予習：2時間) 予め配布してある資料を読み、「盲」と「弱視」の違いについてまとめる。 (復習：2時間) 特別支援学校（視覚障害）における教育課程の特徴についてレポートにまとめる。
8	渡邊貴裕	テーマ：聴覚障害聴覚に関する制約と、その支援方法について理解する。	聴覚障害の制約について、個人で考え、その後パートナーとお互いの回答を比較する。その後、全体で共有する。	(予習：2時間) 予め配布してある資料を読み、聾者が抱える生活上の困難さについてまとめる。 (復習：2時間) デフリンピックについて調べ、レポートにまとめる。
9	渡邊貴裕	テーマ：障害児の療育障害児保育について学び、就学支援の実際と課題を説明することができる。	インクルーシブ保育について、授業内容に関連した質問を小グループで話し合う。	(予習：2時間) 「就学支援」について、インターネットや新聞等をもとに資料収集を行う。 (復習：2時間) 自身の住んでいる地域で行われている就学相談、就学支援についてレポートにまとめる。
10	渡邊貴裕	テーマ：知的障害教育の教育課程特別支援学校（知的障害）の教育課程について学び、各年齢段階における課題を説明することができる。	特別支援学校と普通学校の時間割の違いとその意味について、授業内容に関連した質問を小グループで話し合う。	(予習：2時間) 予め配布してある資料を読み、「障害者の発達段階」についてまとめておく。 (復習：2時間) 「生涯発達支援」という言葉の意味について、授業のキーワードを用いて説明できるようにする。




\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	【新カリ】障害者教育総論 [後半]			授業形態	講義
英語科目名	【新カリ】障害者教育総論 [後半]			対象学年	2年
開講学期	2022年度前期			単位数	2単位
代表教員	渡邊 貴裕			ナンバリング	SNE2221
担当教員	渡邊 貴裕、尾高 邦生、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	本科目では、知的障害、肢体不自由、病弱（身体虚弱）、視覚障害、聴覚障害、発達障害等の障害特性、及びそのような障害のある幼児児童生徒に対する教育支援について学ぶ。特別支援学校や、幼稚園、小学校、中学校及び高等学校等において、様々な障害のある幼児児童生徒一人一人のニーズに応じた適切な指導と支援について学修し、適宜、グループワークなどを取り入れながら特別支援教育について理解することを目標とする。				
到達目標	1. 代表的な障害種について、その原因や特性について理解できる。 2. 代表的な障害種について、その支援方法について理解できる。 3. 特別支援教育の現状と課題について説明できる。				
授業の位置づけ	この科目は、分野科目群・スポーツ健康・教育分野科目の選択科目である。また、特別支援学校1種免許取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は、「健康科学分野の専門的な知識と技能」という学位授与方針の達成に寄与する。				
履修上の注意、履修要件	【履修要件】 ・「特別支援教育論」を受講していることが望ましい。 【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】 ・定期試験や課題レポートで成績評価を行うが、講義内容が反映されていない場合には個別に解説や指導を行う。				
成績評価の方法					
評価方法	平常点（10%）、定期試験（60%）、レポート（30%）を総合して評価する。				
評価基準	1. 代表的な障害種について、その原因や特性について説明できる。（定期試験、レポート） 2. 代表的な障害種について、その支援方法について説明できる。（定期試験、レポート） 3. 特別支援教育の現状と課題について説明できる。（定期試験）				
試験・課題に対するフィードバック方法					
定期試験や課題レポートで成績評価を行うが、講義内容が反映されていない場合には個別に解説や指導を行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
1. 渡邊貴裕 他 編：教職課程コアカリキュラム対応版キーワードで読み解く特別支援教育・障害児保育&教育相談・生徒指導・キャリア教育、福村出版、2020 2. 特別支援学校幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領（平成29年4月告示 文部科学省） 3. 特別支援学校高等部学習指導要領（平成31年2月告示 文部科学省） 4. 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編（平成30年3月 文部科学省） 5. 特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編（小学部・中学部）（平成30年3月 文部科学省） 6. 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）（平成30年3月 文部科学省） ※参考書であり、授業中は適宜参考資料を配布する。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	【連絡先】 担当： 渡邊貴裕 E-mail：tkwatana@juntendo.ac.jp 【オフィスアワー】 日時：前期・後期：火曜日 13:00～15:00 木曜日 10:00～12:00 場所：1号館2階1218号室（特別支援教育学研究室）				
担当教員の実務経験	特別支援学校教諭としての勤務経験に基づき、障害を持つ人への指導に関する実践的な知識をわかりやすく解説する。				
備考	【学修時間】この授業は、講義による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。  【その他】 特別支援学校教諭一種免許状取得のための必修科目 科目：特別支援教育の基礎理論に関する科目				
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間	

1	渡邊貴裕	テーマ：障害とは 「障害」という言葉について、ICF、バリアフリー、ノーマライゼーションといった概念をもとに理解する。また障害者福祉施策について学ぶ。	ICFの理念について、具体的な事例をもとに解説する。VTRを視聴し、それをもとに心のバリアフリーについてグループワークを行う。	(予習：2時間) 身近なバリアフリー環境について調べる。 (復習：2時間) ICFの考えを「買い物」や「スポーツ参加」等の事例にあてはめ、レポートにまとめる。
2	渡邊貴裕	テーマ：障害児の教育 「特殊教育」から「特別支援教育」への転換、その意義とねらいについて、心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育の理念、歴史、思想を踏まえて理解する。	通常学級における発達障害児童生徒への対応について、小学校、中学校での自身の経験をもとにディスカッションを行う。	(予習：2時間) 文部科学省のHPをもとに「特別支援教育」に関する法的根拠を調べる。 (復習：2時間) 通常学級における教師の役割について、授業内容をもとにレポートにまとめる。
3	渡邊貴裕	テーマ：知的障害 知的機能に関する制約と、その支援方法について理解する。	知的障害の制約について、個人で考え、その後パートナーとお互いの回答を比較する。その後、全体で共有する。	(予習：2時間) 知的障害児者をテーマとした映画や本を調べてくる。 (復習：2時間) 知的障害者のライフステージごとの課題についてレポートにまとめる。
4	渡邊貴裕	テーマ：発達障害 社会性や注意行動、学習等に関する制約と精神疾患（障害）、その支援方法について理解する。	発達障害についてのVTRを視聴し、支援方法についてのグループワークを行う。	(予習：2時間) 学齢期の発達障害児が抱える生活上の困難さについて、インターネットや新聞等をもとに資料収集を行う。 (復習：2時間) 知的障害者のライフステージごとの課題についてレポートにまとめる。
5	渡邊貴裕	テーマ：成人期の発達障害 社会性や注意行動、学習等に関する制約と精神疾患（障害）、その支援方法について理解する。	大人の発達障害とその制約について、個人で考え、その後パートナーとお互いの回答を比較する。その後、全体で共有する。	(予習：2時間) 大人の発達障害に関する支援について、インターネットや新聞等をもとに資料収集を行う。 (復習：2時間) 青年・成人期の発達障害者が抱える生活上の困難さについてレポートにまとめる。
6	渡邊貴裕	テーマ：肢体不自由児と病弱児の教育・スポーツ 運動や健康に関する制約と、その支援方法（障がい者スポーツ）について理解する。	運動障害児や病弱児が通う学校の教育の場と運動やスポーツ教育の意義について、その後パートナーとお互いの回答を比較する。その後、全体で共有する。	(予習：2時間) パラリンピック、スペシャルオリンピックス、デフリンピックの違いについて、インターネットをもとに資料収集を行う。 (復習：2時間) 病弱特別支援学校に在籍する児童生徒の障害種の変遷について調べ、レポートにまとめる。
7	渡邊貴裕	テーマ：視覚障害 視覚に関する制約と、その支援方法について理解する。	視覚障害の制約について、個人で考え、その後パートナーとお互いの回答を比較する。その後、全体で共有する。	(予習：2時間) 予め配布してある資料を読み、「盲」と「弱視」の違いについてまとめる。 (復習：2時間) 特別支援学校（視覚障害）における教育課程の特徴についてレポートにまとめる。
8	渡邊貴裕	テーマ：聴覚障害 聴覚に関する制約と、その支援方法について理解する。	聴覚障害の制約について、個人で考え、その後パートナーとお互いの回答を比較する。その後、全体で共有する。	(予習：2時間) 予め配布してある資料を読み、聾者が抱える生活上の困難さについてまとめる。 (復習：2時間) デフリンピックについて調べ、レポートにまとめる。
9	渡邊貴裕	テーマ：障害児の療育 障害児保育について学び、就学支援の実際と課題を説明することができる。	インクルーシブ保育について、授業内容に関連した質問を小グループで話し合う。	(予習：2時間) 「就学支援」について、インターネットや新聞等をもとに資料収集を行う。 (復習：2時間) 自身の住んでいる地域で行われている就学相談、就学支援についてレポートにまとめる。
10	渡邊貴裕	テーマ：知的障害教育の教育課程 特別支援学校（知的障害）の教育課程について学び、各年齢段階における課題を説明することができる。	特別支援学校と普通学校の時間割の違いとその意味について、授業内容に関連した質問を小グループで話し合う。	(予習：2時間) 予め配布してある資料を読み、「障害者の発達段階」についてまとめておく。 (復習：2時間) 「生涯発達支援」という言葉の意味について、授業のキーワードを用いて説明できるようにする。




\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	【新カリ】精神医学			授業形態	講義
英語科目名	【新カリ】精神医学			対象学年	2年
開講学期	2022年度前期			単位数	2単位
代表教員	黄田 常嘉			ナンバリング	BMS2224
担当教員	黄田 常嘉、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	精神疾患は、癌、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病と並ぶ5つの重要疾患の一つに位置付けられます。精神医学についての基本知識を学ぶことで、私達が暮らす社会の中で起きているさまざまな問題を精神医学の枠組みに照らし合わせて理解することができたり、自分自身や大切な方々のメンタル不調に気がつき易くなり、対応も適切になるため、心身の健康保持やwell-beingにも繋がります。本授業では毎回、資料を配布の上、スライドや視聴覚教材を提示し、生物-心理-社会的な観点に沿ってさまざまな精神疾患について講義し、コメディカルの役割やさまざまな心理テストや精神療法などについて解説します。				
到達目標	広く精神医学に関連する知識に興味を持ち、精神保健福祉士などの医療スタッフや養護教諭としての必要な資質を身に付ける。精神科の診断、心理検査、薬物療法の概要を理解する他、処遇の問題、薬物療法、非薬物療法などについての知識を深めることができる。				
授業の位置づけ	この科目は、分野科目群・スポーツ健康・教育分野科目の選択科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は、スポーツ健康科学部のディプロマポリシーに定める「健康を創造・支援するために必要な身体的・精神的・社会的健康についての知識と技能」「健康に関する専門性を活かし、人づくり、社会づくりに貢献できる能力」を身につけるための科目として位置付けられる。				
履修上の注意、履修要件	【履修要件】特になし。 【履修上の注意】講義では学びの入口として、基本的な症状や病態理解について説明するので、授業で学んだことに関して、書籍やインターネットなどを通じて自己学習によって理解を深めて欲しい。遅刻や早退2回を以て欠席1回とカウントされる。				
成績評価の方法					
評価方法	授業中の学習状況（50%）や試験の評点（50%）を総合して評価する。				
評価基準	1. 精神医学に関する基本的な知識を習得している。（単位認定試験） 2. 授業への出席や討議での発言など受講態度を評価する。（平常点）				
試験・課題に対するフィードバック方法					
試験のフィードバックはJuntendo Passportで行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
指定教科書はない。参考書については授業内で紹介する。講義資料をJuntendo Passportで配信する。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	【連絡先】 担当：黄田常嘉 / 山口慎史 内線 331 / 9401 E-mail : ota * juntendo. ac. jp / s. yamaguchi. rt * juntendo. ac. jp （*を@に読み替えて下さい） 【オフィスアワー】 木曜日1～2限他、適宜。 場所：2号館2階 1216号室。 健康管理室業務や医学部業務で不在のこともあるため、事前にメールか内線で連絡をすること。				
担当教員の実務経験	科目責任者は、精神科専門医、精神保健指定医、公認心理師、臨床心理士として、外来入院の診療活動、精神鑑定、学校や企業の健康管理室、特別支援教育専門家検診など精神医学に関連した多彩な業務経験を有している。その経験を活かしながら、精神科医療、精神保健における実践的な講義内容を展開する。				
備考	当科目は精神保健福祉士受験資格に必要な科目である。また養護教諭免許状取得のための必修科目でもある。 この授業は講義形式の2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間を学習を必要とする内容を以て構成する。 COVIDの流行状況によっては授業計画等を変更する可能性があります。				
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間	
1	黄田常嘉	器質性精神病： アルツハイマー病、レビー小体病、血管性認知症などについて学ぶ。	スライド提示と視聴覚教材による講義	（予習時間：2時間） 講義資料を通読しておくこと。 （復習時間：2時間） 講義ノートをまとめておくこと。	
2	黄田常嘉	アルコール関連精神障害： 急性アルコール中毒、酩酊、依存症について学ぶ。	スライド提示と視聴覚教材による講義	（予習時間：2時間） 講義資料を通読しておくこと。 （復習時間：2時間） 講義ノートをまとめておくこと。	



3	黄田常嘉	統合失調症スペクトラム障害および他の精神病的障害群： 統合失調症、統合失調感情障害、抗精神病薬などについて学ぶ。	スライド提示と視 聴覚教材による講 義	(予習時間：2時間) 講義資料を通読しておくこと。 (復習時間：2時間) 講義ノートをもとめておくこと。
4	黄田常嘉	抑鬱障害群： 鬱病、抗鬱薬、認知の歪み、認知療法などについて学ぶ。	スライド提示と視 聴覚教材による講 義	(予習時間：2時間) 講義資料を通読しておくこと。 (復習時間：2時間) 講義ノートをもとめておくこと。
5	黄田常嘉	不安症群： 恐怖症やパニック症について学ぶ。	スライド提示と視 聴覚教材による講 義	(予習時間：2時間) 講義資料を通読しておくこと。 (復習時間：2時間) 講義ノートをもとめておくこと。
6	黄田常嘉	解離症群： 解離性障害、転換性障害、ヒステリー、多重人格、記憶喪失などにつ いて学ぶ。	スライド提示と視 聴覚教材による講 義	(予習時間：2時間) 講義資料を通読しておくこと。 (復習時間：2時間) 講義ノートをもとめておくこと。
7	黄田常嘉	摂食障害群： 神経性やせ症、神経性大食症、過食性障害、回避性食物摂取障害など について学ぶ。	スライド提示と視 聴覚教材による講 義	(予習時間：2時間) 講義資料を通読しておくこと。 (復習時間：2時間) 講義ノートをもとめておくこと。
8	黄田常嘉	パーソナリティ障害群： 境界性パーソナリティ障害を始め、パーソナリティの障害について学 ぶ。	スライド提示と視 聴覚教材による講 義	(予習時間：2時間) 講義資料を通読しておくこと。 (復習時間：2時間) 講義ノートをもとめておくこと。
9	黄田常嘉	嗜癮性障害群： ギャンブル依存症やゲーム障害について学ぶ。	スライド提示と視 聴覚教材による講 義	(予習時間：2時間) 講義資料を通読しておくこと。 (復習時間：2時間) 講義ノートをもとめておくこと。
10	黄田常嘉	知的障害： ダウン症、18トリソミー症候群、クラインフェルター症候群、先天性 風疹症候群などについて学ぶ。	スライド提示と視 聴覚教材による講 義	(予習時間：2時間) 講義資料を通読しておくこと。 (復習時間：2時間) 講義ノートをもとめておくこと。
11	黄田常嘉	神経発達症群： ADHDについて学ぶ。	スライド提示と視 聴覚教材による講 義	(予習時間：2時間) 講義資料を通読しておくこと。 (復習時間：2時間) 講義ノートをもとめておくこと。
12	黄田常嘉	てんかん： さまざまな種類の発作型について学ぶ。	スライド提示と視 聴覚教材による講 義	(予習時間：2時間) 講義資料を通読しておくこと。 (復習時間：2時間) 講義ノートをもとめておくこと。
13	黄田常嘉	精神障害と就労を巡る問題： 労働者の心の健康づくり、過労死、ハラスメント、職場復帰支援、精 神障害者の社会復帰のための機関・施設・施策について。	スライド提示と視 聴覚教材による講 義	(予習時間：2時間) 講義資料を通読しておくこと。 (復習時間：2時間) 講義ノートをもとめておくこと。
14	黄田常嘉、山 口慎史	総括： 精神医学、前半の振り返り。	スライド提示と視 聴覚教材による講 義	(復習：8時間) 精神医学の前半について振り返る。
15	黄田常嘉	症状精神病： 抗体介在性自己免疫性脳炎や神経精神症状を伴う全身性エリテマトー デス (NP-SLE) について学ぶ。	スライド提示と視 聴覚教材による講 義	(予習時間：2時間) 講義資料を通読しておくこと。 (復習時間：2時間) 講義ノートをもとめておくこと。
16	黄田常嘉	物質関連障害： 覚醒剤精神病、自然再燃現象、動因喪失症候群などについて学ぶ。	スライド提示と視 聴覚教材による講 義	(予習時間：2時間) 講義資料を通読しておくこと。 (復習時間：2時間) 講義ノートをもとめておくこと。
17	黄田常嘉	統合失調症スペクトラム障害： 統合失調症、抗精神病薬、入院処遇について学ぶ。	スライド提示と視 聴覚教材による講 義	(予習時間：2時間) 講義資料を通読しておくこと。 (復習時間：2時間) 講義ノートをもとめておくこと。
18	黄田常嘉	双極性障害および関連障害群： 双極Ⅰ型障害、双極Ⅱ型障害について学ぶ。	スライド提示と視 聴覚教材による講 義	(予習時間：2時間) 講義資料を通読しておくこと。 (復習時間：2時間) 講義ノートをもとめておくこと。



--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	【新カリ】知的障害者教育課程論	授業形態	講義		
英語科目名	【新カリ】知的障害者教育課程論	対象学年	2年		
開講学期	2022年度後期	単位数	2単位		
代表教員	尾高 邦生	ナンバリング	SNE2219		
担当教員	尾高 邦生、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	<b>【授業全体の内容】</b> 本科目では、知的障害のある幼児児童生徒に対する学校教育における教育課程について学び、自立と社会参加に向けた教育内容について理解する。知的障害特別支援学校の教育課程の変遷と特徴を学習指導要領等を取り扱いながら理解を深めていく。 また、幼児期から学校教育への就学のプロセスと課題、小学校や中学校の特別支援学級における教育、進路指導やキャリア教育、卒業後をふまえた学校での取り組みについて、事例をもとに理解を深める。				
到達目標	<b>【授業の到達目標】</b> 1. 知的障害のある幼児児童生徒の教育課程について理解できる。 2. 知的障害のある幼児の就学のしくみとその支援について理解できる。 3. 知的障害のある児童生徒の進路指導やキャリア教育について理解できる。 4. 特別支援学校の各学部の教育課程の実践について理解できる。				
授業の位置づけ	この科目は、分野科目群・スポーツ健康・教育分野科目の必修科目である。また、特別支援学校1種免許取得、第一種衛生管理者資格取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は、スポーツ健康科学部学位授与方針に定める「課題解決力」を養う科目として位置づけられる				
履修上の注意、履修要件	<b>【履修要件】</b> 「特別支援教育論」「障害者教育総論」を受講していることが望ましい。				
成績評価の方法					
評価方法	<b>【成績評価の方法】</b> ・平常点（グループワーク参加状況を含む）（30%）、レポート（20%）、定期試験（50%）を総合して評価する。				
評価基準	<b>【成績評価の基準】</b> 1. 知的障害のある幼児児童生徒の教育課程について理解できる（定期試験、レポート）。 2. 知的障害のある幼児の就学のしくみとその支援について理解できる（定期試験、レポート）。 3. 知的障害のある児童生徒の進路指導やキャリア教育について理解できる（定期試験、レポート）。 4. 特別支援学校の各学部の教育課程の実践について理解できる（定期試験、レポート）。				
試験・課題に対するフィードバック方法					
<b>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】</b> ・定期試験や課題レポートで成績評価を行うが、講義内容が反映されていない場合には個別に解説や指導を行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
1. 国立特別支援教育総合研究所 編：特別支援教育充実のためのキャリア教育ガイドブック、ジヤース教育新社、2013 2. 特別支援学校幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領（平成29年4月告示 文部科学省） 3. 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編（平成30年3月 文部科学省） 4. 特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編（小学部・中学部）（平成30年3月 文部科学省） 5. 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）（平成30年3月 文部科学省） 6. 特別支援学校高等部学習指導要領（平成31年2月告示 文部科学省） ・参考書であり、授業中は適宜参考資料を配布する。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<b>【連絡先】</b> 担当：尾高邦生 E-mail:k.odaka.ow(at)juntendo.ac.jp メールの際は、(at)を@に変更して送信してください。  <b>【オフィスアワー】</b> 日時：前期・後期：火曜日13:00～15:00 木曜日10:00～15:00 場所：1号館2F 1217室（心身障害教育学研究室）				
担当教員の実務経験	特別支援学校教諭としての勤務経験に基づき、障害のある人への指導に関する実践的な知識をわかりやすく解説する。				
備考	<b>【学修時間】</b> この授業は、講義による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する1回の授業時間は100分とする。 <b>【その他】</b> 特別支援学校教諭一種免許状取得のための必修科目 科目：特別支援教育領域に関する科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目（中心領域：知、含む領域：肢・病）  新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。				
授業計画					

授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	尾高	【授業内容】 テーマ：教育課程 特別支援学校（知的障害）の教育課程の特徴について理解する	【授業方法】 講義、ディスカッション	（予習：2時間） 自分が受けてきた小学校、中学校、高校の各教科名を挙げておく （復習：2時間） 小学校等との教育課程の相違点を表にまとめておく
2	尾高	【授業内容】 テーマ：学習指導要領① 特別支援学校学習指導要領について理解する	【授業方法】 講義	（予習：2時間） 特別支援学校学習指導要領の目次について調べておく （復習：2時間） 知的障害特別支援学校の教育課程の構造を図に表す
3	尾高	【授業内容】 テーマ：学習指導要領② 特別支援学校学習指導要領の変遷について理解する	【授業方法】 講義、ディスカッション	（予習：2時間） 特別支援学校学習指導要領の改訂年度について調べておく （復習：2時間） 各期の特徴を年表にまとめる
4	尾高	【授業内容】 テーマ：幼稚部の教育 特別支援学校幼稚部の教育について学び、その実際と課題を理解する	【授業方法】 講義、ディスカッション	（予習：2時間） 幼稚部が設置されている特別支援学校数と各学校の時間割について調べておく （復習：2時間） 交流及び共同学習の意義について小レポートにまとめる
5	尾高	【授業内容】 テーマ：小学部の教育 特別支援学校小学部の教育について学び、その実際と課題を理解する	【授業方法】 講義、ディスカッション	（予習：2時間） 特別支援学校小学部（1校）の時間割について調べておく （復習：2時間） 小学部の教育課程の特徴について小レポートにまとめる
6	尾高	【授業内容】 テーマ：中学部の教育 特別支援学校中学部の教育について学び、その実際と課題を理解する	【授業方法】 講義、ディスカッション	（予習：2時間） 特別支援学校中学部（1校）の時間割について調べておく （復習：2時間） 中学部の教育課程の特徴について小レポートにまとめる
7	尾高	【授業内容】 テーマ：高等部の教育 特別支援学校高等部の教育について学び、その実際と課題を理解する	【授業方法】 講義、ディスカッション	（予習：2時間） 特別支援学校高等部（1校）の時間割について調べておく （復習：2時間） 高等部の教育課程の特徴について小レポートにまとめる
8	尾高	【授業内容】 テーマ：特別支援学校のキャリア教育 特別支援学校におけるキャリア教育の展開について理解する	【授業方法】 講義、ディスカッション	（予習：2時間） 東京都教育委員会HPを活用し「特別支援学校におけるキャリア教育」に関する資料を読む （復習：2時間） 仮想事例をもとに個別の教育支援計画を作成する
9	尾高	【授業内容】 テーマ：特別支援学校の就労支援 特別支援学校における就労支援と作業学習について理解する	【授業方法】 講義、ディスカッション	（予習：2時間） 事前に配布した「就労支援」に関する資料を読む （復習：3時間） 作業学習における単元計画を作成する
10	尾高	【授業内容】 テーマ：特別支援学校の生活支援 特別支援学校における生活支援について理解する	【授業方法】 講義、ディスカッション	（予習：2時間） 事前に配布した「生活支援」に関する資料を読む （復習：2時間） 授業で取り上げた「金融教育」の取り組みとその意義について小レポートにまとめる
11	尾高	【授業内容】 テーマ：社会参加、余暇支援、生涯学習 障害者スポーツの意義と理念を理解し、その現状と課題について理解する	【授業方法】 講義、ディスカッション	（予習：2時間） 事前に配布した「余暇支援」に関する資料を読む （復習：3時間） 生涯スポーツに繋げるために必要な学校体育の在り方についてレポートにまとめる
12	尾高	【授業内容】 テーマ：進路指導① 現場実習やガイダンス、カウンセリングを通じた進路指導について理解する。	【授業方法】 講義、ディスカッション	（予習：2時間） 障害者の就労状況について、インターネット等で資料収集を行う （復習：2時間） 現場実習の意味について小レポートにまとめる
13	尾高	【授業内容】 テーマ：進路指導② 円滑に社会に移行するための、学習内容や制度について理解する。	【授業方法】 講義、グループワーク	（予習：2時間） 離職の要因について考え、まとめておく （復習：3時間） 就労を支える関係機関について小レポートにまとめる。



科目名	【新カリ】リハビリテーション概論			授業形態	講義
英語科目名	【新カリ】リハビリテーション概論			対象学年	2年
開講学期	2022年度後期			単位数	2単位
代表教員	高澤 祐治			ナンバリング	RWE2222
担当教員	高澤 祐治、門屋 悠香、宮森 隆行、藤原 俊之、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	<p>【授業全体の内容】</p> <p>本科目は、講義の授業形態で行われる。近年の高齢化に伴い、生活機能障害を持ちながら生活する人々は増加し、社会におけるリハビリテーション医学が占める役割はますます大きくなっている。そのため、高齢者及び障害者の健康増進による生活の再構築を目的としたリハビリテーション医学を学ぶことは重要である。また、スポーツ現場においても、障害予防や外傷後の競技復帰を目的としたアスレティックリハビリテーションは必要不可欠である。リハビリテーション医学の基礎を理解することを目標とし、リハビリテーションの概念、外傷・障害の捉え方、及び各疾患に対するリハビリテーションの方法について学ぶ。</p>				
到達目標	<p>【授業の到達目標】</p> <p>1. リハビリテーション医学の概念を理解することができる</p> <p>2. 各疾患、障害に対するリハビリテーション医学アプローチを理解することができる</p>				
授業の位置づけ	この科目は、スポーツ健康科学部教育課程における分野科目群・スポーツ健康・教育分野科目の選択科目に位置付けられる。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「課題解決能力」の達成に寄与する。				
履修上の注意、履修要件	<p>【履修上の注意（科目独自のルール）】</p> <p>1回の授業について3分の2以上の出席時間がない場合はその回の授業を欠席扱いとする。また遅刻および早退3回で1回分の欠席としてカウントする。</p> <p>【履修要件】</p> <p>特になし</p>				
成績評価の方法					
評価方法	平常点（授業内レポート等：50%）、各授業内の小テスト（50%）を総合して評価する【成績評価の方法】 筆記試験（100%）				
評価基準	<p>1. リハビリテーション医学の概念を述べることができる（平常点）</p> <p>2. リハビリテーション医学アプローチを理解している（各授業内の小テスト）</p>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
課題レポートは次回の授業で解説する。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
最新リハビリテーション医学 第3版 医歯薬出版 2017 ※授業中に適宜資料を用意します。この書籍は参考書です。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】</p> <p>担当：門屋、藤原、宮森 E-mail：授業内で周知する</p> <p>【オフィスアワー】</p> <p>授業内で周知する</p>				
担当教員の実務経験	医師、理学療法士及びJSP0公認アスレティックトレーナー等の教員が、臨床経験に基づきリハビリテーションの現場において求められる知識や技術を解説する。				
備考	<p>【学修時間】</p> <p>この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業30時間以上を含む）の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>【その他】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合がある。</p>				
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間	
1	門屋	授業のオリエンテーション スポーツとリハビリテーションの関り	講義	(予習：2時間) 後日記入 (復習：3時間) 講義内容を復習する	
2	藤原 門屋	リハビリテーション医学総論(1) リハビリテーション関連職種、ICIDH、ICFについて理解する	講義	(予習：2時間) 後日記入 (復習：3時間) 講義内容を復習する	







科目名	【新カリ】医学概論	授業形態	講義		
英語科目名	【新カリ】医学概論	対象学年	2年		
開講学期	2022年度後期	単位数	2単位		
代表教員	深尾 宏祐	ナンバリング	BMS2223		
担当教員	深尾 宏祐、林 明人、黄田 常嘉、田城 孝雄、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	基礎医学及び臨床医学に関して、歴史から診断、検査、治療、及び最近のトピックスまで概要を幅広く学ぶ。保健体育科教員やスポーツ指導者、健康運動指導士等に必要な医学知識を中心に講義を行う。スポーツに関連するものから生活習慣病やリハビリテーション、感染症、悪性腫瘍、精神疾患等について、医師が解説する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. スポーツで遭遇しうる疾患を中心に各分野の主要疾患の基礎知識を得ることができる。</li> <li>2. 健康の維持・増進のために必要な基本的知識を説明できる。</li> <li>3. リハビリテーションの定義や意味、目的について説明できる。</li> <li>4. 精神保健福祉士（PSW）、健康運動指導士の資格取得のため必要な知識、特に社会医学の知識について説明できる。</li> <li>5. 現代日本の疾病構造の変化、社会の変化に起因する諸問題についても説明することができる。</li> </ol>				
授業の位置づけ	この科目は、分野科目群・スポーツ健康・教育分野科目の選択科目である。また、JSP0公認スポーツ指導者養成講習会免除適応コース（AT）、JPSUスポーツトレーナー資格取得、健康運動指導士認定試験受験資格取得にあたっての必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「社会や環境の変化に対応し、自ら課題を見つけ、スポーツ健康科学分野における専門的な知識又は技能をもとに課題を解決できる能力」を身に付ける。				
履修上の注意、履修要件	<p>〔履修要件〕          選択者が多い講義のため、個々に合わせることは困難であるが、集中して講義に臨むこと。          〔履修上の注意（科目独自のルール）〕          毎回講義の最後にポストテストを行い、理解度を確認する。ポストテストの解説は次回の講義冒頭に行う。レポートは適宜、評価し速やかに返却する。          講義で使用するスライドのPDFファイルをJUNTEDO-PASSPORTにアップするので、その回のプリントを各自ダウンロード、プリントアウトして講義に臨むことが望ましい。</p>				
成績評価の方法					
評価方法	定期試験：70%、出席またはレポート（やむを得ず、欠席した場合）：20%、受講態度：10% を総合して評価する。ただしそれぞれの配分割合は変動あり。				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 幅広い医学知識の中でも特にスポーツと関連する疾患や症候について説明することができる。</li> <li>2. 健康維持・増進のために我が国が行っている政策を理解している。</li> <li>3. 疾病構造の変化を理解し、直面している医療的問題を説明できる。</li> <li>4. 真摯な態度で積極的に講義に参加しているか、または内容の充実したレポートを作成できるか。</li> </ol>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
毎回講義の最後に行うポストテストの解説は次回の講義冒頭に行う。レポートは適宜、評価し速やかに返却する。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
<p>（参考書）          使用テキストは、前述したPDFファイルを各自ダウンロード、プリントアウトして講義に臨むことが望ましい。          医学概論（医学コンセプトと医療のエッセンス）、中島 泉／南江堂          健康運動指導士養成講習会テキスト、健康・体力づくり事業財団</p>					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>〔連絡先〕          深尾：E-mail：fukao777 [at] juntendo. ac. jp          田城：E-mail：tashiro [at] juntendo. ac. jp          林：E-mail：hayashi [at] juntendo. ac. jp          黄田：E-mail：ota [at] juntendo. ac. jp          〔オフィスアワー〕※質問や相談はできるだけ、前日までにE-mailで予約すること。          深尾：（日時）木曜日13:00から17:00（場所）スポーツ健康医科学研究所4階9405号室          田城：随時、Eメールで質問を受け付ける          林：授業の前後、剣道場教員室（第1体育館3階）          黄田：月曜日4限、木曜日2限          * 授業が無い期間はE-mailで予約すること。</p>				
担当教員の実務経験	〔実務経験のある教員による授業〕 医師である教員が、臨床経験に基づき、臨床医学の概要を幅広く解説する。				

備考				
<p>〔学修時間〕 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>〔その他〕 この授業科目は、以下の資格取得の要件となっています。 JSPQ（日本スポーツ協会）AT（アスレチックトレーナー） 健康・体力づくり財団 健康運動指導士 JPSU（全国体育スポーツ系大学協議会）スポーツトレーナー</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	深尾	メタボリックシンドローム 1. 団リエンテーション、総論 2. 現在の人口ピラミッドと疾病構造 3. 凶タボリックシンドロームとは？ 4. 政策と現状、今後の方向性	講義形式	【予習： 2時間】 使用スライドを一読し、メタボリックシンドロームの現状と今後の課題について考える。 【復習： 2時間】 重要ポイントに関して教科書を読み、理解を深める。
2	深尾	高血圧 1. 高血圧の定義 2. 日本人と高血圧 3. 高血圧の合併症	講義形式	【予習： 2時間】 使用スライドを一読し、高血圧とそのリスクについて考える。 【復習： 2時間】 重要ポイントに関して教科書を読み、理解を深める。
3	深尾	脂質異常症 1. 脂質異常症とは 2. 動脈硬化	講義形式	【予習： 2時間】 使用スライドを一読し、脂質異常症と動脈硬化の成り立ちについて考える。 【復習： 2時間】 重要ポイントに関して教科書を読み、理解を深める。
4	深尾	耐糖能異常・糖尿病 1. 糖尿病とは 2. 糖尿病の合併症 3. 甲状腺疾患、その他	講義形式	【予習： 2時間】 使用スライドを一読し、糖尿病と合併症について考える。 【復習： 2時間】 重要ポイントに関して教科書を読み、理解を深める。
5	深尾	呼吸器疾患 1. 呼吸機能検査 2. 気管支喘息、COPD 3. 肺炎、その他 4. 喫煙の影響	講義形式	【予習： 2時間】 使用スライドを一読し、気管支喘息と喫煙がもたらす影響について考える。 【復習： 2時間】 重要ポイントに関して教科書を読み、理解を深める。
6	黄田	軽度認知障害、認知症	講義形式	【予習： 2時間】 使用スライドを一読し、認知症の重症度と家族への影響や介護制度について考える。 【復習： 2時間】 重要ポイントに関して教科書を読み、理解を深める。
7	深尾	虚血性心疾患とリハビリテーション 1. 虚血性心疾患 2. 不整脈 3. 弁膜症、心筋症、その他心疾患 4. 心臓リハビリテーション	講義形式	【予習： 2時間】 使用スライドを一読し、循環器疾患について調査し、心臓リハビリテーションの注意点について考える。 【復習： 2時間】 重要ポイントに関して教科書を読み、理解を深める。
8	深尾	血液疾患 1. 血液の性状、成分 2. 貧血 3. 白血病 4. リンパ腫	講義形式	【予習： 2時間】 使用スライドを一読し、鉄欠乏性貧血について考える。 【復習： 2時間】 重要ポイントに関して教科書を読み、理解を深める。
9	深尾	性感染症 1. 性感染症とは 2. 予防と対策	講義形式	【予習： 2時間】 使用スライドを一読し、性感染症の原因と予防について考える。 【復習： 2時間】 重要ポイントに関して教科書を読み、理解を深める。
10	深尾	がん・悪性新生物 1. 由活習慣病と悪性新生物 2. 喫煙とがん	講義形式	【予習： 2時間】 使用スライドを一読し、がんと昨今の治療戦略について考える。 【復習： 2時間】 重要ポイントに関して教科書を読み、理解を深める。



--	--	--	--	--

\* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	【新カリ】情報社会論			授業形態	講義
英語科目名	【新カリ】情報社会論			対象学年	2年
開講学期	2022年度前期			単位数	2単位
代表教員	山田 泰行			ナンバリング	SOC2225
担当教員	山田 泰行、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	<p>[授業全体の内容]</p> <p>本科目は、講義の授業形態で行われる。情報社会は電子的手段・媒体を通して人と人がつながる社会を示す。インターネットの普及やICTの発展により、人と人の直接的なかかわりでしか満たすことのできなかった営みは、自動化・効率化の流れにある。ICT、AI、IoTの技術開発がもたらす第4次産業革命は社会活動やライフスタイルの構造を大きく変え、現代人の想像を超えた未来の社会を構築していく。情報社会の高度化に適応し、その中で逞しく自己表現していくために必要となる理論と技能を習得することを目標とする。</p>				
到達目標	<p>[授業の到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 情報社会の形成過程について例を挙げながら論じることができる（過去）</li> <li>2. 情報社会の恩恵や弊害について例を挙げながら論じることができる（現在）</li> <li>3. 情報社会の未来について自分の考えを論じることができる（未来）</li> <li>4. 情報社会で求められる倫理観について論じることができる（倫理）</li> <li>5. 情報社会で求められる各種リテラシについて論じることができる（リテラシ）</li> </ol>				
授業の位置づけ	この科目は、分野科目群・マネジメント科学分野科目の必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>[授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）]</p> <p>この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「協働による課題解決のためのコミュニケーション能力」と「各分野で指導的な役割を果たすための倫理観」の習得、スポーツマネジメントコースの学生にとっては、「経営学、社会心理学、社会学等を用いたスポーツマネジメントの知識技能」、「経営資源の側面からマネジメントできる能力」を養う科目として位置づけられる。</p>				
履修上の注意、履修要件	<p>[履修要件]</p> <p>2年生以上を履修対象者とする。</p>				
成績評価の方法					
評価方法	<p>[成績評価の方法]</p> <p>毎回の授業で課されるレポート（30%）、週末試験（50%）、平常点（20%）を総合して評価する。</p>				
評価基準	<p>[成績評価の基準]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 情報社会の形成過程について例を挙げながら論じることができる（試験）</li> <li>2. 情報社会の恩恵や弊害について例を挙げながら論じることができる（レポート）</li> <li>3. 情報社会の未来について自分の考えを論じることができる（レポート）</li> <li>4. 情報社会で求められる倫理観について論じることができる（試験）</li> <li>5. 情報社会で求められる各種リテラシについて論じることができる（試験）</li> </ol>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
<p>[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]</p> <p>授業やレポートにおけるコメントを通してフィードバックを行う。</p>					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
<p>[テキスト・参考書等]</p> <p>松石 勝彦（1994）「情報ネットワーク社会論」青木書店  加納 寛子（2007）「情報社会論-超効率主義社会の構図」北大路書房  ※必要な資料は授業内で配布するため、テキストを購入する必要はない。</p>					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>[連絡先]</p> <p>担当：山田 泰行  E-mail：yayamada[at]juntendo.ac.jp（[at]を@に変更してください）  [オフィスアワー]  日時：月曜日～金曜日12：10～13：00口  場所：1号館3階1326</p>				
担当教員の実務経験					
備考	<p>[学修時間]</p> <p>この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>[その他]</p> <p>特になし。</p>				
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間	

1	山田	〔授業内容〕 情報社会の展開 情報社会がどのように歴史的発展を遂げてきたかを振り返り、現代の特徴を把握し、未来を考察する。	〔授業方法〕 講義	(予習: 3時間) シラバスを読み、授業を受ける意義を確認しておくこと。 (復習: 1時間) 配布資料をもとに、情報社会の歴史的発展と基礎理論について理解を深めること。
2	山田	〔授業内容〕 情報社会とコミュニケーション 情報社会においてスマホ、メール、ラインといったコミュニケーションの構造がどのように変わってきたかを振り返り、現代の特徴を把握し、未来を考察する。	〔授業方法〕 講義、グループ討議、プレゼンテーション	(予習: 2時間) メールやSNSなど、情報社会のコミュニケーションツールを調べてリスト化すること。 (復習: 2時間) 配布資料をもとに、情報社会のコミュニケーション手段と社会的影響について理解を深めること。
3	山田	〔授業内容〕 情報社会と娯楽 情報社会においてゲーム、アニメ、映画、旅行といった娯楽の構造がどのように変わってきたかを振り返り、現代の特徴を把握し、未来を考察する。	〔授業方法〕 講義、グループ討議、プレゼンテーション	(予習: 2時間) 情報社会におけるゲーム、アニメ、映画、レジャーの発展事例を調べておくこと。 (復習: 2時間) 配布資料をもとに、情報社会の娯楽と社会的影響について理解を深めること。
4	山田	〔授業内容〕 情報社会と犯罪 情報社会においてサイバー攻撃やインターネット詐欺、さらし行為といった犯罪の構造がどのように変わってきたかを振り返り、現代の特徴を把握し、未来を考察する。	〔授業方法〕 講義、グループ討議、プレゼンテーション	(予習: 2時間) 情報社会における各種犯罪の事例を調べておくこと。 (復習: 2時間) 配布資料をもとに、情報社会の犯罪と社会的影響について理解を深めること。
5	山田	〔授業内容〕 情報社会と倫理 情報社会における個人情報管理や著作権について理解を深め、情報社会における健全な倫理観について考える。	〔授業方法〕 講義、グループ討議、プレゼンテーション	(予習: 2時間) 情報社会における倫理の問題について事例を調べておくこと。 (復習: 2時間) 配布資料をもとに、情報社会の倫理と社会的影響について理解を深めること。
6	山田	〔授業内容〕 情報社会と教育 情報社会において教師、生徒、保護者のかかわりや教育システムの構造がどのように変わってきたかを振り返り、現代の特徴を把握し、未来を考察する。	〔授業方法〕 講義、グループ討議、プレゼンテーション	(予習: 2時間) 情報社会における教育の良好事例と課題点を調べておくこと。 (復習: 2時間) 配布資料をもとに、情報社会の教育と社会的影響について理解を深めること。
7	山田	〔授業内容〕 情報社会と労働 情報社会において労働者の雇用形態や職務内容、勤務形態といった労働システムの構造がどのように変わってきたかを振り返り、現代の特徴を把握し、未来を考察する。	〔授業方法〕 講義、グループ討議、プレゼンテーション	(予習: 2時間) 情報社会における働き方について良好事例と課題点を調べておくこと。 (復習: 2時間) 配布資料をもとに、情報社会の労働と社会的影響について理解を深めること。
8	山田	〔授業内容〕 情報社会と街づくり 情報社会において街おこし、防災、たまり場といった街づくりの構造がどのように変わってきたかを振り返り、現代の特徴を把握し、未来を考察する。	〔授業方法〕 講義、グループ討議、プレゼンテーション	(予習: 2時間) 情報社会における街づくりの良好事例と課題点を調べておくこと。 (復習: 2時間) 配布資料をもとに、情報社会の街づくりと社会的影響について理解を深めること。
9	山田	〔授業内容〕 情報社会とお金 情報社会において仮想通貨、電子マネー、クラウドファンディング、アフィリエイト、信用取引といったお金の構造がどのように変わってきたかを振り返り、現代の特徴を把握し、未来を考察する。信用取引など、情報化社会におけるお金の理解を深める。	〔授業方法〕 講義、グループ討議、プレゼンテーション	(予習: 2時間) 情報社会におけるお金の価値や動きについて良好事例と課題点を調べておくこと。 (復習: 2時間) 配布資料をもとに、情報社会のお金と社会的影響について理解を深めること。
10	山田	〔授業内容〕 情報社会とデータ 情報社会において蓄積されるデータの種類や分析手法、活用方法がどのように変わってきたかを振り返り、現代の特徴を把握し、未来を考察する。	〔授業方法〕 講義、グループ討議、プレゼンテーション	(予習: 2時間) 情報社会におけるビッグデータの活用事例と課題点を調べておくこと。 (復習: 2時間) 配布資料をもとに、情報社会のデータ活用と社会的影響について理解を深めること。
11	山田	〔授業内容〕 情報社会と科学 情報社会において科学情報の収集方法、表現方法、発信方法がどのように変わってきたかを振り返り、現代の特徴を把握し、未来を考察する。	〔授業方法〕 講義、グループ討議、プレゼンテーション	(予習: 2時間) 情報社会における科学コミュニケーションの良好事例と課題点を調べておくこと。 (復習: 2時間) 配布資料をもとに、情報社会の科学的役割と社会的影響について理解を深めること。
12	山田	〔授業内容〕 情報社会とメディア 情報社会においてメディアの役割や表現方法、ビジネスモデルがどのように変わってきたかを振り返り、現代の特徴を把握し、未来を考察する。	〔授業方法〕 講義、グループ討議、プレゼンテーション	(予習: 2時間) 情報社会におけるメディアのビジネスモデルと課題点を調べておくこと。 (復習: 2時間) 配布資料をもとに、情報社会におけるメディアの役割と構造について理解を深めること。





科目名	【新カリ】組織開発論	授業形態			
英語科目名	【新カリ】組織開発論	対象学年	2年		
開講学期	2022年度前期	単位数	2単位		
代表教員	水野 基樹	ナンバリング	MGT2227		
担当教員	水野 基樹、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	<p>【授業全体の内容】          本科目は、講義の授業形態で行われる。企業や学校、スポーツチームなどの組織体は個人のレベルを超えた目標を達成するために生み出されたものであるが、組織の中には、環境の変化についていけず消滅する組織や、パフォーマンスの低下や組織化の逆機能に陥る組織が少なくない。よって、オープンシステムとしての組織が優位性や効率性を確保すると同時に、組織を活性化し変革していくための基礎的な理論や知識やノウハウ、対人調整力、コミュニケーション力などについて学ぶ。</p> <p>【授業の概要】          組織開発論とは、経営学、社会学、社会心理学、さらには集団力学（グループダイナミクス）や行動科学など、多様な学問領域における成果を援用した、極めて学際的な学問領域であり、臨機応変で柔軟な組織、活性化された組織、学習を促進する組織など、組織と人間の側面から環境の変化に適応する方法を検討するのが組織開発論です。そのため講義では、単に理論の教授に終始することなく、多くの事例を取り上げながら組織開発、活性化、組織変革に関する事例を紹介します。さらに、日本経済新聞やビジネス雑誌の記事、事例DVD（Case Study）なども活用し、組織における今日的な課題、現状についての理解も深めていきます。</p>				
到達目標	<p>【授業の到達目標】          本講義では、オープンシステムとしての組織が優位性や効率性を確保すると同時に、組織を活性化し、必要とあらば組織を変革していくための基礎的な理論や知識、ノウハウの習得を目指します。そして、不確実性に対処し、激変する経営環境の中で組織のパフォーマンスを高めていく、つまり臨機応変で柔軟な組織、活性化された組織、学習を促進する組織に生まれ変わらせるためにどのような戦略的アプローチ、組織的アプローチが必要か、さらに組織成員（ヒト）がそれぞれの個性や持ち味を発揮し、生き生きと働ける、幸福を実現できる組織になるマネジメントとはいかなるものかについて理解することが本講義の到達目標です。</p>				
授業の位置づけ	この科目は、分野科目群・マネジメント科学分野科目の必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「協働による課題解決のためのコミュニケーション能力」の習得、スポーツマネジメントコースの学生にとっては、「経営学、社会学、マーケティング等を応用したスポーツマネジメントの知識技能」、「経営資源の側面からマネジメントできる能力」を養う科目として位置づけられる。				
履修上の注意、履修要件	<p>【履修要件】          経営学を履修していることが望ましいですが、必ずしも必要条件ではありません。          （履修上の注意（科目独自のルール））          高い意欲をもって履修してください。</p>				
成績評価の方法					
評価方法	<p>【評価方法】          「組織開発論」に関する基本的な知識とノウハウの習得、授業参加、事前・事後学習の態度、レポート、期末試験により総合的に判断します。具体的には、授業態度・取り組む姿勢：10%、事前・事後学習10%、レポート課題：10%、定期試験：70%。</p>				
評価基準	<p>【評価基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基礎的な経営学理論を論理的に説明できるか定期試験で評価します。</li> <li>2. 日本経済新聞やビジネス雑誌を読みこなすことができるように、授業の事前・事後の学習を評価します。</li> <li>3. 企業事例（Case Study）を理論と結び付けて考える能力が向上したかレポート課題により評価します。</li> <li>4. その他、学習意欲や参加態度を講義内の小テストや課題などで評価します。</li> </ol>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
<p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】          授業やレポートにおけるコメントを通してフィードバックを行う。</p>					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
					授業の際に提示する。
参考文献					
授業の際に提示する。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】          担当：水野基樹          mtmi.zuno[at]juntendo.ac.jp （[at]を@に変更してください）</p> <p>【オフィスアワー】          日時：月曜日 10時～12時、火曜日 15時～16時          場所：1号館3階1320室          ※上記の時間帯は予約が無くても対応しますが、予約があった学生を優先します。          できる限り、前日までにE-Mailで予約するように心掛けてください。</p>				
担当教員の実務経験					

備考		<p>【学習時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>【その他】 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>		
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	水野基樹	<p>(授業内容) 【組織開発の実際】 人間の欲求の多様化と組織におけるダイバーシティ・マネジメントについて概説する。</p>	<p>(授業方法) 講義 組織におけるモチベーション開発とリーダーシップ開発に関する理論の解説と企業事例 (VTR) を紹介する。</p>	<p>(予習: 3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布し、事後理解を深めるとともに、課題レポート等を課し提出させる。講義の開始時に解説する。 (復習: 1時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テキストの該当箇所と合わせてリーディング・アサインメントを課す。</p>
2	水野基樹	<p>(授業内容) 【組織を捉える次元】 組織における権力的関係と機能的関係について解説する。</p>	<p>(授業方法) 講義 組織のシンボリズムに関する理論の解説と企業事例 (VTR) を紹介する。</p>	<p>(予習: 3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布し、事後理解を深めるとともに、課題レポート等を課し提出させる。講義の開始時に解説する。 (復習: 1時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テキストの該当箇所と合わせてリーディング・アサインメントを課す。</p>
3	水野基樹	<p>(授業内容) 【フォーマル組織の整備】 組織の機構 (構造) 的側面と組織の制度的側面について解説する。</p>	<p>(授業方法) 講義 マクロ組織論とミクロ組織論の理論的な解説と企業事例 (VTR) を紹介する。</p>	<p>(予習: 3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布し、事後理解を深めるとともに、課題レポート等を課し提出させる。講義の開始時に解説する。 (復習: 1時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テキストの該当箇所と合わせてリーディング・アサインメントを課す。</p>
4	水野基樹	<p>(授業内容) 【科学的管理法】 意思伝達経路とIEへの発展過程について解説する。</p>	<p>(授業方法) 講義 時間研究と動作研究の成果に関する理論の解説と企業事例 (VTR) を紹介する。</p>	<p>(予習: 3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布し、事後理解を深めるとともに、課題レポート等を課し提出させる。講義の開始時に解説する。 (復習: 1時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テキストの該当箇所と合わせてリーディング・アサインメントを課す。</p>
5	水野基樹	<p>(授業内容) 【組織原則とパワー関係】 権限理論とパワー理論の類型化について解説する。</p>	<p>(授業方法) 講義 エンパワメントと職務拡大に関する理論の解説と企業事例 (VTR) を紹介する。</p>	<p>(予習: 3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布し、事後理解を深めるとともに、課題レポート等を課し提出させる。講義の開始時に解説する。 (復習: 1時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テキストの該当箇所と合わせてリーディング・アサインメントを課す。</p>
6	水野基樹	<p>(授業内容) 【組織における機能集団】 現代における組織と職務との関係性について解説する。</p>	<p>(授業方法) 講義 重複集団型組織と連結ピン機能に関する理論の解説と企業事例 (VTR) を紹介する。</p>	<p>(予習: 3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布し、事後理解を深めるとともに、課題レポート等を課し提出させる。講義の開始時に解説する。 (復習: 1時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テキストの該当箇所と合わせてリーディング・アサインメントを課す。</p>
7	水野基樹	<p>(授業内容) 【モチベーション・マネジメント(1)】 組織における人間観の変遷と管理戦略について解説する。</p>	<p>(授業方法) 講義 現代の複雑人モデルによる組織マネジメントに関する理論の解説と企業事例 (VTR) を紹介する。</p>	<p>(予習: 3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布し、事後理解を深めるとともに、課題レポート等を課し提出させる。講義の開始時に解説する。 (復習: 1時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テキストの該当箇所と合わせてリーディング・アサインメントを課す。</p>





科目名	【新カリ】スポーツマーケティング			授業形態	講義
英語科目名	【新カリ】スポーツマーケティング			対象学年	2年
開講学期	2022年度前期			単位数	2単位
代表教員	篠原 一郎			ナンバリング	MGT2231
担当教員	篠原 一郎、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	<p>【授業全体の内容】</p> <p>本科目は、講義の授業形態で行われる。スポーツを「する・みる・支える」という視点に加え、スポーツマーケティングの視点から読み解く知識を習得し、理解を深めることを目標とする。スポーツマーケティングの基礎的な知識やマーケティングマインド、スキルと、基本的な理論を学び、身のまわりにあるスポーツ消費行動を考え理解する。また、スポンサーシップ、マーケティング戦略、マーケティングミックス、マーケティングリサーチ、需要創出などについて学修する。経営資源をマネジメントできる実践力や応用力、そのための理論的背景を学ぶ。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. スポーツマーケティングの基礎的な用語や考え方、理論を知っている。</li> <li>2. 身の回りのスポーツに関連する人々の行為やビジネスを、スポーツマーケティングの基礎的な用語や知識、理論を用いて説明できる。</li> <li>3. ポーツに関連する消費行動について、消費者行動や購買意思決定を説明する理論や法則、専門用語を用いて説明できる</li> </ol>				
授業の位置づけ	この科目は、分野科目群・マネジメント科学分野科目の選択科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は、「経営学・社会心理学・社会学を応用したスポーツマネジメントについての知識」「スポーツをヒト・モノ・カネ・情報という経営資源の側面からマネジメントできる」という学位授与方針の達成に寄与する。				
履修上の注意、履修要件	<p>【履修上の注意（科目独自のルール）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学生の講義内容の理解の確認や教員へのフィードバックのために、スマートフォンあるいはタブレット等のQRコードリーダーを使用する場合がありますので、使用できるように準備してください。</li> <li>2. 授業時間の3分の2以上の出席時間がない場合は欠席となります。</li> <li>3. 遅刻および早退は、3回をもって欠席1回分に換算します。</li> </ol>				
成績評価の方法					
評価方法	課題レポート2回程度（20%）、グループワーク（20%）、中間・定期試験（40%）、平常点（20%）を総合して評価する。				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. スポーツマーケティング分野の基本的な用語の意味、理論を理解している（中間・定期試験）</li> <li>2. 現代社会におけるスポーツ消費行動や、スポーツビジネス活動をスポーツマーケティング分野の用語や理論を用いて具体的に説明することができる（レポート、グループワーク）</li> <li>3. 授業中の発言、グループワークの取り組みなどによって、受講態度を評価する（平常点）</li> </ol>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
レポートや試験の解説や、「履修上の注意1」で示したようなフィードバックを行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
1. 仲澤真、吉田 編著、よくわかるスポーツマーケティング、ミネルヴァ書房、2017年 を予定					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>担当：篠原一郎 E-mail：i.shinohara.uf[at]juntendo.ac.jp ※：[at]を@に変更してください。 【オフィスアワー】 木曜 14:40-16:20</p>				
担当教員の実務経験					
備考	<p>【学修時間】 本科目は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>【その他】 特になし</p>				
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間	
1	工藤	ガイダンス マーケティング、スポーツマーケティングの考え方の理解。身近にあるスポーツビジネス（スポーツプロダクト）を見直す。	講義	<p>（予習：2時間） マーケティング、スポーツマーケティングの学術的な定義を調べる。歴史的な成り立ちを調べる。</p> <p>（復習：2時間） スポーツプロダクトの特徴について、定義・概念の整理</p>	





科目名	【新カリ】経営組織論			授業形態	講義
英語科目名	【新カリ】経営組織論			対象学年	2年
開講学期	2022年度後期			単位数	2単位
代表教員	水野 基樹			ナンバリング	MGT2226
担当教員	水野 基樹、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	<p>【授業全体の内容】</p> <p>本科目は、講義の授業形態で行われる。社会の構成要素としての組織を研究対象として、その行動や変化のメカニズムについて学びます。現代の組織を理解するために、「組織と環境、人間との関わり」を中心とした分析視角から、経営組織に関する基礎的な理論を理解することを目標とします。様々な組織事例の理論的検討とともに、時事的な内容や現場での実践例に触れます。さらに、経営学、社会心理学、社会学を応用したスポーツマネジメントについて知識の習得を目指します。</p>				
到達目標	<p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基礎的な経営学理論を論理的に説明できる。</li> <li>2. 日本経済新聞やビジネス雑誌を読みこなすことができる。</li> <li>3. 企業事例（Case Study）を理論と結び付けて考えることができる。</li> </ol>				
授業の位置づけ	この科目は、分野科目群・マネジメント科学分野科目の必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「協働による課題解決のためのコミュニケーション能力」の習得、スポーツマネジメントコースの学生にとっては、「経営学、社会学、マーケティング等を応用したスポーツマネジメントの知識技能」、「経営資源の側面からマネジメントできる能力」を養う科目として位置づけられる。				
履修上の注意、履修要件	<p>【履修要件】</p> <p>経営学を履修していることが望ましいですが、必ずしも必要条件ではありません。</p> <p>【履修上の注意（科目独自のルール）】</p> <p>高い意欲をもって履修してください。</p>				
成績評価の方法					
評価方法	<p>【評価方法】</p> <p>「経営組織論」に関する基本的な知識とノウハウの習得、授業参加、事前・事後学習の態度、レポート、期末試験により総合的に判断します。具体的には、授業態度・取り組む姿勢：10%、事前・事後学習10%、レポート課題：10%、定期試験：70%。</p>				
評価基準	<p>【評価基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基礎的な経営学理論を論理的に説明できるか定期試験で評価します。</li> <li>2. 日本経済新聞やビジネス雑誌を読みこなすことができるように、授業の事前・事後の学習を評価します。</li> <li>3. 企業事例（Case Study）を理論と結び付けて考える能力が向上したかレポート課題により評価します。</li> <li>4. その他、学習意欲や参加態度を講義内の小テストや課題などで評価します。</li> </ol>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
<p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】</p> <p>授業やレポートにおけるコメントを通してフィードバックを行います。</p>					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
					授業の際に提示する。
参考文献					
授業の際に提示します。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】</p> <p>担当：水野基樹 mtmizuno[at]juntendo.ac.jp（[at]を@に変更してください）</p> <p>【オフィスアワー】</p> <p>日時：月曜日 10時～12時、火曜日 15時～16時 場所：1号館3階1320室 ※上記の時間帯は予約が無くても対応しますが、予約があった学生を優先します。 できる限り、前日までにE-Mailで予約するように心掛けてください。</p>				
担当教員の実務経験					
備考	<p>【学習時間】</p> <p>この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成します。</p> <p>【その他】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>				
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間	



1	水野基樹	(授業内容) 【コーポレート・アーキテクチャー】 現代企業の代表的な組織構造を理解する。	(授業方法) 講義 職能別組織、事業 部制組織、マト リックス組織、ハイブリッド組織などに関する理論の 解説と企業事例 (VTR) を紹介す る。	(予習: 3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布 し、事後理解を深めるとともに、課題レポート 等を課し提出させる。講義の開始時に解説す る。 (復習: 1時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テキ ストの該当箇所と合わせてリーディング・アサ インメントを課す。
2	水野基樹	(授業内容) 【コーポレート・イノベーション】 柔軟的な組織の構築と機能について理解する。	(授業方法) 講義 タスクフォースと プロジェクトチ ームに関する理論 の解説と企業事例 (VTR) を紹介す る。	(予習: 3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布 し、事後理解を深めるとともに、課題レポート 等を課し提出させる。講義の開始時に解説す る。 (復習: 1時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テキ ストの該当箇所と合わせてリーディング・アサ インメントを課す。
3	水野基樹	(授業内容) 【非営利組織】 NPOの事業ドメインとマネジメントについて理解する。	(授業方法) 講義 「市場の失敗・政 府の失敗」とNPO マネジメントに関 しての理論の解説 と企業事例 (VTR) を紹介す る。	(予習: 3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布 し、事後理解を深めるとともに、課題レポート 等を課し提出させる。講義の開始時に解説す る。 (復習: 1時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テキ ストの該当箇所と合わせてリーディング・アサ インメントを課す。
4	水野基樹	(授業内容) 【M&A】 企業のM&Aの定義と類型について理解する。	(授業方法) 講義 企業の経営戦略と M&Aに関する理 論の解説と企業事 例 (VTR) を紹介 する。	(予習: 3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布 し、事後理解を深めるとともに、課題レポート 等を課し提出させる。講義の開始時に解説す る。 (復習: 1時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テキ ストの該当箇所と合わせてリーディング・アサ インメントを課す。
5	水野基樹	(授業内容) 【ネットワーク外部性】 企業間競争におけるスタンダード戦略への含意について理解する。	(授業方法) 講義 デファクトスタ ンダードとグロー バルスタンダード に関する理論の 解説と企業事例 (VTR) を紹介す る。	(予習: 3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布 し、事後理解を深めるとともに、課題レポート 等を課し提出させる。講義の開始時に解説す る。 (復習: 1時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テキ ストの該当箇所と合わせてリーディング・アサ インメントを課す。
6	水野基樹	(授業内容) 【ビジネス・アーキテクチャー】 ネットワーク組織と境界マネジメントについて理解する。	(授業方法) 講義 組織間関係論と資 源依存パースペク ティブに関する理 論の解説と企業事 例 (VTR) を紹介 する。	(予習: 3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布 し、事後理解を深めるとともに、課題レポート 等を課し提出させる。講義の開始時に解説す る。 (復習: 1時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テキ ストの該当箇所と合わせてリーディング・アサ インメントを課す。
7	水野基樹	(授業内容) 【インベスター・リレーションズ】 コーポレート・ガバナンスとIR活動について理解する。	(授業方法) 講義 企業のステークホ ルダー (多種多様 な利害関係者) ・ マネジメントに関 しての理論の解説 と企業事例 (VTR) を紹介す る。	(予習: 3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布 し、事後理解を深めるとともに、課題レポート 等を課し提出させる。講義の開始時に解説す る。 (復習: 1時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テキ ストの該当箇所と合わせてリーディング・アサ インメントを課す。
8	水野基樹	(授業内容) 【カスタマー・リレーションズ】 組織均衡とユーザー・イノベーションについて理解する。	(授業方法) 講義 顧客 (消費者) と 製品サービス・イ ノベーションに関 しての理論の解説 と企業事例 (VTR) を紹介す る。	(予習: 3時間) 授業で扱うテーマ、問題についての資料を配布 し、事後理解を深めるとともに、課題レポート 等を課し提出させる。講義の開始時に解説す る。 (復習: 1時間) 次回のテーマに関する参考資料を配布し、テキ ストの該当箇所と合わせてリーディング・アサ インメントを課す。





科目名	【新カリ】スポーツビジネス演習 [前半]	授業形態	演習		
英語科目名	【新カリ】スポーツビジネス演習 [前半]	対象学年	2年		
開講学期	2022年度後期	単位数	2単位		
代表教員	小笠原 悦子	ナンバリング	MGT2228		
担当教員	小笠原 悦子、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	<p>【授業全体の内容】          本科目は、演習の授業形態で行われる。スポーツビジネスの分野、産業、プロダクトを理解し、スポーツ産業界のビジネスチャンスに着目し、知識を増やし、自らが想像力を鍛え、将来クリエイティブな仕事に携わるためのトレーニングを行う。スポーツビジネスに関するコラムを読み内容をまとめて資料を作成し、発表を行う。また、またゲストスピーカーを招き、出される課題に対してグループ発表を行う。最後にはプロジェクトチームで大きな課題に取り組み、報告書の作成とともにプレゼンテーションも行う。          【授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）】</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 情報探索、情報収集と実践的な演習も交えながら授業を展開することで、スポーツビジネス界の即戦力を目指す姿勢が養うことができる。</li> <li>2. スポーツビジネス界で働く者にとってどんな準備が必要なのかを感じることができる。</li> <li>3. 様々なグループワークでそれぞれの役割を理解し、短時間でまとめる力を養うことができる。</li> <li>4. プレゼンテーションを繰り返すことで、スポーツビジネスに関するPPTの作成、報告書の作成を学ぶことができる。</li> </ol>				
授業の位置づけ	この科目は、分野科目群・マネジメント科学分野科目の必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は「スポーツマネジメント学分野の専門的な知識と技能」を身に付けるための科目の1つとして開講される。また、スポーツマネジメント学科においては、「協働で課題を解決するための必要なコミュニケーション能力」という学位授与方針の達成にも寄与する。				
履修上の注意、履修要件	<p>【履修要件】          マネジメント総論を履修していることが望ましい。</p> <p>【履修上の注意】          本授業は、短時間に課題に挑戦する実践型の授業、多彩なゲストを迎えてのレクチャー型の授業、そしてプロジェクトチームによる研究発表型の授業と多彩な形式を取る。得られた情報から、即座にその内容をまとめて形にすることが求められる。          【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】          課題レポートはu 次回以降の授業で返却して、評価や助言を各受講者へフィードバックする。□。          最終試験については、試験終了後にJuntendo Passportを使って解説する。</p>				
成績評価の方法					
評価方法	プレゼンテーションとレポート及びコメントカードの内容 授業でのリアクションコメント 4% x 13回=52% グループレポート 30% 課題プレゼンテーション 18% 合計 100%				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 情報探索、情報収集と実践的な演習も交えながら授業を展開することで、スポーツビジネス界の即戦力を目指す姿勢が養われる（平常点）。</li> <li>2. スポーツビジネス界で働く者にとってどんな準備が必要なのかを感じることができる（グループワーク及び最終プレゼンテーション）。</li> <li>3. 様々なグループワークでそれぞれの役割を理解し、短時間でまとめる力を養える（グループワーク評価）。</li> <li>4. プレゼンテーションを繰り返すことで、スポーツビジネスに関するPPTの作成、報告書の作成を学ぶことができる（最終プレゼンテーション及び最終レポート）。</li> </ol>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
課題レポートはu 次回以降の授業で返却して、評価や助言を各受講者へフィードバックする。□。 最終試験については、試験終了後にJuntendo Passportを使って解説する。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】          担当：小笠原悦子          E-mail：eogasawa@juntendo.ac.jp          【オフィスアワー】          日時：後期の火曜日 2限目          場所：1号館3階1329室</p> <p>事前にemailでアポを取り、訪問することが望ましい。</p>				
担当教員の実務経験					

備考	<p>【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学修時間60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>【その他】 コロナウィルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>			
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	小笠原悦子	<p>【授業内容】 オリエンテーション、授業の最終目標と方法の説明</p> <p>【授業方法】 授業の到達目標を含め、授業のやり方、評価方法、学生への期待について説明する</p>	講義	<p>(予習：3時間) 出題された課題の情報を収集しまとめる</p> <p>(復習：0時間)</p>
2	小笠原悦子	<p>【授業内容】 ケーススタディ（グループ発表） ① コラムを読み、理解し、まとめて、発表する</p> <p>【授業方法】 その場で出されるコラムをその時間内で読み、内容をまとめてPPTを作成し、発表する</p>	グループワーク	<p>(予習：3時間) 課題の情報収集とPP作成</p> <p>(復習：2時間) 発表に対する反省と課題の整理</p>
3	小笠原悦子	<p>【授業内容】 ケーススタディ（グループ発表） ②に関する課題に挑戦する</p> <p>【授業方法】 その場で出されるコラムをその時間内で読み、内容をまとめてPPTを作成し、発表する</p>	グループワーク	<p>(予習：3時間) ゲストに関する企業研究</p> <p>(復習：2時間) 発表の短所と課題の整理</p>
4	小笠原悦子	<p>【授業内容】 MBAとスポーツマネジメントの企業への応用について理解を深める</p> <p>【授業方法】 ゲストの話を読み、また、ゲストの出す課題にグループとして取り組み、答えを発表する</p>	講義・グループディスカッション	<p>(予習：3時間) ゲストの企業研究</p> <p>(復習：2時間) MBAの目指すものは何なのかをまとめる</p>
5	ゲスト	<p>【授業内容】 広告代理店のスポーツビジネス について理解を深める</p> <p>【授業方法】 ゲストの話を読み、概要をまとめる、また、ゲストの出す課題にグループとして取り組み、答えを発表する</p>	講義・グループディスカッション	<p>(予習：3時間) 研究課題の研究とPP作成</p> <p>(復習：2時間) 広告代理店のビジネスの目指すものを整理する</p>
6	小笠原悦子	<p>【授業内容】 ケーススタディ（グループ発表） ③ コラムを読み、理解し、まとめて、発表する</p> <p>【授業方法】 その場で出されるコラムをその時間内で読み、内容をまとめてPPTを作成し、発表する</p>	グループワーク・グループディスカッション	<p>(予習：3時間) 課題の研究とPP作成</p> <p>(復習：2時間) 発表の反省と課題の整理</p>
7	小笠原悦子	<p>【授業内容】 ケーススタディ（グループ発表） ④ コラムを読み、理解し、まとめて、発表する</p> <p>【授業方法】 その場で出されるコラムをその時間内で読み、内容をまとめてPPTを作成し、発表する</p>	グループワーク・グループディスカッション	<p>(予習：2時間) 課題の研究とPP作成</p> <p>(復習：2時間) 発表の反省と課題の整理</p>
8	ゲスト	<p>【授業内容】 ファイナンスと経済について理解を深める</p> <p>【授業方法】 ゲストの話を読み、概要をまとめる、また、ゲストの出す課題にグループとして取り組み、答えを発表する</p>	講義・グループディスカッション	<p>(予習：2時間) プロ野球ビジネスの課題研究</p> <p>(復習：2時間) スポーツとファイナンスに重要なことのまとめ</p>
9	ゲスト	<p>【授業内容】 プロ野球とスポーツビジネスについて理解を深める</p> <p>【授業方法】 ゲストの話を読み、概要をまとめる、また、ゲストの出す課題にグループとして取り組み、答えを発表する</p>	講義・グループディスカッション	<p>(予習：2時間) ゲストの企業研究</p> <p>(復習：2時間) プロ野球ビジネスの課題の整理</p>
10	ゲスト	<p>【授業内容】 スポーツとデータビジネスについて理解を深める</p> <p>【授業方法】 ゲストの話を読み、概要をまとめる、また、ゲストの出す課題にグループとして取り組み、答えを発表する</p>	講義・グループディスカッション	<p>(予習：2時間) ゲストの企業研究</p> <p>(復習：2時間) スポーツとデータビジネスに関わる企業まとめ</p>
11	ゲスト	<p>【授業内容】 スポーツとエージェントビジネスについて理解を深める</p> <p>【授業方法】 ゲストの話を読み、概要をまとめる、また、ゲストの出す課題にグループとして取り組み、答えを発表する</p>	講義・グループディスカッション	<p>(予習：2時間) 課題の研究とPP作成</p> <p>(復習：2時間) エージェント企業のまとめ</p>



科目名	【新カリ】スポーツビジネス演習 [後半]	授業形態	講義		
英語科目名	【新カリ】スポーツビジネス演習 [後半]	対象学年	2年		
開講学期	2022年度後期	単位数	2単位		
代表教員	小笠原 悦子	ナンバリング	MGT2228		
担当教員	小笠原 悦子、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	<p>【授業全体の内容】</p> <p>スポーツビジネスの分野、産業、プロダクトを理解し、スポーツ産業界のビジネスチャンスに着目し、知識を増やし、自らが想像力を鍛え、将来クリエイティブな仕事に携わるためのトレーニングを行う。</p> <p>スポーツビジネスに関するコラムを短時間で読み、内容をまとめてPPTを作成し、発表を行う。また、またゲストスピーカーの授業では、毎回出される課題に対してグループとして取り組み、話し合った内容（アイデア）の発表を行う。最後にはプロジェクトチームを作成して大きな課題に取り組み、報告書の作成とともにプレゼンテーションも行う。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 情報探索、情報収集と実践的な演習も交えながら授業を展開することで、スポーツビジネス界の即戦力を目指す姿勢が養うことができる。</li> <li>2. スポーツビジネス界で働く者にとってどんな準備が必要なのかを感じることができる。</li> <li>3. 様々なグループワークでそれぞれの役割を理解し、短時間でまとめる力を養うことができる。</li> <li>4. プレゼンテーションを繰り返すことで、スポーツビジネスに関するPPTの作成、報告書の作成を学ぶことができる。</li> </ol>				
授業の位置づけ	この科目は、分野科目群・マネジメント科学分野科目の必修科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は「スポーツマネジメント学分野の専門的な知識と技能」を身に付けるための科目の1つとして開講される。また、スポーツマネジメント学科においては、「協働で課題を解決するための必要なコミュニケーション能力」という学位授与方針の達成にも寄与する。				
履修上の注意、履修要件	<p>【履修条件】</p> <p>スポーツマネジメント総論を履修していること。</p> <p>【履修上の注意】</p> <p>本授業は、短時間に課題に挑戦する実践型の授業、多彩なゲストを迎えてのレクチャー型の授業、そしてプロジェクトチームによる研究発表型の授業と多彩な形式を取る。得られた情報から、即座にその内容をまとめて形にすることが求められる。</p>				
成績評価の方法					
評価方法	<p>プレゼンテーションとレポート及びコメントカードの内容</p> <p>授業でのリアクションコメント 4% x 13回=52%</p> <p>グループレポート 30%</p> <p>課題プレゼンテーション 18%</p> <p>合計 100%</p>				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 情報探索、情報収集と実践的な演習も交えながら授業を展開することで、スポーツビジネス界の即戦力を目指す姿勢が養われる（平常点）。</li> <li>2. スポーツビジネス界で働く者にとってどんな準備が必要なのかを感じることができる（グループワーク及び最終プレゼンテーション）。</li> <li>3. 様々なグループワークでそれぞれの役割を理解し、短時間でまとめる力を養える（グループワーク評価）。</li> <li>4. プレゼンテーションを繰り返すことで、スポーツビジネスに関するPPTの作成、報告書の作成を学ぶことができる（最終プレゼンテーション及び最終レポート）。</li> </ol>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
課題レポートは、次回以降の授業で返却して、評価や助言を各受講者へフィードバックする。最終試験については、試験終了後にJuntendo Passportを使って解説する。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】</p> <p>担当：小笠原悦子 eogasawa@juntendo.ac.jp</p> <p>【オフィスアワー】</p> <p>日時：後期の火曜日 2限目 場所：1号館3階1329室</p> <p>事前にemailでアポを取り、訪問することが望ましい。</p>				
担当教員の実務経験					
備考	<p>【学修時間】</p> <p>この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学修時間60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>【その他】</p> <p>コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>				
授業計画					

授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	小笠原悦子	授業内容) オリエンテーション、授業の最終目標と方法の説明 (授業方法) 授業の到達目標を含め、授業のやり方、評価方法、学生への期待について説明する		(予習：3時間) 出題された課題の情報を収集しまとめる
2	小笠原悦子	(授業内容) ケーススタディ(グループ発表) ① コラムを読み、理解し、まとめて、発表する (授業方法) その場で出されるコラムをその時間内で読み、内容をまとめてPPTを作成し、発表する	グループワーク・ ディスカッション	(復習：2時間) 発表に対する反省と課題の整理 (予習：3時間) 課題の情報収集とPP作成
3	小笠原悦子	(授業内容) ケーススタディ(グループ発表) ②に関する課題に挑戦する (授業方法) その場で出されるコラムをその時間内で読み、内容をまとめてPPTを作成し、発表する	グループワーク・ ディスカッション	(復習：2時間) 発表の短所と課題の整理 (予習：3時間) ゲストに関する企業研究
4	小笠原悦子	(授業内容) スポーツマネジメントの企業への応用について理解を深める (授業方法) ゲストの話の聞き、また、ゲストの出す課題にグループとして取り組み、答えを発表する	講義・グループ ディスカッション	(復習：2時間) スポーツマネジメントの目指すものは何なのかをまとめる (予習：3時間) ゲストの企業研究
5	ゲスト	(授業内容) 広告代理店のスポーツビジネス について理解を深める (授業方法) ゲストの話の聞き、概要をまとめる、また、ゲストの出す課題にグループとして取り組み、答えを発表する	講義・グループ ディスカッション	(復習：2時間) 広告代理店のビジネスの目指すものを整理する (予習：3時間) 研究課題の研究とPP作成
6	小笠原悦子	(授業内容) ケーススタディ(グループ発表) ③ コラムを読み、理解し、まとめて、発表する (授業方法) その場で出されるコラムをその時間内で読み、内容をまとめてPPTを作成し、発表する	グループワーク・ ディスカッション	(復習：2時間) 発表の反省と課題の整理 (予習：3時間) 課題の研究とPP作成
7	小笠原悦子	授業内容) ケーススタディ(グループ発表) ④ コラムを読み、理解し、まとめて、発表する (授業方法) その場で出されるコラムをその時間内で読み、内容をまとめてPPTを作成し、発表する	グループワーク・ ディスカッション	復習：2時間) 発表の反省と課題の整理 (予習：2時間) 課題の研究とPP作成
8	ゲスト	(授業内容) ファイナンスと経済について理解を深める (授業方法) ゲストの話の聞き、概要をまとめる、また、ゲストの出す課題にグループとして取り組み、答えを発表する	講義・グループ ディスカッション	(復習：2時間) スポーツとファイナンスに重要なことのまとめ (予習：2時間) プロ野球ビジネスの課題研究
9	ゲスト	(授業内容) プロ野球とスポーツビジネスについて理解を深める (授業方法) ゲストの話の聞き、概要をまとめる、また、ゲストの出す課題にグループとして取り組み、答えを発表する	講義・グループ ディスカッション	(復習：2時間) プロ野球ビジネスの課題の整理 (予習：2時間) ゲストの企業研究
10	ゲスト	(授業内容) スポーツとデータビジネスについて理解を深める (授業方法) ゲストの話の聞き、概要をまとめる、また、ゲストの出す課題にグループとして取り組み、答えを発表する	講義・グループ ディスカッション	(復習：2時間) スポーツとデータビジネスに関わるど企業のまとめ (予習：2時間) ゲストの企業研究
11	ゲスト	(授業内容) スポーツとエージェントビジネスについて理解を深める (授業方法) ゲストの話の聞き、概要をまとめる、また、ゲストの出す課題にグループとして取り組み、答えを発表する	講義・グループ ディスカッション	(復習：2時間) エージェント企業のまとめ (予習：2時間) 課題の研究とPP作成
12	講義・グループ ディスカッション	(授業内容) ケーススタディ(グループ発表) ⑤に関する課題に挑戦する (授業方法) その場で出されるコラムをその時間内で読み、内容をまとめてPPTを作成し、発表する	グループワーク・ ディスカッション	(復習：2時間) 発表の課題の整理 (予習：2時間) 課題の研究とPP作成
13	小笠原悦子	(授業内容) ケーススタディ(グループ発表) ⑥に関する課題に挑戦する (授業方法) その場で出されるコラムをその時間内で読み、内容をまとめてPPTを作成し、発表する	グループワーク・ ディスカッション	(復習：2時間) 発表の課題の整理 (予習：2時間) 課題の研究とプレゼン準備
14	小笠原悦子	(授業内容) 課題プレゼンテーション(1) 各グループで課題のプレゼンテーションを行う	グループワーク・ ディスカッション	(復習：2時間) 発表の反省とレポート作成 (予習：2時間) 最終レポートの作成
		最終プレゼンテーション		





科目名	【新カリ】 イベント概論	授業形態	講義
英語科目名	【新カリ】 イベント概論	対象学年	2年
開講学期	2022年度後期	単位数	2単位
代表教員	篠原 一郎	ナンバリング	MGT2229
担当教員	篠原 一郎、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	本科目は、講義の授業形態で行われる。個人から自治体、国、国際的な位置づけに至るまで、様々な場面で活用されるイベント全般について、その歴史、基礎的な知識、実務について学ぶ。イベントの歴史や成り立ち、現状などを学び、「ヒト・モノ・カネ・情報」という経営資源の側面からイベントをマネジメントする知識やスキルを学ぶとともに、スポーツイベントの企画運営について理解を深める。スポーツイベントを企画運営する際に必要な知識やスキル、考え方、業務内容などを理解することを目標とする。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. イベント、およびスポーツイベントの成り立ちを説明できる。</li> <li>2. 現代的なイベントおよびスポーツイベントの分類、イベントが数多く開催される理由、社会における役割を説明できる。</li> <li>3. イベントおよびスポーツイベントに関わる企業や、実務として、どのような業務があるか、理解している。</li> </ol> ※：JACE（社団法人日本イベント産業振興協会）の定めるイベントの歴史や基礎知識、実務について理解する。JACEが行う「イベント検定試験」および「スポーツイベント検定」に合格するレベルの知識を身につける。（資格試験、または筆記試験にて確認）		
授業の位置づけ	この科目は、分野科目群・マネジメント科学分野科目の選択科目である。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	この科目は、「経営学・社会心理学・社会学を応用したスポーツマネジメントについての知識」「スポーツをヒト・モノ・カネ・情報という経営資源の側面からマネジメントできる」という学位授与方針の達成に寄与する。		
履修上の注意、履修要件	<p>[履修上の注意（科目独自のルール）]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業時間の3分の2以上の出席時間がない場合は欠席となります。</li> <li>2. 遅刻および早退は、3回をもって欠席1回分に換算します。</li> </ol>		
成績評価の方法			
評価方法	課題レポート2回程度（20%）、筆記試験（50%）、平常点（30%）を総合して評価する。		
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. イベント歴史やの現代のイベントの成り立ち・分類、イベントが数多く開催される理由、社会における役割を説明できる。（レポート・筆記試験）</li> <li>2. イベントに関わる企業や、実務として、どのような業務があるか、理解している。（レポート・筆記試験）</li> <li>3. 授業中の発言、レポートなどによって、受講態度を評価する（平常点）</li> </ol> ※：JACE（社団法人日本イベント産業振興協会）が行う「イベント検定試験」に合格するレベルの知識を身につける。（資格試験、または筆記試験にて確認）		
試験・課題に対するフィードバック方法			
授業内で、レポートの解説を行います。試験については模範解答を提示します。			
テキスト			
書名	著者	出版社	ISBN
			備考

イベント検定公式テキスト	日本イベント産業振興協会能力コンテンツ委員会	日本イベント産業振興協会	4901173286	
スポーツイベント検定公式テキスト	新版スポーツイベント検定公式テキスト制作、日本イベント産業振興協会	日本イベント産業振興協会	4901173375	
参考文献				
・ イベント業務管理士公式テキスト（同協会刊）				
その他				
連絡先・オフィスアワー	<b>【連絡先】</b> 担当：篠原一郎 E-mail：i.shinohara.uf [@]juntendo.ac.jp ※：[at]を@に変更してください。 <b>【オフィスアワー】</b> 木曜 14:40-16:20			
担当教員の実務経験	広告会社とそのグループ会社であるイベント会社で合計40年近い勤務歴があり、スポーツマーケティングの代理店（エージェンツ）業務とスポーツイベントの企画立案・実施運営（プロダクション）業務を通して得た経験を生かして講義をする。			
備考	<b>【学修時間】</b> 本科目は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。  <b>【その他】</b> 本講座修了者は、（社）日本イベント産業振興協会が行う「イベント検定試験」の受験資格を得ることができ、希望する場合、資格試験を受験することができる。			
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	篠原	<b>【授業内容】</b> ・オリエンテーション ・授業目的及び授業の進め方の解説。シラバスと評価方法の説明。 ・スポーツイベントの定義と概念と分離について学ぶ。ステークホルダー（利害関係者）を提示する。	講義	（予習：2時間） スポーツイベントの定義と概念と分類について調べておく。 <基礎から学ぶ>第1節、<教科書>第1節を読んでおく。 （復習：2時間） 主催者とはどういう種類があって、どのような機能や責任や苦楽があるかを理解する。
2	篠原	<b>【授業内容】</b> スポーツを含むイベントの歴史を学ぶ。	講義	（予習：2時間） スポーツを中心としてイベントの歴史を調べておく。自分がプレーしている競技があれば、その歴史を語れるようになるのとよい。 <基礎から学ぶ>第2節、<教科書>第2節を読んでおく。 （復習：2時間） 国内外でイベントとスポーツがどのように生まれ発展してきたか、社会がどのように影響を受けてきたかを理解する。
3	篠原	<b>【授業内容】</b> メディアとしてのイベントを学び、基礎知識を広告の側面から見る。	講義	（予習：2時間） コミュニケーションの手段としてのイベントの側面を考えておく。テレビCMや新聞雑誌広告も気に留めておく。 <基礎から学ぶ>第3節、<教科書>第4節を読んでおく。 （復習：2時間） イベントの特性と、コミュニケーションメディアとしての特性を理解する。 企業はどのように伝統的なマス媒体（新聞、雑誌、ラジオ、テレビ）とスポーツイベントを比較して活用してきたかを理解する。
4	篠原	<b>【授業内容】</b> スポーツイベントの基本構造とプロジェクトマネジメントについて学ぶ。	講義	（予習：2時間） いろいろなスポーツイベントのポスターやチラシ、大会ホームページなどの「開催概要」「大会要項」などに目を通しておく。 <教科書>第5節、第6節を読んでおく。 （復習：2時間） スポーツイベントが構造や形式ごとにどのような違いがあるかを理解する。
5	篠原	<b>【授業内容】</b> スポーツイベントの企画と計画について学ぶ。	講義	（予習：2時間） イベントを企画立案して実施に至るまでの計画を提案できるように考えてみる。 <基礎から学ぶ>第4節、第5節、第6節を読んでおく。 （復習：2時間） 企画立案から実施計画を立て、進行させる企画書や計画書づくりができるようになる。

6	篠原	【授業内容】 スポーツイベントの制作推進と管理について学ぶ。	講義	(予習：2時間) プロデューサーとは何か、ディレクターとは何かについて考えておく。テレビ番組の終了前にプロデューサーのクレジットが出ることがあるので見ておくことよい。 <基礎から学ぶ>第7節、第8節を読んでおく。 (復習：2時間) 競技や個別の大会にふさわしい会場選び、ゾーニングなどについて理解し、理想的なプロデューサー像、ディレクター像をイメージする。
7	篠原	【授業内容】 スポーツイベントの制作推進と管理について学ぶ。	講義	(予習：2時間) イベントのメニュー、プログラム、個別イベントの式次第などについて考えてみる。スポーツ大会の開会式、表彰式、閉会式などを見ておくことよい。 <基礎から学ぶ>第9節、第10節を読んでおく。 (復習：2時間) 競技や個別の大会に合わせたプログラム作成、スタッフィング、キャスティングなどを理解し、それらと連動する集客や告知の方法も考察する。
8	篠原	【授業内容】 スポーツイベントの運営とマネジメントについて学ぶ。	講義	(予習：2時間) 自分が出場したり観戦した大会の実施概要や公式ガイドブック(プログラム)、マニュアルなどを持っていけば見ておく。 <基礎から学ぶ>第11節、第12節を読んでおく。 (復習：2時間) イベント本番時に重要なことを学び、実践に生かされるようにする。
9	篠原	【授業内容】 リスクマネジメントと安全管理について、コンプライアンスの観点も踏まえて学ぶ。	講義	(予習：2時間) これまでイベントで事故が発生したり、中止や延期を余儀なくされたような事例を想起する。 <基礎から学ぶ>第13節、第14節、<教科書>第7節を読んでおく。 (復習：2時間) さまざまな法律もできて、イベント実施にはこれまで想定する必要がなかったリスク管理が必要になっている。天候などの不可抗力だけでなく、知らなかったではすまされないもろもろの法律もあわせて学ぶ。
10	篠原	【授業内容】ユニバーサルスポーツについて、パラスポーツの観点とバリアフリー観戦の観点を合わせて学ぶ。	講義	(予習：2時間) 日ごろからバリアフリーとはどういうことかを考えながら行動する。北京パラリンピックの中継も視聴しておくのが望ましい。 <基礎から学ぶ>第15節、<教科書>第12節を読んでおく。 (復習：2時間) 近年考慮せずには済まされない障がい者対策を研究し、一方TOKYO2020で飛躍的に関心を上げたパラスポーツも考察する。
11	篠原	【授業内容】スポーツイベントのマーケティングとメディアビジネスについて学ぶ。	講義	(予習：2時間) スポーツイベントのテレビ中継などでスポンサーロゴなど「商業関連のしるし」を見つけたらを注目しておく。また、どのテレビ局が中継あるいはニュース報道をしているか、どの新聞社が紙面を多く割いているのかも見ておく。 <教科書>第8節、第9節を読んでおく。 (復習：2時間) スポーツの発展と切り離すことができないメディアの歴史などの概要を考察し、スポーツとの深い関係を理解する。
12	篠原	【授業内容】 日本のスポーツ政策と地域振興、ツーリズムの観点からスポーツイベントを考察する。	講義	(予習：2時間) 国、都道府県、市町村など行政がスポーツに関わる事例に着目しておく。また、競技でなく参加してスポーツを楽しむ人たちの動きにも目を向けておく。 <教科書>第3節、第10節、第11節を読んでおく。 (復習：2時間) スポーツイベントを取り巻く政治はどうだったか、地域はどのようにスポーツとかがかわってきたか、競技スポーツ以外の側面も考慮して研究する。



科目名	【新カリ】社会科学の調査研究演習			授業形態	演習
英語科目名	【新カリ】社会科学の調査研究演習			対象学年	2年
開講学期	2022年度後期			単位数	2単位
代表教員	山田 泰行			ナンバリング	INF2230
担当教員	山田 泰行、松山 毅、廣津 信義、渡 正、スポーツ健康科学部教員共通				
授業概要					
全体内容	<p>[授業全体の内容]</p> <p>本科目は、演習の授業形態で行われる。スポーツマネジメントを含む社会科学領域の研究に取り組むための基礎知識を学ぶと同時に、社会科学領域で求められる科学リテラシー（クリティカルレビュー、研究デザイン、データ分析、科学コミュニケーション）の習得を目指す。自分で考える、グループで考える、一般的な研究方法を知る、というプロセスを繰り返すアクティブラーニングであり、フィールドワークの実践を含む。</p>				
到達目標	<p>[授業の到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会科学の視点からスポーツ現場で生じる課題を研究テーマとして表現できる。</li> <li>2. 社会科学領域の研究論文の確からしさを評価できる（クリティカルレビュー）。</li> <li>3. 課題解決のために社会科学の研究手法を提案できる（研究デザイン）。</li> <li>4. 統計解析の結果（表やグラフ）を解釈できる（データ分析）。</li> <li>5. 研究計画、研究成果、科学情報をわかりやすく表現できる（科学コミュニケーション）。</li> <li>6. 研究倫理の基本的な考え方がわかる（倫理）</li> </ol>				
授業の位置づけ	この科目は、分野科目群・マネジメント科学分野科目の選択科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>[授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）]</p> <p>この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「協働による課題解決のためのコミュニケーション能力」と「各分野で指導的な役割を果たすための倫理観」の習得、スポーツマネジメントコースの学生にとっては、「経営学、社会心理学、社会学等に応用したスポーツマネジメントの知識技能」、「経営資源の側面からマネジメントできる能力」を養う科目として位置づけられる。</p>				
履修上の注意、履修要件	<p>[履修要件]</p> <p>2年生以上を履修対象者とする。</p>				
成績評価の方法					
評価方法	<p>[成績評価の方法]</p> <p>毎回の授業で課されるレポート（30%）、週末試験（50%）、平常点（20%）を総合して評価する。</p>				
評価基準	<p>[成績評価の基準]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会科学の視点からスポーツ現場で生じる課題を研究テーマとして表現する力は、レポート課題で評価する。</li> <li>2. 科学情報の確からしさを評価する力は、定期試験と研究発表評価シートで評価する。</li> <li>3. 課題解決のために社会科学の研究手法を提案する力は、レポート課題で評価する。</li> <li>4. 統計解析の結果（表やグラフ）を解釈する力は、定期試験で評価する。</li> <li>5. 研究計画、研究成果、科学情報をわかりやすく表現する力は、グループ発表評価シートで評価する。</li> <li>6. 研究倫理の基本的な考え方の理解については定期試験で評価する。</li> <li>7. その他、学習意欲や態度を授業内で実施するワークシートから評価する。</li> </ol>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
<p>[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]</p> <p>授業やレポートにおけるコメントを通してフィードバックを行う。</p>					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
<p>Gキング、他（2004）「社会科学のリサーチ・デザイン-定性的研究における科学的推論」勁草書房</p> <p>木原雅子、他（2014）「医学的研究のデザイン 研究の質を高める疫学的アプローチ 第4版」メディカルサイエンス・インターナショナル</p> <p>※必要な資料は授業内で配布するため、テキストを購入する必要はない。</p>					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>[連絡先]</p> <p>担当：山田 泰行</p> <p>E-mail：yayamada[at]juntendo.ac.jp（[at]を@に変更してください）</p> <p>[オフィスアワー]</p> <p>日時：月曜日～金曜日12：10～13：00</p> <p>場所：1号館3階1326</p>				
担当教員の実務経験					
備考	<p>[学修時間]</p> <p>この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>[その他]</p> <p>特になし。</p>				
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間	

1	山田 渡 廣津 松山	〔授業内容〕オリエンテーション 講義を通して、社会科学の調査研究方法をスポーツマネジメント学科で学ぶことの意義を理解する。自然科学との対比から社会科学の理解を深める。さらに、科学情報を論文データベースから収集する方法を学び、興味を持った研究論文のタイトルを発表する。	〔授業方法〕 講義、調査学習、プレゼンテーション	(予習: 2.5時間) シラバスを読み、授業の概要と進め方を確認する。 (復習: 1.5時間) 興味を持った研究論文(本文)に目を通し、論文とはいかなるものかを確認する。
2	山田 渡 廣津 松山	〔授業内容〕クリティカルレビュー(1) 社会科学領域の研究抄録を熟読し、研究デザインのグッドポイントとウィークポイントを整理する(クリティカルレビュー)。グループワークでは、さらによい研究にするための改善策を議論する。講義では“優れた研究テーマの条件(So-whatテスト、FINER基準、研究倫理、等)”を理解する。	〔授業方法〕 講義、グループワーク	(予習: 2.5時間) 社会科学領域の研究テーマに目を通す。 So-whatテストとFINER基準の意義と内容を確認する。 (復習: 1.5時間) 研究倫理の資料を熟読する。
3	山田 渡 廣津 松山	〔授業内容〕クリティカルレビュー(2) 第2回で行ったクリティカルレビューのグループ発表を行う。履修者は科学コミュニケーションの視点からグループ発表を評価し、コメントを行う。講義では因果関係の成立条件を理解する。	〔授業方法〕 講義、グループワーク、プレゼンテーション	(予習: 2.5時間) クリティカルレビューのポイントを確認する。 (復習: 1.5時間) 因果関係の成立条件の内容を確認し、複数の論文に目を通す。
4	山田 渡 廣津 松山	〔授業内容〕記述研究をデザインする(1) 「安全なランニングコースの探し方」をグループで議論し、最も適切と思われる方法を発表する。各グループの提案した方法を記述研究と分析研究に分類することで、記述研究デザインの理解を深める。	〔授業方法〕 講義、グループワーク、プレゼンテーション	(予習: 2.5時間) 社会科学および自然科学における記述研究の位置づけと、記述研究の特徴を整理する。 (復習: 1.5時間) 記述研究の長所と短所を整理する。
5	山田 渡 廣津 松山	〔授業内容〕記述研究をデザインする(2) 記述研究に該当する研究発表を傍聴し、クリティカルレビューと科学コミュニケーションの視点から評価する。講義では、記述研究の歴史と分析研究の相違点を理解しながら科学的アプローチの基礎理解を深めると同時に、社会科学の調査方法を学ぶ。	〔授業方法〕 講義、プレゼンテーション	(予習: 2.5時間) 記述研究をスポーツ現場へ活用する方法を考える。 (復習: 1.5時間) 社会科学の調査方法の種類を確認する。 記述研究と分析研究の相違点を確認する。
6	山田 渡 廣津 松山	〔授業内容〕分析研究をデザインする(1) 「チームワークはパフォーマンスと関連する」という仮説をどのように確かめるかをグループで議論し、最も適切と思われる方法を発表する。講義では本仮説を検証するための社会科学アプローチを学ぶと同時に、科学的アプローチの基本概念である記述研究デザインと分析研究デザイン、エビデンス分類の理解を深める。	〔授業方法〕 講義、グループワーク	(予習: 2.5時間) 社会科学および自然科学における分析研究の位置づけと、分析研究の特徴を整理する。 (復習: 1.5時間) 分析研究の長所と短所を整理する。
7	山田 渡 廣津 松山	〔授業内容〕分析研究をデザインする(2) 講義では、質問票の作成、データセットの作成、データ分析の方法について基礎的な知識を学ぶ。演習では、分析研究のデータ分析で使用するフリー統計解析ソフトRの操作方法を習得する。データの入力方法や、データクリーニングの方法、記述統計の出力などの基本操作を学ぶ。	〔授業方法〕 講義、演習(データ分析)	(予習: 2.5時間) 分析研究をスポーツ現場へ活用する方法を考える。 フリー統計解析ソフトRをインストールして基本操作を確認する。 (復習: 1.5時間) 配布資料に基づいてRの操作方法を復習する。
8	山田 渡 廣津 松山	〔授業内容〕分析研究をデザインする(3) 演習を通して、分析研究のデータ分析で使用するフリー統計解析ソフトRの操作方法を習得する。社会科学分野のデータ分析で多用されるt検定、カイ2乗検定、分散分析の方法と図表の表現方法を学ぶ。研究デザインの種類ごとにグッドポイントとウィークポイント、多用されるデータ分析を整理し、図表を解釈できるようにする。	〔授業方法〕 演習(データ分析)	(予習: 2.5時間) 配布資料に基づいてRの操作方法を復習する。 (復習: 1.5時間) データ分析の種類と図表の示し方を確認する。
9	山田 渡 廣津 松山	〔授業内容〕分析研究をデザインする(4) 演習を通して、社会科学分野で多用されるテキストマイニングとソーシャルネットワーク解析の基礎を学ぶ。社会科学の理論に基づく質問票の構成やデータ分析結果のまとめ方について理解を深める。講義では、社会科学の理論的背景を持つ分析研究の発表を傍聴し、クリティカルレビューと科学コミュニケーションの視点から評価する。	〔授業方法〕 演習(データ分析)、講義	(予習: 2時間) スポーツマネジメントの理論の中から興味のあるものを選び、その理論を用いている論文に目を通す。 (復習: 2時間) 社会科学の研究デザインとデータ分析の種類を説明できるようにする。
10	山田 渡 廣津 松山	〔授業内容〕フィールド研究をデザインする(1) フィールド研究に該当する研究発表を傍聴し、クリティカルレビューと科学コミュニケーションの視点から評価する。次週で実施するフィールド研究の研究計画書に目を通し、グループごとに役割分担を行う。講義ではフィールド研究を成功させるためのポイントについて理解を深める。	〔授業方法〕 講義、フィールドワーク	(予習: 2時間) 社会科学および自然科学におけるフィールド研究の位置づけと、フィールド研究の特徴を整理する。 (復習: 2時間) フィールド研究を成功させるためのポイントを復習し、実践に備える。
11	山田 渡 廣津 松山	〔授業内容〕フィールド研究をデザインする(2) スポーツ施設の最大活用をテーマとするフィールド研究を実施する。グループごとに施設を見学し、施設管理者や利用者のインタビューを行う。グッドプラクティスや改善ポイントのデータを収集する。	〔授業方法〕 グループワーク、フィールドワーク	(予習: 2時間) フィールド研究の長所と短所を整理する。 (復習: 2時間) 報告書を作成するための資料(画材)を収集する。
12	山田 渡 廣津 松山	〔授業内容〕科学コミュニケーションの実践(1) グループごとにフィールド研究の成果をまとめた報告書を作成する。グループで収集したデータや議論した改善案をわかりやすく伝えるための準備を行い、第13・14回のプレゼンテーションに備える。講義では科学コミュニケーションについて理解を深める。	〔授業方法〕 グループワーク、フィールドワーク	(予習: 2時間) 社会科学分野における科学コミュニケーションの意義と内容を確認する。 (復習: 2時間) 科学コミュニケーション活動の事例を調べる。
13	山田 渡 廣津 松山	〔授業内容〕科学コミュニケーションの実践(2) フィールド研究のグループ発表(前半)を行う。グループ発表を傍聴し、科学コミュニケーションの視点から評価する。グループ発表の得点は授業時間内に発表し、学生および教員のコメントをフィードバックする。	〔授業方法〕 プレゼンテーション	(予習: 3時間) グループ発表のためのスライド作成とプレゼンテーションの準備を行う。 (復習: 3時間) 科学コミュニケーションの評価基準を確認する。

